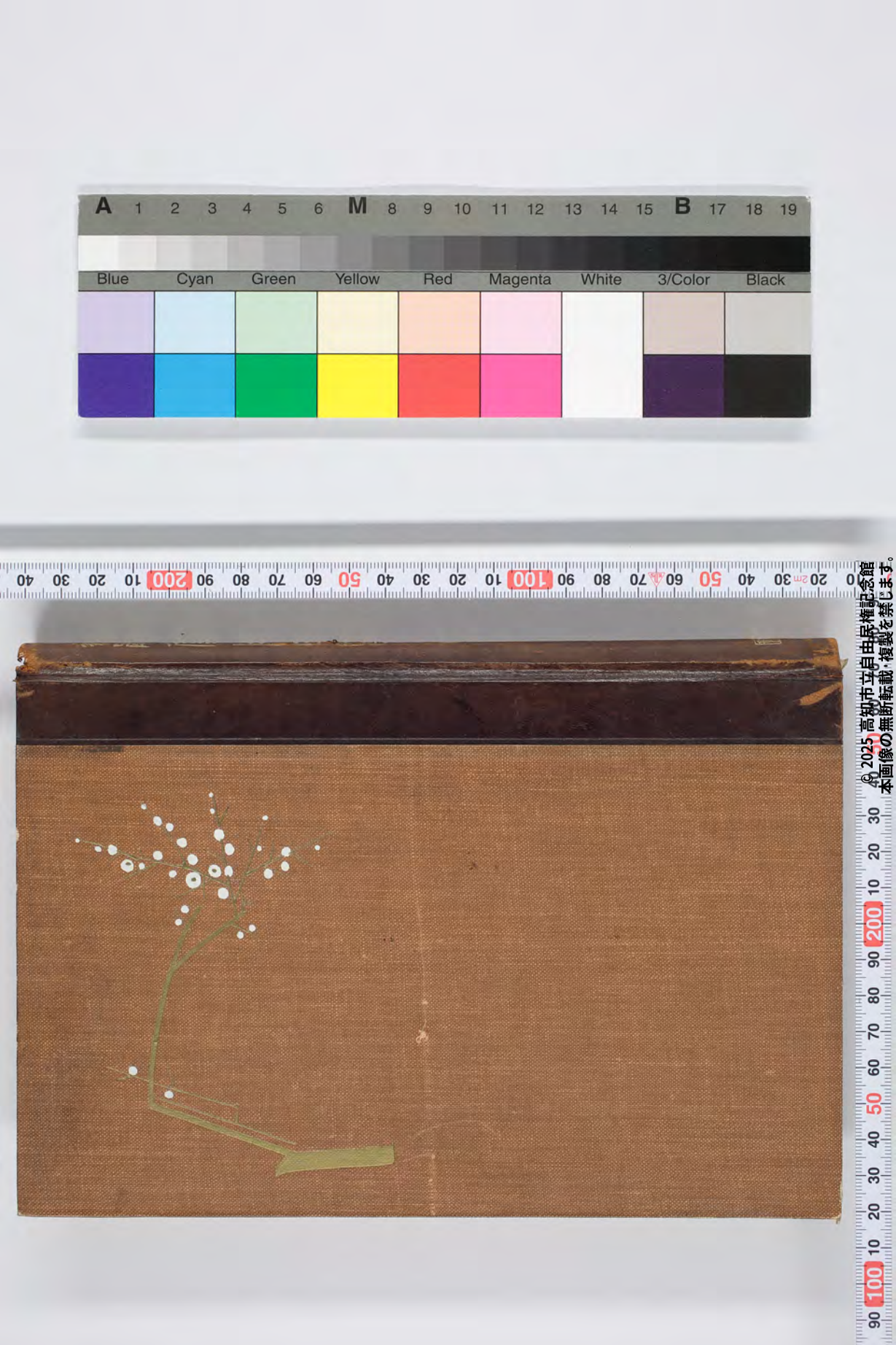


© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載，複製を禁じます。

以下日記頁のみ撮影

（1月1日～12月31日）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

一月

睦月・初春月　太郎月

初東風は國の小松にわたりけり　みどり

小寒 六日（前五時十七分）
土用 十八日（前五時十四分）
大寒 廿一日（前二時三十七分）



曜

日	月	火	水	木	金	土
..	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	..	30	31	..	..	..

○満月 一日　●新月 十五日　◐下弦 九日　◑上弦 廿二日

松の内

都大路を走つてゆく自動車、自轉車も、愛らしい輪飾をして、勇ましく風を切つてゆく。軒ごとの門松には、朝日が明るく輝いて、注連繩のそよぐところ、蔬菜の籠ものどかだ。深い山の奥、荒磯の濱、離れ小島の苫家にも、國旗はひらめいて、日本一千萬戸、一齊に迎へる初春の朝、東海をさしのぼる日のやうにわが國運は、延び延びてゆく。松がとれたあとは、世は急にさびしく寒い、多佳れの景色、木枯は歇し、時雨は眠つて、雲ふる夜の犬の吠聲が、あはれに悲しい。

行事

元日 四方拜・歳旦祭（伏見桃山陵・神武天皇陵）
二日 初荷・商初・乘初・初湯・書初・初夢・初荷祝ひ・初荷の馬に東京の方角へ
三日 初商ひ・初売・初荷・若水・若潮・若松・若緑・若返り・若恵比須・若夷・若福・若宝船・若布・若菜・若鶏・若雀・若鴨・若鯉・若鯛・若鰹・若鰯・若鰺・若鯖・若鰈・若鰻・若蛸・若烏賊・若海老・若蟹・若貝・若蜆・若蛤・若浅蜊・若牡蠣・若栄螺・若雲丹・若海鼠・若昆布・若海苔・若寒天・若心太・若蒲鉾・若竹輪・若天麩羅・若薩摩揚・若鳥賊・若章魚・若烏賊・若鯣・若鰹節・若鯣・若鰹節・若鯣・若鰹節

癸酉 寛永 晴天 陰晴

社會の今日

寒宮日和ニヤ天も続キヤリ寒例ノ気大ニ加ハル九時起床

おく霜の雪かとよかふ朝ほらけ風も静かに日もうらゝなり

午后奈田哲太郎夫人及近所真一ノ両氏等全ク見ヘ真一氏ハ深三郎及慶之助ノ両児ハ全快ス兄ハ十二才ヨリ尊ヲ囲ンデ歌留多ヲ共ニシ饌ニ上ルモノ尽リ食ヲ尽シテ大満足ナリ八時半打連レテ辞去

月代ヲシ

[貼紙] 門松や郵便局の大袋 旭子

癸酉 寛永 晴天 陰晴

社會の今日

朝八時起床オク霜ヲシ午后三時ヨリ奈良健六年ヲ以テ来ル公人出勝神ヨリ帰宗兄弟ノ近況ヲ祥スルヲ得タリ朝十時平真分小林武峯命ヲ以テ新ニ百圓ヲ授ケ引遣ヘテ勝候故太郎留守ヲリトシテ笹雇ヨリ来ル明日午前峯命ヲ以テ豫定ヲ書実ヤ中ヲ引渡ヨテ帰安午時六時ヨリ

[貼紙] 民制のベ形つくろふ番袋 勝の字の朱もうれしけれ 三角梨子

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨日 記事

午前十時半十分壽美公爵女中ゆくし書生宮島ヲツレ来宗蝉発 途中大船ニテ弁当ヲ求メ石一駅十三分熱海着待合室ニテ休ム 石一駅ヨリ自動車ニ乗リ順路湯代仔来川名来沢熱河箱根ヲ一歴シ湖畔ニ演ベ三時十五分峯着別荘ニ入ル(自動車賃ハ弁当共拾円位ノ筈) 園ハ小林荘ニ比ベ着ハ劣着ハ着ハ着ハ

天氣 晴 寒暖 計

發信 受信

社會の今日

一月六日 寒き夜明けなり 午前中小林義夫 傳西人子供ら 午後より來りて遊ぶ

樹木の移植ありたり

玉峯敏三人未だ 黒田武一支拂ひ 結果いまだ 玉柱むつかしき見込み 芳正木いかがなりや 納得致さず 帰宅 (父母 神分)

しばらくして 佐伯より 佐伯千恵川武一ト三人立合ひの 黒田正木の西敬三 慶助ヲ 賜ル

アジアの風をうたいこんだテーゼに 田村智子は 脱帽されて 出づ 読売伊三郎

講堂の屋根を入質するを 禁ず (越原三) 北條時政卒す (越保三)

天氣 晴 寒暖 計

發信 受信

社會の今日

〔歌かるた〕 歌かるた会の 歌 覚えてあり 別天樓

上条ノ店員今朝 熊々 大島下田ヲ歴テ 墓参詣ノ 午直ニ 乗リタ刻 海ヲ 祝賀 祝儀 松林 門ヲ 給與ス

始めて大臣を区を置き国宿内武き置を任ず (武帯武) 閣議幕府征討征令を奏す (明治元)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝六工、八官等ノ職人ヽ大々祝儀ヲ以テ松本ヽ五円他ノ二人ヽ五円洋銀六工ヽ名寺何ボ三人ヽ九官九人ヽ名ヲ円ヲ給シ外ヽ百円ヲ直路敦賀入ヲ七ヽ梅川氏ヽ午渡シ置リ又ヤ村五円外ヽ六中ヽ祝儀ヲ円

十時半一行ヽ林ヲ残シテ他ノ車ヽテ出立ス、右一時十三分無事敦賀ヽ三時廿分来宗驛着梅宅壽美ハ直ヽ染井ヽ墓ヲ参ス又ノ四日余日十ヘリ

五時洋服ヽ着ノ料亭ヽ着ヽ山ヒヽ於テ八日会ヽ陪余及内務久保ヽ両氏ヽ幹事ヽリ会員ハ藤山池田両氏ノ外ハ七席着客ヽ村湯太郎氏能ク語ル十一時半帰宅

晴

朝十時工業倶楽部ヽ臨時常任理事会ヽ於テ例ノ如ク開キ午後七時ヽ十一時ヽ社ヽ散会ス

右一時半高島座ヽ於テ美術部ヽ催ス演芸ヲ観ル

右三時芳川男ヽ家庭ヽ来客ヲ訪問

金次郎木陸相ヽ病気ヲ見舞ヒ右一時七度一分ヽ下熱命ゼラルヽ

仍テ一息双郎ヽ妻キ社長ヨリ皇太子殿下ニ謁シ奉ル旨ヲ以テ陛下ヽ献上スヘキ長船光忠ト云ヘル刀（備前国長船光忠ト銘ヲ切リ長銘ハ此外ヽ見ヲラヌト小山田中将ヨリ太刀ヲ視ル小山田中将ヨリ太刀ヽ祝明ヲ少シリ五時帰宅

壽美ハ夜分襖紙其他少々ヲ為ス亀山家用ヲ弁ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇雨

午前十一時ヶ社
午后一時 茨城五十銀行頭取逝去ニ付弔式（四女田銀行員）
来訪三男 式并ニ葬儀ニ付 **業就職** 依頼ノ為メヤリ 断
渡会次ニ申付ケヤキヨステ **近々会式ト面会サルヽヤウ** ト申
遣リ
松村篤太郎氏来訪
社長ヨリ小山田式ヲ招キ毎周一回位刀剣ノ研究ヲ為スヘキ 趣旨ヲ
ヤ趣旨ヨリ先ツ夜分両人ニテ話テタリトニシタシトノ先
ニテ其会スヘシト疾ク
四時退出三田小山町五番地 **藤田四郎式ヲ弔ス** 式ハ九日午
前一時辛ク心臓麻痺ニテ逝去ノ訓報ニテ死亡セルヤリ余
ガ全家ニ於ケルヤウスクラトル際ヤリヤ訓ヤ小五郎式ニ
対シテ悔ヤ述ブ 木村清四郎式夫妻帰宅ニ付 四時半退
出寿美江 **寿ニ** 会ス 帰ニ於ケル 納棺ノ発ヲ待テ **帰宅セ**
リ夜分雨降ル

（入巻）入管子樂譜の如く並びけり 統 海

シルレル生る（一七五九） 徴兵令公布（明治六） 大楽会議決（大正一一）

天候 晴 雪 雨 記事

午前十一時ヶ社ヲ発会議ノ席ニテ **三枝倉庫常務ヨリ**
来談貴上去実施ニ **結果** 貴ニ申ノ右為御想 **外ニヨリ**
出席林有ハヘヒ好ノ **倉庫ニ** 就テ **三枝式ガ全国倉庫**
協会長トシテノ注意ヲ勧告ヲ 無視シ来談ノ次ガ **陰ニ三井**
ノ有力ナル文式ニスガリタル **件ニ付ニ** 重ネトシテ取リヤキ **旨ヲ**
附ケ 来ル ヤリ悦会ニ立帰ヨリ **帰宅ニ** ヤレト注告ニ遵フ
本日午前十時 甘町男爵ノ夫婦ニ 賜ヒ **ニ** スヤキ **料亭文庫**
硯箱 菊ニ二面 **席ニ** 一宛ヲ **手田式ニ** 護送セシメ **会釈ヲ**
午后一時半親族会 終ヒ **ニ** 会ヤキ **ニ** 決散 **ニ** 面会（男爵ニ礼ヤ）
賜宴ノ 席ニ **ヲ** 設ケ **帰社**
小池参ニ助式 **新年** 挨拶ノ **為来社**
田中支鎮元ヨリ **来京** 出 **ニ** 付 **採用依頼ノ** 書
面ヨリ **御ニ** 注意ヲ **ニ** 受ケ **ル** 知 **全人八大** 非推挙ニ者ニ付 **旧**
臓ニ ニ 断リタリトノヤリキ **四時辰ニ帰宅**
春美ハ **右一時半** 高輪邸ニ **社長夫人ノ新年** 招宴ニ **ニ**
帰途 内田山ニ **ニ** 紅リニ **ニ** 立寄リ六時帰宅

（原稿のけむりのうずまく渦巻 焼き捨てられた空の光あるうしろ 新見ばるな）

伊国憲法生る（紀元二） 仏国刑罰ルール地方占領（大正一二） 金輸出解禁（昭和）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

種類	天候	氣温
記事	晴	

午前十一時廿分出社

正午家庭事務ヲ終ヘ終ル新年宴會ニ臨ム集ル者共ハ
男爵江口、相島、武市、仁井田各氏、隆助恒治ノ兩兄
和田刑事並ニ秀島生等十四名内ヽ婦人ハ五名平均年
齢六十一歳余リ

右ヶ時時部相重役會
ヲ三時ヨリ此時藤田部
ヲ別ニ青山奔場

午後十一時廿分出社

正午家庭事務ヲ終ヘ終ル新年宴會ニ臨ム集ル者共ハ
男爵江口、相島、武市、仁井田各氏、隆助恒治ノ兩兄
和田刑事並ニ秀島生等十四名内ヽ婦人ハ五名平均年
齢六十一歳余リ

右ヶ時時部相會社ノ重役會ニ臨ミ社債六千圓内ニ
千圓償還殘リ三千圓六分ノ分ヲ四分五厘換證
ヲ午後十ヶ時ヨリ毎本百五拾円ツヽ償還ノ條件ハ一ヶ
數料百円ヲ元円五拾銭ニテ借替ノ件ヲ決定ス臨時
總會ハ月末ヲ定ムルコトヽス

三時退出直ニ青山奔場ニ至リ藤田四郎氏ヲ訪別ニ會
ヲ催シ歸途芸州大倉邸ニ立ヨリ暮七時廿分帰宅
後ノ自十日朝死セル海ヲ述ベ父振リテ余馬氏ヲ面會ス
夜分小林茂峯ヨリ歸ル引抵ヲ興大来ル来ル亜ノ部當金
弐百六拾五圓ト渡リ遣ヲタル金ハ

【裏面】裏面を略圖として餘の中石路

種類	天候	氣温
記事	晴	

午前十一時社ヲ發シ會議ニ臨ム三菱製鐵會社引受日
本製鐵會社株ヲ千七百万圓分部件ヲ許諾ス本社
五百万圓、製鐵五百万圓ト仮定ス

午後三時五十銀行頭取定次郎氏三男君子夫婦工業
就職ノ件ニ付斯波公會長ヲ移牒ヲ置リ
田中大顧問ヨリ依頼

午後四時退出中濱迄永井氏ノ令嬢ノ葬儀ニ參列ス

午前十一時社ヲ發シ會議ニ臨ム三菱製鐵會社引受日
本製鐵會社株ヲ千七百万圓分部件ヲ許諾ス本社
五百万圓、製鐵五百万圓ト仮定ス

午後三時五十銀行頭取定次郎氏三男君子夫婦工業
就職ノ件ニ付斯波公會長ヲ移牒ヲ置リ
田中大顧問ヨリ依頼

午後四時退出中濱迄永井氏ノ令嬢ノ葬儀ニ參列ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 摂氏

大倉孫七郎父母愛葬式ニ芝増上寺ニ着洞
雙国寺ニ仏一時ニ引ケ時
月仏会 鉄幣帛奉事
木島寿 成式参列式
未ダ八着場ニ前ニ特ニ

会別式 某地本願寺ニ於テ
ヨリ引時 代理焼香

社会の全白

朝十時知産主人番頭野田金伴 康克大小、(七五〇円)ヲ
弘安刀大蔵粧作 (八百円)ノ刀田母里正宗介刀 (四五〇円)
御座ヲ軍慶短刀 (五〇〇円)ノ特ニ入刀田母里ノ刀ヲ預リ
置リ正宗介名ハ国慶、天文天正年間ノ人ニ候故業地未ダ委
細トテ御落胆後ヲ地刀工ヨリ本刀ハ蛇ノ目ノ文下ニ細
正世帝之ト金象嵌アリ
午后七時半ヨリ雙国寺ニ於ケル大倉家御母堂ノ告
別式ニ出ル帰リテ寝ヌト共ニ業績ニ母人ヲ看ス折悪
敷復不在リ土産物ヲ置キテ帰ル帰途池本井ノ葬
ノ葬ヲ成ス
留守中母人ヨリ蛤蜊ノ刺身ヲ贈ラレタリ夕食ニヨリテ
ノ帰途ナランカ

[裏面] 寒露ばかりなる花壇かな 蝶夫

16 北條氏綱江城を取る(大永四年) 乃木大将将旗(明治三九) 多門院日記(文安元年) 蔵人の祭に従う(昭和八)

天候 晴 寒暖 摂氏

社会の全白

山本直良氏母堂(在十
月日告別式ヲ後ヨリ時
ヨリ二時 青山斎場

午前十一時廿分出社 久我矢勒
午后一時 倉成文太 出社
会時 忍藤実 花氏来訪 来北大阪ヨリ 経済学部在学ノ
会氏ニ面 就職ノ件ヨリ 商事其他ノ経済ニ関シ
シ期ニ達シタリト 依テ 久我ヨリ 氏名ハ交通ノ事研究シ
リトノ事ニテ 其ヨリ 何ヲ大蔵省ニ入省シ度ヨリ
ト云フ事ニテ 山本家ノ葬儀ニ出場不在リ
社会常識ニ優遠ナル 何分ノ返事ハ出来ヌトノ事ニテ
后ヨリ時直ニ山本直良氏母堂青山斎場ニ於ケル告別式
ニ会葬ス 帰途 山内侯爵邸ニ詣キ旧臘
歳暮ノ 礼ヲ述ベ 帰宅ス
木島寿成氏ヲ八久楚雄氏ヲ代理トシテ 遣ハシ平素
ヲ表シ香典 斗拾圓ヲ贈ル
若松他屋慶太郎氏ヨリ 訃ニ接シ電報ヲ以テ弔辞ヲ
述ベ 会時 供物ヲ送ル 若松支店ニ 依頼ス

旅と知との別は特別の感ある者同士のみ僅かの口に尽くしがたい。 宮崎英心

17 浜下門の変(文久二) 帝都御鹵簿見物(一七七八) 小栗風葉葬送す(大正一五) 宗城大将閑院宮殿下(昭和八)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇和英 寒暖 降水

午前十一時半社々長室会議ニ列ス
本日造船会社ハ休会ニ付テ取締役武政次松次本社ヘ
呼ビ転シ仝係太平則慶神戸造船所長ヲ訪シ仕様書
違ニ付キ造船次長元良信太郎西成本店常務ト八
島造船次長赤村三一取締役ト玉井商介技術造船次長
松井小三郎神戸造船次長ト仕様書ヲ協議ス
本社秘書役横貝九名自分ヲ入レテ十八、廿一、廿二
ノ三日ノ分十五枚新劇場ニ入場ス
来十九日神楽坂ニ於テ楽器会議ニ出席ノ為メ午後
四時ヨリ仝会技師長金弐百円ヲ持参ス
金額四千円ニテ女セルム
仝ノ退職ノ希望ニ付キ暫ク見合シ呉レ様特ニ社長
ヨリ懇請アリ 四時退出

川端生まる渕遠の冬ふかし　尾山篤二郎
波船はあれど波船守なき

天候 晴 寒暖 降水

癪ニ付キ病欠ス
午前十一時出社
坂越正二郎氏深川地区倉庫用地トシテ使用ノ件
ニ付来訪ニ付キ三橋倉庫常務ニ紹介ス
仝氏ト共ニ木村田工場敷地移転費負担ノ件
ニ付来訪
植田建造次長ト一時半ヨリ来訪
正午島安次郎氏ト共ニ造船斡旋ニ付キ招待午餐会ニ列席
仝氏ト共ニ一時半帰社
石坂泰吉氏ヨリ渡辺汽船常務ト一昨日ヨリ来訪ノ趣意
申伝ニ付キ夕ルヽ仝氏ト面会スルヲ要セズト申送ル
四時退出

新婚を作る(天安光)　フランクリン生る(一七〇六)　東京地方気象観測所設置(一八七五)　東京地方暴風雨襲来十一年振の強雨降る(昭和八)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寒暖 雪 晴 記事

前夜より大雪降り

和雪や雨のと半降りて

午前十一時出社会議ニ臨

午後雪積尺余

午後愛国婦人会支部ヨリ来状

午後愛国婦人会支部ヨリ来状

会長都筑馨六氏ヨリ来状

会長都筑馨六氏ヨリ来状

午後二時ヨリ

午後二時ヨリ

午後愛国婦人会支部ヨリ来状

会長都筑馨六氏ヨリ来状

会長都筑馨六氏ヨリ来状

天候 晴 寒暖 昨日ニ比シ

発信 受信

朝来風アリタルモ止ミタルガ 午時頃再度吹キ出シ夕暮ニ至リテ止ミタリ

一時頃寿美ト金雪 吉祥寺ニ母キ峯別荘ヲ移植スルヤキ庭木ノ買入レヲ小林茂ニ指図スル為メ帰宅ス 依テ植木買入次第ヲ以テ三菱商事就職希望ニテ来ル法科北条清司氏当午中星野錦氏ノ紹介ヲ以テ来訪ニ付在仙台田岡良一氏男久雄(二才)ヲ以テ銀造一月山夏一作長女六ヶ月分ヲ短刀ヲ贈呈シ(書面ヲ包)其ノ旨ヲ良一ニ案内ス

天候 晴 寒暖 昨日ニ比シ

発信 受信

日本国際協会後援会ノ為メ 午時 新橋着

来仕見大使閣下(仏国大使)ヲ始メ閣下ノ知人ニ紹介セラレ正午夫婦ヲ以テ午餐会ニ招カレ 寿美ハリ新橋ニ残リ

雪後ノ好天気庭ニハ雪ヲ掃ノ如リ

十一時半ヲ以テ正午来仕見大使閣下ヲ始メ閣下ノ知人ニ紹介セラレ午餐会ニ列ス 余ハ席ヲ賜ハリ(右ハ中島商相)余ノ左ハ右河男爵夫人川喜多(故人ノ為メ喪服ヲ着用ス)順次ニ着席ス 右ハ外中島商相夫人、池田成彬夫人、牛場(前蔵相)根津(前右河男爵)李鍾九十崔見左右ハ雄夫人等外ニ高橋別荘カ左手客室ニテ

食後別室ニテ 故国婦人会ヨリ援助ヲ依頼アリ次テ中島商相ヨリ顧問ヲ依リ代議士ノ其紹介ヲ受ケ辞去ス一同ニヲ了ニテ退出

午后五時半ヨリ社ノ余ノ社ヲ少ヤ社長ヲ始メ社員

天候 晴 寒暖

午前十一時三菱銀行ニ母ヲ案内ス
午後一時退出直ニ来仮見宮ハ脱ス
礼ニ行ク
帰途東京駅ニ司ニテ理髪ス
時半出社

社長ト懇談疲労帰宅
会ノ件ノ他ノ振合ヲ検ス事トシ
積ノ日本製鉄三菱代表重役ノ件ニ
審議ヲコフコトニ
就テハ松田専次郎氏ト懇談ス事ト
ス

弁業会社村上山下両手取締役ヲ午餐ニ
招キ午後五時迄懇談ス事トシ手
伝ヒ呉レタル林権助男、藤山雷太、服部
金太郎(父)大橋新太郎四氏ヨリ催サレタル老人会ノ夫
ニ出席ス会ハ午後五時ヨリ
ニ於テ会ス主客私人トシテ九時半帰宅

(一三、八九五)勇介作腰ヲ父ニ対シ二五円
その日その時と何かのつながりを
ひもとく 原爆筒 心はげむ 広島県 (一〇円) 幸盛作

近江に百歳の大きな松を見る(章魚游光)　蒼詩集ハイカイ生る(一七八八)

天候 晴 寒暖

午前十時半長陣
リボルバー薬莢帰
午後一時半
東京リラヴ既婚会ニ
出席ス

午後六時半ヨリ帝国
ホテルニ於ケル
日本倶楽部理事会
ニ出席ス

午後六時半ヨリ偕行社ニ於ケル
幸夜会ニ
出席ス

午後六時半ヨリ偕行社ニ於ケル
送迎会ニ
出席ス

午後六時半ヨリ
帰会井上謙吉ト会
食ス

寝ニ就ク

寝床ヘハイル電報アリ
眞吉ヨリ今朝四時死ス直樹
今村眞吉ハ私ト倒レタルヨリ午後十二時
心臓病ニテアル
十一時出社ト共ニ会議ニ臨ミ十二時工業倶楽部ニ
事会ニ列シ昼食ヲ共ニ決養井ニ電報ヲ
次会ノ日取リヲ廿九日ト定ム一時四十分帰社
午後時半ヨリ隣倶会ニ井上侯中将来社三件、永泉
船田列席ス会ニ事業ニ関スル説明ヲ聴取ス
四時半迄ニ金庫ニ到レ今村眞吉ノ宅ヲ弔シ父直樹
ニ弔意ヲ述ベ且ツ金庫ニ納ム
悔ヤミヲ棒報福十万自モ在リ宮
ニ帰ル告別式ハ廿日一時ヨリ斗時トニテ五時廿五分辞ス
夜分大串五義二氏来ル
祝トシテ箸楷子典(自著)ヲ贈ル
祝トシテ菊花菊図軸ヲ贈ル

(朱筆) 父母ヲ思ヒ子ヲ愛スル心ハ人ノ情ニ於テ変ルコトナシ

英詩集ベーコン生ル(一五六一)　俳書林雑山賀ト十七年五五(明暦三)　多門、伝田南蘋筆墨内筆状上巻ス(昭和八)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 晴 記事

昨夜半ヨリ今晩ニカケ寒サ強シ

午前十一時半ヨリ社

午后一時ニ上来次氏来訪 應仁天皇ノ時来朝日本ニ文明ヲ開ケル和仁ノ墓碑河内ノ国ニアリ日鮮親和ノ一助トシテ其徳ヲ称ヘ神社ニ奉祀セント伐アリ小笠原長幹伯不日来リテ援助ヲ乞フ可シトノ事

午后四時ニ退社ス

帰途花ビルニ立ヨリ油絵(墨入筆)水彩絵お玉筆)ノ額掛ヲ注文ス

金が色屋の代理し老いた大人達になると金が全く色屋と同じになるらしいから小遣でやる。花袋

天候 晴 寒暖 晴 記事

夜分ヨリ級研究会 島安次郎ノ時

日清実業協会 東京会館 正午前

午前十一時廿分社ニ於テ会議ヲ開キ社長ト来ル

金庫評会舎ヨリ申来リタル屋俸保険加入ノ件ニ付テハ永野理事ヲ主班トシ鉛業 造船ノ委員ヲ以テ研究セラルルコトヽス

永森氏取調ノ処案ハ鉛業造船ノ両業ニ於テ致シ居従業者ヲ加入セシムルヲ否ハ追テ研究スル事トスルモ一社ニ於テ百株ヨリ三百株迄トナバ株主タリ置方得策ナリトノ通知ヲ得タリ

四時退社陸軍大臣支那ヨリ到リ新任林銑十郎大将ニ祝意ヲ表ス

夜八時島安次郎ヨリ小山田千代ヨリ大和物識別ノ依頼目ヨリ自然園（歴友ナシ）鉛筆ノ中度、焼詰柿御ケ（宮内ナシ）地銭杜目又ハ杜目カリタルモ持ト保証ハ著シ則チ百万ノ牛檜包裏共ニ仙谷周位御ケテカ付ケ浅明アリ金ノ催ケル処ノ原稿則チ（金参

郵便一銭ハ一万枚ト二千枚ヲ其他ハ本合ヨリ持ニ来ル事ニ国庫ヨリ保存行使ヲ交ス金五銭カト称ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 来訪 記事

午前十一時四十分出社久振りにて松岡均平男と面会ス
午后食事后引続き貴衆両院川見
戈村土場ノ倉庫文太氏来訪
善隣協会ノ井上理事ヨリ電話にて二十三日来訪ス旨ノ
件承知ス旨返事ス
他メシの面倒可致旨申述ル
三時半退出帰宅
井上侯爵未亡人未刻自転車にて夫人同伴来訪午后
四時半帰リ五時頃退出病後初メテ来訪ナリ

天候 晴 来訪 記事

午前十一時十分出社各局長会議ニ列ス
午后近重真澄氏紹介前川都太三共商会所用納入ノ
ン陳情ノ件ヲ二七川商事会長ニ話シ置ク
右ノ時退出其ノ儘倶楽部ニ立寄リ帰宅
夜分寿美子ノ家具座松浦ヲ招キ洋食ヲ
共ニ談ス
井上侯爵葬会評議員両氏ヲ茶話ス
仙台岡崎良一ヨリ長男久雄ニ贈リタル守刀ノ検分来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 陸 海

終日外出セズ

大日本夏季国土防衛同盟会長、日端陸蔵中将ヨリ左ノ如キ書面ヲ送リ来ル

会計士林久三郎君信（林君ハ昨年末死亡セル竹川林次郎氏ノ甥ニシテ竹川氏ノ事業ヲ継ギ居レリ）ハ昨年来ノ病気ニ罹リ、目下重態ニテ、医師ノ診断ニヨレバ、今ヤ絶望ノ状態ニアリ、従テ同君ノ事業ハ勿論、其ノ家族ノ将来ニ対シテモ、非常ノ不安ヲ感ジ居ルヲ以テ、同君ノ親友ニシテ、且ツ同君ノ事業ニ関係ヲ有スル者ハ、此際何トカ相談ニ与リ、又ハ相当ノ処置ヲ講ジテ、同君ノ為メ、又ハ其家族ノ為メ、万全ノ策ヲ講ジ置クノ必要アリト認メラルルニ付、本日午後一時ヨリ、当会社ノ事務所ニ於テ、会合ヲ開キ、相談ヲ遂ゲタキ旨ノ通知アリ、依テ当会社ヨリハ、植木（梅、木毅ノ類）ヲ代表者トシテ、出席セシムル事ニ決シ、自動車一台ヲ送リ、家族ヲ乗セテ、植木ノ邸ニ赴キ、植木ヲ乗セテ、会場ニ赴ケリ

夜分松浦家具店主人来ル

古事記を上る（和銅五）　生類憐愍の禁を布く（貞享四）　加賀藩前田綱紀薨（享保二）　支那国花井社井戸に廃毒を投ず（昭和四）　関東大震災（大正一二）

天候 晴 陸 海

社会の今日

終日外出セズ

午前ヨリ、トヽ林義ヲソレ十月十時、五十五分発ノ汽車ヨリ歌山ニ赴ケリ

午前十一時、社葬ノ為メ、寿美子期ノ為メ、紀陽銀行ニ赴キ、社債六十万円ヲ受取リ、午後二時、郵船会社臨時株主会ニ出席シ、件ノ所有株ヲ処分シ、利率ハ五分五厘ニテ、来ル三月末日迄ニ、五十万円ヲ預ケル事ニ決定シ、午後四時、帰宅ス

午後六時ヨリ、日本橋倶楽部ニ於ケル、東京府下ニ於ケル、新年宴会ニ出席ス

午後七時、会場ヲ出デ、来賓ニ送ラレテ、帰宅ス

（欄外）
寿美子ノ為メ、紀陽銀行ニ赴キ、社債六十万円ヲ受取リ、午後二時、郵船会社臨時株主会ニ出席シ、件ノ所有株ヲ処分シ、利率ハ五分五厘ニテ、来ル三月末日迄ニ、五十万円ヲ預ケル事ニ決定シ、午後四時、帰宅ス

午後六時ヨリ、日本橋倶楽部ニ於ケル、東京府下ニ於ケル、新年宴会ニ出席ス

午後七時、会場ヲ出デ、来賓ニ送ラレテ、帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇夜晴 感想

朝十時小林利助氏来社 昨年引揚ゲ我ノ見本ヲ渡ス
公時ヨリ家具ヨリカル 高島屋并ニ花川新店ヨリ見積リ
ヲ渡リ置リ
午前十一時出社 金次九段階行社 商保部ヨリ支金ヲ
益ヲ割戻作証文ノ 猪鹿(宮口)ノ 夜刀ヲ支取リ代金
七拾九円八拾弐ヲ支払フ
十一時社長室会議 浅ヲ伴リ社長全三十分出社 大体太吉
件ノ打合ヲ 茅町男ト面会ノ為メ家庭事情ヲ聞キ
リニ午後一時 弁当会社重役会ニ出席
犬村工場ノ 倉成支太ヲ来社
午後三時 浜崎ヨリ帝盤松一ノ枝志申込 成男ノ紹介ニ
男爵ヲ要ス ヨリ依頼ニ焼香ス 帰金地ノ新
六時会ニ 共会九時半帰ス
今朝神戸ヨリ正午ヨリ 自筆ニテ病症ノ短信ヲ報告シ
来リ

(墨付、絵望すな カーライル)

天候 晴

感想

朝箱根別荘ノ新ナル人 鈴木磯次郎来ル 箱根登山鉄
道会社ヨリ 温泉供給ノ件ニ付テノ書面ニ添ヘ八月以降ノ温
泉代其他ノ注意ヲ百円外ニ弐拾円ヲ月給ニ入リ越テ
来ト云ヒテ後ノ月給ハ月三拾円ト申込ヨリ 快諾ス
七松五郎会ノ残金 五月ヨリ七月迄三月間ノ 温泉料ハ四
午許ニテリ 夫
会松時福泉ノ蒲鉾ヲ持来ル 銭龍 弁護会社ヨリ為ス来依ノ来
十一時半社ニ於ケル社長ト タル工場 主任者ノ件ニ付 会長ノ
意見ヲ伺ヒ 松田ニ十八弐分其他ニ付 社長ノ注意ヲ
午后割引 銭 松田常務ヲ招キ日本製鉄 会社ヨリ引取リ可キ
鋳貨鋳工ノ 鉄庫ヲ充ツル
明日松山ノ相続ヲ 林 石五松林ノ件ニ付 弐三回払込金四千
五百円ノ小切ヲ正木松吉ヨリ 役場ヨリ依ス
午后四時頃良生帰ル

其外来客九時頃大変ニ付八五円一弁ハ五ヲ支取リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



平二月

衣更着・梅見月
早蕨月

愛や朝寝を起す　子規
人もなし

節分　三日
立春　四日（後九時四分）
雨水　十九日（後五時二分）

七曜

日	月	火	水	木	金	土
...	...	...	...	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	...	27	28	...	...	...

月相

●下弦　七日
●新月　十四日
○上弦　廿一日

スキーの國

右も左も白銀ぎんの山々、氷の湖上を車窓に眺めて走る汽車は北國のスキー場へと人々を運ぶ。ただちから傾斜に作られた白雪の走路、こゝに馳せる人々の中に年毎に數を増す婦人のスキーヤーの華やかな上衣と軽快な身振はスポーツ時代の明るい色彩を感じさす。スキングにジヤンプに冷たい風の中に躍動する人々には雪の世界こそ樂園である。疲れた身體を宿に躍つて漲みなぎる湯氣の立ち上る溫泉に浸る時の快さ。春遠い北の國ながら雪解の水の驚を落ちる頃ともなれば明るむ空に暖かな太陽を仰ぎ、地の下草の寸ばかり萠ゆる緑を見るであらう。

季寄

〔時候〕春の雪、凍雪、雪解、春寒、餘寒、下萠、春浅し、青葉、春曇、春霜、菜の花、朧月夜、菜種梅雨、魚に水、つばくら、早わらび、沈丁花、（白魚）梅、梅見、探梅、菜花、雪柳、木瓜、沙羅の花、（蛤蜊）（蛤）、（鰆）、目刺、（鰊）、鰆、鳥貝、貝の舌、小鯛、鯛、里芋、三つ葉、筍、蕗、うど、蕨、ぜんまい、文旦、

〔遊樂〕春の山、春の水、梅の花、花の雨、梅見、探梅、梅林、梅園、梅屋敷、梅園、梅の宿、梅干、梅酒、梅漬、梅園、梅の宿、梅干、梅酒、梅漬、梅園、梅の宿、梅干、梅酒、梅漬

前略、為メヤ氣遠方ヨリ高々トリ 十一時半出社
昨日松江ヨリ電報ニテ 百五拾株ト引換ニ 銀行
ヨリ送付シ保管証券 一通入手ニ付依頼ス
一金参百円也ノ為替金ヲ故国母方ニ 振送ス
午后参時半退出タビルニ立寄リ額縁製作 成リタルヲ
サカエノ葡萄ノ水彩画ヲ受取リ帰宅松五門ヨリ
今朝 同 一時成ル帰社 秋草、大炉檜置手板新掲入ス
四方ヨリ祝賀分ヲ持参ス
百五時 松浦家ヨリ祝 雪及寒節ヨリ本ヲ持参ス
夜分寿美ヨリ電話来ル 梅川氏明朝十時来訪ニ付夜半
前変ヲ雪トナル

発信 雪ヒ雪 受信
住所
発信 変信

斎藤利雄氏ヨリ神明
歓迎会 来ル会ニ付
六時 前

本日ハ節分 大寒ノ明ケヨリ 積雪三寸本年ノ大雪
ヨリ会国到ル処 除雪ノ為メ 銭苗有ハ悲鳴ヲ上ケ
タリ吹雪ノ為メ今暁 京濱電車 停交大破 死傷アリ
午前十時 梅川氏来訪 挙ノ模様ヲ少キ中門ヨリ 脚
ノ状ヲ述ベ 模井ノ施進ヲ計ラレ度シ 置ク当寿美ヨリ
午前ヨリ 午許金ノ内参百金円 池田ヨリ植木代ノ内、
弐百円外ニ百金円 運賃トテ四ツ三百 運賃ニ支払ヒ
ノ上ニ 補充トシテ金三百円手紙ヲ封入 梅川氏ヘ託ス
金弐百円ハ本日午后 吉祥寺ヨリ水産ヲ視ル為
十一時半出社 長室ニ通ス
午后三時半永泉氏ト造船公開ノ件順ニ付 懇談ス 先ツ株主
会社ノ残半数ノ株ヲ本社ニ収メントヲ一対ヨリ割合ニテ造船
会社ヘ合併ス（其際前ニ造船ヲ三十万円ニ 拡資）仍テ五十万円
トナリシヲ半額以内ヲ公開ス 帰京ト共ニ会計ニ 会社
重役会社ノ株ヲ本社ニ収メル 丁ニ付 左ノ通リ決ス四時半
退出帰宅 此日午后一時頃 高生古川ノ丁ヨリ電報 周吉ヨリ貰ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 計

午前十時起床 寿美室より電話あり 土下して植木の事を依頼す 一應帰祥せしめ 祥子より植木を輸送せらるにつき 枝ぶり水量次第 植付ける事

午後一時より 祥子と共に 金正の模型 未荷刷 荘の型 ハガキ以上 及びいろいろと見る 床の間の軸の様な 事うすこし時帰る

長則為八又午前来り 昨夜会ったへ話 先代実雄院 五十年忌法要の 打ち合せ 甘町 神谷 鉄次郎二話し 藤村の生菓子一箱を贈る

(雪めく) 庭石のみどり目に浮く 雪あとき 遥

平清盛没す(養和元) 源士四十七人に死を賜はる(元禄一六) 国際聯盟脱退に我代表松岡洋右大活躍す(昭和八)

天候 晴 寒暖 計

午前十一時半出社

午后一時から板武雄氏外二名と会す

午時 松村竜太郎氏来村 昨年十二月の墳墓参拝の件 打合せ 藤井の件 打合せ

午後四時 退社上野の会合に赴き 九時半帰宅 寿美子と話す

カーライル死す(一八三一) 電上幕府の海防策を禁ず(明治三) 日露国境条約(同七)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 昨夜なし

信書 受信 電信

昨夜十時半鎌田栄吉氏死去（ネーカトキ死去）
午前十一時出社ニ長室会議ニ臨ム社長咽喉ヲ痛メテ欠勤
午後四時退出帰宅
此朝家計書ストシテ井上ニ金五拾円ヲ送ル
宰ノ家具製作ノ為ヲ松浦家具製作所ニ注文ス
公人此々宰ニ参リ居ル

（餘事）鳥雨に鳥の少なき餘寒かな 子規

天氣 晴 寒暖 昨日なし

信書 受信 電信

午前十一時半ヨリ社ニ長欠勤
日本製鉄会社ヨリ社ニ引抜キタル前次長金子茂輔及営業事務主任川端志一両氏ヲ招キ慰労ノ為メ会食ス
午後三時茅町邸ニ到リ先代休太郎氏五十七年ノ法要ヲ営ム余ハ三度会社ニ従ヒ其ノ代表トシテ往ヤタルヨリ親戚ノ外故人ノ下ニアリタルモノ酒川新助（八十二ヶ病気ノ為メ）山本達雄男（不在）根岸錬次郎氏ハ帰モ病ヲオシテ来会セラル此時半民出社ニ帰ル
午後四時半小林制助公見工場ヲ卒ヒテ来会ス
午後五時半小林制助公見工場ヲ卒ヒテ来会ス
松屋ニ注文スルコトトス
今七時ト林ニ参リ帰リ今地ノ洋館ヲ見ル

（餘事）いちはやく露のとけたる蕗ばたに 結芝草つめらはいこゐる 鼠蘆声水

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 晴 計

發信 受信

午前十一時出社ス 会議ニ臨ム 終テ社長室ニ於テ 本日ノ定例閣議ニ於ケル 其他ニ関シ 永系ノ 方針ニ就キ 懇談ス 正午ニ至リ 散会ス

午後一時ヨリ 小林利助氏 会議ニ 銀座実業ニ 出キ 挙別荘ニ 開催セラレタル 八日舎ニ 来賓ト 共ニ 午餐ヲ 喫ス

午後三時半 社ニ帰リ 来客ニ 会ス

午後四時半 鎌田栄吉氏ノ 告別式ニ 臨ム 帰途 病院ニ 立寄ル

公五時五十分 山口ニ 於ケル 八日会ニ 出席ス 中島商相 奉祝ノ 為メ 今夕 辞表ヲ 呈出シ 慰留ノ 為メ 林陸相ヨリ 会ノ 席ヲ 更ニ 会ヲ 外ニ 池田 井藤山ノ三氏 病ノ 為メ 欠席 来賓ヨリ 九時半頃 散会 帰宅

留守中 異状ナシ

八日舎
来賓 林銑十郎 陸相
幹事 御池田

鎌田栄吉氏 告別式
右 参列

天候 晴 寒暖 晴 計

發信 受信

屋郵鈔 胸像 贈呈
キニ付 橋実業組合 依頼
右一件 手

鮮満視察 会議 食会
ライオン ビール 右出席ノ 件

二月九日 癸酉 昭和十二年 二十六日 金曜 辛亥

朝十一時 永系理事ヲ 招致シ 造船公開一件ニ 付懇談 其他ノ 研究打合ス 正午ニ 散ス

午後四時半 退社 帰宅 正装 仮寝 直ニ 起キ 夕食ヲ 喫シ 直ニ 出掛ケ 山口ニ 赴ク 地ノ 件ニ 付 青年 会ヨリ 電話アリ 依テ 電話ニ テ 正装ヲ 時ヲ 知レ 帰宅 場合ハ 一時 熱海ニ 滞留 挙行キ ハ 全地ヨリ 汽車ニ 乗ル 迄待合ス 事ニ 打合セ 其他ノ 挙ノ 善美 迄 電話セシム

午後六時 木挽町山口ニ 於ケル 造船会社 新会長 就任 新常務 任来元良氏 本店 新参 慰労 会ニ 臨ム 七時半 全ク 辞シ 自宅 改邸ニ 引キ 山田 繁井中将ヨリ 来国行一振ノ 特徴ヲ 聴キ 二十国俊 来国俊 全国光 来国次 (今村氏ハ 猛川地ト 鑑定ス) ノ 実物ニ 就キ 殺ヲ 受ケ 余ハ 来国光 在銘 短刀ト 来国長 数珠丸 ノ二口ヲ 持参 入皆合格ス 十一時帰宅

家計費ノ内ヘ 金百円ヲ 収ム

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 晴 記

發信 受信

社會の今日

朝九時日満丈山会社寿氏より面会申込ニ付旅行
スル旨ヲ述ベ九時十時会氏来訪出発直前まで面
会ヲ断リ発ス林茂隠伴ス
十時五十五分中央驛発熱海ニ向フ武市利美氏夫婦子息
三人横浜ノ一行熱海ニ於テ会ス新橋ヨリ同車ス
町人ヲ加ヘ十一時八分熱海着ス迎ヘノ俥数ヲ以テ
来着三時熱川通迎ノ俥五十五分峯着寿美ヲ迎ヘ
テ玄関ヨリ始メテ新邸ニ入ル大ナル山桃楓椿等本邸
ヨリ概ネ移セテ庭前ニ植ハレリ新シキ家ニテ清
澄ナル温泉ニ浴シ夫婦團欒会食ヲ共ニシ留守中
ノ事ヲ語リ今ノ病状ヲ打ち明ケルモアリ
本発ノ除家計費トシテ金壱百円ヲ呈ス十九日ヲ以テ
夜分正六一行熱海ホテルニ来着ノ通知アリ

(墨跡) 雪解や竹はね返る日の裏 子規

天氣 晴 寒暖 晴 記

發信 受信

社會の今日

本日ハ紀元節ニテ此年始メテ休日ヲ得ル訳ニテ峯ニ来
泊シタル一周年ニ当ル此年ハ旅宿本年ハ我家ニ泊ル感
激無量ナル有リ
一年の在り様ヲ考ルニ住ル人ヲ去年の旅ニ出ス
リ
茂ノ父喜太郎モ所用ヨリ来リ宿リ七人一日樹リニテ漸リ
山桃ト楓ノ大樹ノ植付ヲ終リ為メニ玄関前ヨリ引続キ車
ニテ運モナシ
夜分正六一行熱海ホテルニ来着ノ通知アリ

黒川のねぜりからひるに浮く魚の
目真はかさと割れてなりけり 墨田かね子

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

時雪

朝より椿小さん分ヲ主開前に尋大り枝一万に剤したる
分ヲ小澁ノ花上殿に植付り枝板能り居り合ヒタリ
午右二時過より職人ハ主開前ノ地ナラシ柿除ニ着シタリ
食堂ヲ支那樹額四連ヲ掲ク

社會の今日

晴 寒暖計 最高 最低

午雪雲

建信牧場会
日本工業倶楽部
正午

所

今朝西模様ナリシモ午右ヨリ日光ヲ見ルニ大ニ中門ノ地割
ヲナスニ組合工手中ノ道路ニ約五十坪ヲ申受杵山ヲ運搬
費ヲ坪三円ニテ受負ハセタルモ右リレヨリ真土ヲキラスヲ取
ルナリ
朝八時鈴木台処道具ヲ運搬シ来ル職人三名取付ノ
為来ル午ニ人ヤニ宿泊セシム夜ヤ二時迄祥平ノ自動車
右ノ一部ヲ運搬シ来ル運転ヲヲ松蔵鈴ヲ
植木職ノ連中ハ朝ヨリ夕ヘニカケ白山ヨリ山桃一本ヲ運
搬シ来ル之ヲ主開前ノ植土牧太郎ハ居残リテ大澁小澁
ノ間ニ山茶花及雪踏島五月ノ植付ヲナス
午后三峯鉱ノ支人来訪
生田之之氏妻君死去ノ公告ヲ見弔電ヲ発シ香料金弐拾
圓ヲ贈ル柿面午許ニ差圓ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 陰 記事

出勤の合図

欠 信 | 欠 信 | 要 信

午后神田某家ニ葬儀ニ参列ス 某家ハ勤務ノ関係上本月中ニ転勤ノ筈ニテ 今日ハ其ノ送別会ヲ兼ネタルモノナリ 会場ハ神田ノ某料亭ニシテ 会者ハ凡ソ三十名余ニシテ 何レモ某家ノ関係者ナリ 会ハ午后六時ヨリ開カレタリ 余ハ定刻ヨリ稍遅レテ出席セリ 会場ニ入ルヤ 既ニ大半ノ人ハ集リ居リ 余ハ末席ニ着ケリ 会ハ定刻ヨリ稍遅レテ開カレタリ 会者ハ凡ソ三十名余ニシテ 何レモ某家ノ関係者ナリ 会ハ午后六時ヨリ開カレタリ 余ハ定刻ヨリ稍遅レテ出席セリ 会場ニ入ルヤ 既ニ大半ノ人ハ集リ居リ 余ハ末席ニ着ケリ

天候 晴 寒暖 陰 記事

出勤の合図

欠 信 | 欠 信 | 要 信

朝ヨリ天候晴朗ナリ 多門二郎中将及山本陳三郎両氏ヲ訪ヒ 多門中将ハ胃潰瘍ニテ倒レタルモノ 今日ハ其ノ病状ヲ聞キ 且ツ見舞ヲ述ブ 山本氏ハ胃ヲ病ミ 今日ハ其ノ病状ヲ聞キ 且ツ見舞ヲ述ブ 山本氏ハ胃ヲ病ミ 今日ハ其ノ病状ヲ聞キ 且ツ見舞ヲ述ブ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 陸軍

社會の公自

發信 受信

今宵大ヤミ薄ラヤタリ午前溪水用タンクノ取柱ヲヤス
午后三時半頃ヨリ林利助氏来宗ニリ来リ
公四時半頃迄居テ帰宅ス宅之助カ中律ヲ要海ニリ来リ
一家遠カニ賑敷ナリ正六ハ負ハ包帯ヲサレ居レリ
宅之助ヲ元気ヲ代ヲモ最早病石ノ者ニアラズ
植柱三本ヲ卸ニ西北隅ニ沿ヲテ植ヘタリ

天候 晴 寒暖 陸軍

社會の公自

發信 受信

杜

昨夜ヨリ一家久振リノ風邪ヨリ宅ニ籠中ヲ安福ヲリ
小林利助氏午后帰宗
茂ハ松ノ下ヨリ植ヘ
新ヲ
夕刻新ノ木三本ヲ植ヘ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

午前正六ツ頃面程物ノ珍楽ヲ受ケシ為メ見舞ノ医師ノ許ヘ行リ打合セ道ヤタル処庄轄牛松藤ノ事ニヨリ河津濱ノ医師ヲ招致シ来リ午代ヨリ宅方ト共ニ全医師ヲ全集セシメ其許ヨリ珍楽ヲ受ケ帰宅ヲ遂ケタリ

茂ハ他ノ職人ト共ニ明日持ノ樹木ノ移植ヲナヘタリ

午后三時ヨリ峯敏ニ依ヒ主人捕縛時太郎氏ト面談道路ノ件ノ決定ヲ頼ミ置リ

〔雷天に宮る〕雷天に宮るかた官庁ある 羽人

天候 晴

天候遥和ニシテ茂、信、政其他ノ職人ハ玄関先ト池向ノ下植ニ従事面目ヲ改メタリ

正六ツ時河津濱ノ医師ノ許ヘ往復ス

トーナイ疫苗ノ為メ一日床ニ臥リタリ

白耳義日ニ帝アルフオンゾ山登リノ際斯歴ニ従ヒ落シ崩ニ敗ニ校ス

〔ゲルマニア〕ゲルマニアの民族大移動の時代に、ローマ帝国の北方にあった諸部族の総称。ゲルマン人の祖先ともいう。 佐伯木信綱

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴天

昨夜冷気強り池ニ厚氷張ル今朝天気清朗温和ナリ
宅之助病未快症疾夫婦高ノ医師ヲ招キ診ヲ受ケタルモ何モ異状ナシトノコトニ食事後元気トナリ
本日帰京ノ積リナリシモ都合ニヨリ明日ニ延期ス
正六ヨリ金五百圓ヲ送ル普請ノ都合上月内ハ当別荘ニ止マリ来月一日ヨリ今井荘ニ移転スルノ手順ニ申聞リ
兵庫縣山本植木屋ヘ樹残リ約四百五拾圓ト月内諸人ヲ以テ被太郎給料ヨリ金六百五拾圓ヲ夜分小林ニ渡ス
壽美昨夜後側ノ胸痛ヲ悩ミタルモ大事ニハアラズシテ止リタリ
当処ノ土店支店ニ本月三日ヨリ廿日迄ノ諸買物通帳高七拾圓四拾三銭ヲ支拂フ

晴

午前中ハ植木ノ掘圓ヲ為ス
正六夫婦宅ヨリ帰宅ニ付ハ月内ハ当別荘ニ止リ来月初メヨリ今井荘ノ移転ニ引越サンカトノ事ニ依リ貴トシテ五百圓ヲ送ル尤ハ月内ハ正六等ヲ為メ別荘ニ居残リノ筈ナリ
兵庫山本ヨリ取寄セノ植木代残金弁ニ月内人夫支拂ノ為メニ小林茂ヘ六百五拾円着人牧太郎ヨリ引換ニ渡ス
計支拂高ニ百円外ニ追ニ五円ノ賄賂ヲ贈ル事ヲ忘レシ
木人夫ヘ拾円、水道屋ヘ五円ノ賄賂ヲ贈ル事ヲ忘レシ
午後ヨリ家事都合ニヨリ金百円ヲ直ニ引ク五円ヲ受ケタリ
午後三時二十分正六ヨリ着ノ電報ニ依リ壽美今道代ノ自宅ヨリ発程四時廿五分ニ駅海発ノ筈ニテ帰来六時十分中央驛着ノ筈ニ付自邸ヘ入ル

二月二十二日

二月二十二日

寒暖 晴 陰

寒暖 晴 陰

午前十一時ヨリ社々長室会議ニ列シテリテ社ヨリ面会中ノ事件ヲ聽取シ就中井出事件解決ノ方法ヲ説明ヲリ金武ノ午許ヲリ敘田供花ノ為メ頼ヲ取次シタリトヲリ

午后一時政吉井友兄ノ告別式ニ午辻仲町私邸ニ会葬シ帰途生田主之丈ニ面会中会園死去ノ悔ヲ述ヘヲリ帰宅吉井氏ノ許ハ今朝供饌ヲ松阿

午后四時服装ヲ改メ新井柴ヲ訪ヒ友ノ会連中ヲリ自分并ニ夫婦恒太郎西氏令午后帰ノ為メニ産スルヲ田・臨送別新午餐迎ヲ受ケタル者澄ノ件横会ニ陪会スル者主人両人ノ外ニ大橋、藤山、小田切、藤原、倪王ガ友丈ノ九名ニ林権助生田、服部ノ四人ハ病気又ハ事故ノ為メ欠席会后拔数ノ救助ニ帰ハ十時過ヲリ

（白魚）初白魚網にとらしき木の葉かな　露石

編者いわく、雑誌などに載った初句切れの句は、ちょっと見ただけでは句切れとわかりにくい。　太田水穂

聖徳太子摂千（推古帝九二）　ワシントン生ヲ（一七三二）　順行鎮の大敵鄭成功三勇士誉死（昭和七）

昨夜ヨリ寒気強シ本日ハ大内山ニ於ケル皇儀殿下ニ謁生ニ御食事ノ才一日皇族大臣外国使臣等約百名ヲ召サル明廿四日ハ公爵鍋一条以上約四百名廿六日ハ男爵、鍋三等以上約四百名ヲ召サル賜ヒ廿七日ハ従五位以上約七十人ニ令様ノ宮ヲリ

十時五十分出社午后永倉理事ヨリ造船公開ニ関スル説明ヲ聽ク

午前十一時校友ヲ訪ヒ午后帰宅

午后三時十五分郵船会社ニ至リ取帰役会ニ臨ム

金曜日　晴

金曜日ニ出社ノ為メ列席午時帰宅ニ寿美夜朝膳ノ悩ヲリ

大道武太氏死亡ノ通知ヲ受ケ寿美子ヲシテ弔詞ヲ発セシム

平宗盛土川水萬の雪に雲き走る（治承四）　完敵上人生る（元和元）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

朝九時半大橋新太郎氏来訪膳桂之助氏ノ件ニ付打合ヲ為ス

十時半分ニ社長ト共ニ松岡ヲ訪ヒ順序ヲ付キ帰途永原ニ立寄リ

午后一時日端中央倶楽部ニ於ケル会合ニ出席ス

午后一時半頃ヨリ中神壽氏外二人来訪会報書ヲ渡ス

公私時松村竜次郎氏来訪

公私時半頃ヨリ来宗商工会議所ニ赴キ副会頭中野金次郎氏ト会見シ後藤会長ニ面会ス

公時半ヨリ中之宮町永福永支配人ト共ニ来訪

午后六時帰宅

訓示明日ヨリ休暇ニ付各自ニ於テ自重セヨトノ事

夕食ヲ了ス

天氣 晴

明日ヨリ休暇ニ付各自ニ於テ自重セヨトノ事

壽美子午后三時過ヨリ吉祥寺ニ往復ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の合否

祝儀	寒暑	欠席	遅参	早退
曇天	晴雨記			

皇太子殿下ご誕生
午前十一時より祝賀式
右一時より午餐会

三井物産南米金椎代
文集出新著集
午前六時 着

乃木講演(東京帝大)
牧太郎 帰京
俗介社右五時半着

午前十一時半 出社
午后一時 会議 文太氏来訪

全時十分皇儲殿下ご誕生ノ祝トシテ
ご祝チ茶菓ヲ賜ハル 本日召サレタルモノハ従一位勲一等
以下従四位勲三等 高等官一二等 貴族両院副議長
各宗管長無慮四十名 米室ニ於テ 放香杯ヲ
拝領シテ 退出シタリ

西三日前ヨリ咽喉ヲ傷メ居ルヲ以テ 欠席
就テハ三井物産南米代リ椎名氏 寿美 高島 庄平 ノ三氏ヲ
来ル

午前十一時 出社 共産会議ニ臨ム
午后一時 土佐真珠会 来訪
全 大阪内正敏 午来訪 理化学研究所 社債ニ
松山方面ノ 実ノ事ニ付 両度依頼アリ 詮議スベシト答フ
高島日本経済新聞社 会理事 敬積会ヨリマルリ入社
判書出版経過 報告ノ件ニ付 打合セヲ為ス 来訪
橋本圭三郎氏 昼餐ヲ共ニ 業私邸 徴収ノ件ニ付 夜ヲ
煩ハス 来訪
島村秀雄ノ依頼ニヨリ 金弐百円ヲ送付ス
永倉雅平ト 三菱造船会社ノ 午餐ヲ共ニス
四時半退出 帰宅
夜分大阪大平城郎ヨリ(来成立年 野田島町百三十九番地)
世界名笑電話加入権(三口) 譲渡ノ件ニ付 返事ス

社會の合否

祝儀	寒暑	欠席	遅参	早退
晴	晴雨記			

来ル廿二会議ノ為
後出銭勘定 送別会
来ル今夜午后五時半
着、

午前十一時半 出社 共産会議ニ臨ム
午后一時 土佐真珠会 来訪
全 大阪内正敏 午来訪 理化学研究所 社債ニ
松山方面ノ 実ノ事ニ付 両度依頼アリ 詮議スベシト答フ
高島日本経済新聞社 会理事 敬積会ヨリマルリ入社
判書出版経過 報告ノ件ニ付 打合セヲ為ス 来訪
橋本圭三郎氏 昼餐ヲ共ニ 業私邸 徴収ノ件ニ付 夜ヲ
煩ハス 来訪
島村秀雄ノ依頼ニヨリ 金弐百円ヲ送付ス
永倉雅平ト 三菱造船会社ノ 午餐ヲ共ニス
四時半退出 帰宅
夜分大阪大平城郎ヨリ(来成立年 野田島町百三十九番地)
世界名笑電話加入権(三口) 譲渡ノ件ニ付 返事ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候　晴　寒暖　昨日ニ同ジ

大正新公白

午前十時半出社、前田ト打合セ造船公債ノ順序ヲ付ケ社長ヨリ二件、永奈、船田、斯波ノ分ヲ委任ヲ受ケ、又余ノ工業倶楽部ニ関スル事務ヲ会シ、応答大ニ為ス、後社長ヨリ差シ出シ報告ヲ一読、相場ノ資本金ノ五千五百万円ノ一次期ニ而社ノ特別配当ヲナシ造船ノ未払込ヲ徴収スルノ一ノ、フレミアムノ報告ヲナス、用意スルモ之ヲ公ニセザル場合ニ而ナシ、余ハ造船ニ五千五百万円ノ拡張ヲナリトノ説ニ対シ、大体ノ事務ヲ会シ聴ク、佐藤事ヲ会シ聴ク、佐藤事ヲ会シ聴ク、佐藤事ヲ会シ聴ク、



三月（大）

啓蟄　六日（後三時二十七分）
彼岸　十八日
社日　十八日
春分　廿一日（後四時二十八分）

七曜

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

○満月　一日
●新月　十五日
○満月　廿一日
◐下弦　九日
◑上弦　廿三日

三月　彌生・桜月　季節　春情

朧夜のささめき　燃ゆる瞳　かな　陽炎

鏑の灯　矯ひゆくゝ大東京の、銀座の春は、空へゝと立体的にのびてゆく。空中廣告の浮いてゐるところ、上空はどんよりと霞むやうに濁つて、どこからか飛行機の爆音が聞える。ビルディングの屋上庭園には、サラリーマンが、食後の漫談に耽つてゐる。夜に入れば、鋪道を急ぐ若い男女の靴音も輕快で、飾窓の灯も華やかな鐵祭の前、十軒店あたり、立看板に『白酒』と大きく書いた文字が印象的だ。空には蒼をかぶつたおぼろ月、地上に映る物影も淡くほのかな、人懐しい宵である。

季寄　**時候**　春暁、春永、遅日、陽炎、霾曇、春の雨、春の山、春の宵、朧月、暖炉、水温む、鶯、雁供、蛤、蜆、蛸、蛸、蛸

本暦 帝紀 大正 年 三月 一日 月 ○満月 午未 昭和 年 月 日 甲子 年 月 日 大正記念日 甲子 年 月 日 甲子 年 月 日

天候 雲天 風向 風力 日出 六時十二分 日没 五時二十二分 月出 後五時十二分 月没 前五時十二分

午前十一時出社ス 午後臨時閣議ニ列ス

前第二浦製鉄所ヲ政府ニ引渡ス

午后一時廿分林総中将情報部長ノ資格ニテ大元奉天ヨリ帰京ニ付停車場ニ出迎ヒ後援依頼ノ為メ来訪辻説会ノ事ニ関シ

午后四時前市新工町ニ礼ニ橋本正治氏ヲ訪ヒテ帰宅ス 会食ス

午后六時半頃ヨリ日本倶楽部ニテ開カレタル三組合利井(三井物産)清水(清水満之助)中西(中外商業新報)各社長ノ招待会ニ出席ス 帰宅ス

午前七時来客会談ス 満州国公使ヨリ電話ニテ来会ヲ求メラレ来会ス 午后十時半帰宅ス

午后十一時廿分就寝ス

午前十時廿分起床ス 朝食ヲ摂ル

午前十一時廿分ヨリ午后一時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后一時廿分ヨリ午后二時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后二時廿分ヨリ午后三時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后三時廿分ヨリ午后四時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后四時廿分ヨリ午后五時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后五時廿分ヨリ午后六時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后六時廿分ヨリ午后七時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后七時廿分ヨリ午后八時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后八時廿分ヨリ午后九時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后九時廿分ヨリ午后十時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后十時廿分ヨリ午后十一時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后十一時廿分ヨリ午后十二時迄ノ間ニ来客ニ会ス

午后十二

天候 雪 寒暖 記事

夜半ヨリ雪ナリ積ム二寸位全リ朝八十一時出社々長室
会議ニ陸ム先ヲ社長ト林庄平ガ依頼ノ奉天建設事務
ニ付テ打合セ後ニ三仟幣ガヲヒテ大倉ニ行ク
午后ヨリタカトルフース
午后清華劇紙地ガ阪神電鉄敷地模様ノ件ガ来賀
副社長紙幣ガ引見
公四時退出浜伏ニテ一戸来ル人ノ死ヲ弔ス鴨ノ卵ヲ肉
五時帰宅
昨夜夜報ニ加(北十夫)ヲ失ス全焼ガ寿美見
舞ニ行キ並ニ井ニ末ヲ刀自ノ病気ヲ見舞フ

あなたが幸福の光となりにぎり
愛に満ち行く秘訣ひかる 高杉晋作

66 前田利家宗利実子誕生(慶長四二)井伊直弼方大老大津浜渡津大震大火事死者六千五百余名(昭八)

天候 晴 寒暖 記事

午后一時寿美ト共ニ老祥寺ニ赴キ小林家ニ挙
別ス菜庭用費用ヲ金四百圓ヲ渡ス六時
退却全次刑務七時半帰宅
夜分大字城部ヨリ来信ニ返事ス全人近リブジル
移住ノ右ノ如キ届ヨリ

(続ク) 静かや湖畔春に京の雨 夏目漱石

67 江戸大火焼失戸数二千八百餘(文化三) 熱海湾我川原湯温泉線鉄道に乗換線路に入線す(昭和)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

佐川町神田正雄氏来訪依頼ニ付来ル

午前十時ヨリ社三長銀行株会ニ臨ム八分ノ配当ヲ決ス

西風大元（僧名俊栄ノ弟）発起奉天北陵附近ニ満州栗園建設資金ノ内ニ三万トシテ金三万円醵出ノ件ニ付来ル

林桂中佐本日帰京ニ付本部ニ於テ送別会

午後三時ヨリ松岡商事ニ於テ日銀会長ヨリ松本商相及ビ鳥前商相ノ来訪ヲ受ケ

午後四時ヨリ国民三田氏ノ依頼ニ付茶会ニ出席ス

午後五時前退場

其後倶楽部ニ立寄リ六時

新橋ニ於テ中島元商相及ビ川崎元商相ノ来訪ヲ受ク

萬鳥坂長勝侯爵ヨリ板垣部長ヲ経テ

午後四時ヨリ国民三田氏ノ依頼ニ付茶会ニ出席ス

午後五時前退場

其後倶楽部ニ立寄リ六時

新橋ニ於テ中島元商相及ビ川崎元商相ノ来訪ヲ受ク

午前三時来客ニ付十一時出社ス

佐川町神田正雄氏来訪ス

（依頼ノ件ハ）

午後四時ヨリ小十部氏来訪ス

（依頼ノ件ハ）

午後五時前退出

夕五時ヨリ座主人牛代野田ト共ニ来訪ス

行先ハ大川、和代和泉守（国貞大川、有法師ノ合ノ手）

内ヨリ包清ノ刀（在銘八百円）ヲ一口ヲ譲ル

午後七時下阪ス

滝家ノ前我相奈倫次郎氏昨夜九時脳溢血ニテ入院中慶應病院ニテ薨ル今朝十時半公式ヲ以テ土社大会ニ於ケル若槻ニテ松方大蔵大臣ヲ立テ其ノ功ヲ述ベ引続キ大臣ニ到リタル立志伝中ヨリ仁ヲ言ヒ年六十四武政党ヨリテハ大打撃ナリ

午后犬村工場ノ会議ニ出席ス

ルンペン稲垣其ノ大阪ヨリ帰ル萩屋ニ松門ヲ久振リニテ訪フ

右四時退出日本生命ニ立寄リ後藤会頭ニ面会御礼ヲ申述ベ我会及タルヤ松方ヲ訪問ノ意向ヲ話シ置キ直ニ辞去ス

帰宅ス井上四伴来宅剣場八重子見物ニ出ル

八日会 五時半 鈴木三重吉 来着 林屋相

正午来ル商工会ヨリ

外務省成式

今朝食後後例ノ動作打ツ八ノ辞辞養電話ヲ以テ八日会ノ出席ヲ断ル

寿心天亡父ノ命日ニ付深井ニ代リ帰途菓鶴ニ寄ル

有ス復健ヨリ喜助善雄ノ件依頼アリトノ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

今日為公訓り辞養

本日午前八時頃武政山治氏新鎌倉より別荘より
時事新報社に出勤ノ途上別荘を去ル二町半ノ処ニテ
暴漢福島新吉ニピストル発砲セラレ三ヶ所ニ
重傷ヲ負ヒ公俸ニ養生ノ命死暴漢ハ自殺セリ
武政氏ハ逗留大場病院ニ収容セラレ居ルモ未タ
場ニ戻ラレ加減ハ分ラズ会社ニ変化ナキ
報告ヲ来ル之ヲ見舞ニ出カケム
尚倫敦武政氏ヨリ久松氏ヨリテ代リ出カケム
竹中ニ方庭ニ林利助氏ニ筆工員ノ金清水喜ヲ
指ス
其儘落札ス
落札価ヲ三口鎌倉三本ヲ代取リ代金石斗ヲ
本日ヲ以テ

天候 晴

鎌倉無業株式会社
ニ於テ招待

午前十一時半ニ社ヲ出テ堅工倶行
社ニ行ク
社ニ於テ赤星ナドハ老人組ニテ
ヒトリ
午前一時五十分発ノ電車ニ武政能隆氏ヲ迎ヘ鎌
倉大場病院ニ武政山治氏ヲ見舞ニ出カケ
鎌ニテ昼食ヲ認メ大場病院ニ武政山治氏ヲ見舞ニ
竹中方ニ右氏門氏ヲ席ヲ帰途ニ就ク四時
十八分ノ汽車ニテ帰京一旦会社ニ入リ五時帰宅
夜分ニ至リ姉ヲ大阪ニ出発ニ付送別ノ為メ
来客有無ヲ見ス

今朝ハ雨天ニ付
休業

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

仁一時来宗美新俱楽部ニ到リ午餐ヲ喫シ帰途ニ就キ午後二時頃帰宅ス
夜ニ入リ川辺ノ中村ヨリ注文ノ畳表
帰途ニ於テ今利五良船大工（松八円）錦鎌牛中工（松五円）五杉南宗角花瓶（三松八円）九吉（今利ヨリ染付中工ハ枝（八円）ヲ買入ル
（以上ヲ六松五円ニテ）九吉

午前十時出社ス
午後二時ヨリ再度出船報告而社
大東文化学院ニ辛
業式ニ午前十時半
出ス

三月十四日

午前十時ヨリ社長ヨリ再度出船報告而社
会併ノ件ヲ
協議シ本日両社重役会ニ声明セラルヽコトヽス
ル筈ニテ社長ヨリ其旨ヲ
四月一日ヲ期トシテ正式就任ノ件ヲ其席ニテ
発表スル筈ニテ
社長室会議ニ
三氏ヲ列席セシムルコトヽナリ
青木氏退任ノ件ハ
其会ニ於テ
発表スル筈ニテ
ソノ
旨ヲ
通知セラル
余ノ辞任ノ件ハ
前ヲ代表スル
常務ニ
於テ
発表スル筈ニテ
ソノ
旨ヲ
通知セラレタリ
此事ハ
其席ニテ
打合セ済ナリトノ
事ナリシ
ガ
其代リ
辞任ノ
意志ヲ
表スルヲ
要スル
ノ
ミニテ
足ル
ト
ノ
事ナリシ
ニ
依リ
其
旨ヲ
以テ
社ニ
帰ル
午後
三時
半
頃
社ニ
来ル

今朝
仙台
ヨリ
帰京
セシ
ヲ
以テ
会ノ
後ヲ
慮リ
直ニ
社ニ
来ル

今朝来引続キ両度ニ亘リ
社長ヨリ
慰留
ヲ
受ケ
タルモ
辞意
ハ
変ラズ
依テ
其
旨ヲ
以テ
重役会ニ
報告
ス
ル
ニ
決シ
タリ
ト
ノ
事ナリシ
ガ
其
後
重役会ニ
於テ
如何ナル
決定ヲ
ナシ
タルヤ
ハ
不明
ナリ

一昨日
仔細
アリ
ト
ノ
事ニテ
欠席
セシ
重役
会ニ
出席
セシ
ヲ
以テ
社ニ
来ル

一昨日仔細アリ銀行(秋田県人)ニ
仔細
銀行
ハ
大蔵
柱月
支ト
ナリ)

コリ三浦半島ニ
赴キ
会社ニ
仔細
アリ
中断
セシ
ノ
件ニ
付
田中元顧先
輩ニ
面会
セシ
ノ
件ニ
付
中断
セシ
ノ
件ニ
付
田中元顧先
輩ニ
面会
セシ
ノ
件ニ
付
中断
セシ
ノ
件ニ
付
田中元顧先
輩ニ
面会
セシ
ノ
件ニ
付

次ニ
部氏
代リ
小林
幸司氏
帝陽社会
陽社
ヨリ
本件ニ
付
田中元ニ
会人
面目
ヲ
ホメ
元ヲ
推薦
セラレ
商井
秘書
ト
ナル
本件ハ
一切
自分ニ
委任
ス
ル
ト
ノ
事ニテ
欠
席
ス
ル
ト
ノ
事ニテ
欠席
ス
ル
ト
ノ
事ニテ
欠席
ス
ル
ト
ノ
事ニテ
欠

天氣 晴 寒暖 昨日比

午前十一時ヨリ社々長室ニ於テ会議ヲ開キ金ノ件ニ付キ永泉ヨリ左ノ如ク説明アリ依テ会議ノ意向ヲ訊ネタルニ午後零時半頃ニ至リ漸ク相談ノ纏マリタルヲ以テ社長ハ午後ノ決算ノ分ト九千度中ニ可行成丈ケ速ニ基金ヲ附スルコトニ確メタリ依テ永泉ト共ニ午後零時半頃退散

記事 社長ノ命ニ依リ

松村毫太郎氏一月分支拂ノ横濱表ヲ金二月分持参ス

午後四時頃ヨリ共楽ニ於テ開会ノ中沖日高中尉ノ送別会ニ出席ノ者左ノ如シ

樽山實業家 寿氏来訪

立ヲリ九時ニ辞去ス

午後四時頃ヨリ共楽ニ於テ開会ノ旧友会ニ出席ノ者左ノ如シ

樽山實業家 次郎、柳谷郵便局長 久保利武 久保甲ノ七氏 外ニ一人

土方久徴 久保甲ノ七氏 外ニ一人

樽山家ニ於テ一人

川上亀三郎氏ヨリ左ノ如キ書面ヲ受取リタリ

謹啓 陳者 小生儀 今般 一身上ノ都合ニ依リ 来ル 三月 廿日 ヲ以テ 退職 仕リ候間 此段 御届申上候 敬具

大正十五年 三月 十五日 川上亀三郎

社長 男爵 岩崎小彌太殿

午後一時ヨリ共楽ニ於テ催サレタル 樽山家 主催ノ 送別会ニ出席ス

午前十一時ヨリ社々長室会議ニ列スル為メ帰庁シ午後ニ於テ秦ヲ麦ヶ丘大病院ニ訪キ
秦美禰四郎ニ面会シ分離ニ関スル意見ヲ叩ク
午後一時二十分前参内ス
午後一時二十分前参内ス
午後一時二十分前参内ス

天氣 晴 寒暖 昨日 今日

朝七時半家庭孝究会ニ立寄リ学師男ニ面会八年度三菱会社ノ決算報告ヲ了解ヲ得タリ

十二時十五分ヨリ社々長ト対談委員会豊幸ハ茶ヲ外ニカルピトーヲ一致ス其后三好幸助ヲ通シ置キ午後ハ銀行ヨリ高井儀次郎ヲ呼ヒ書面ヲ通読ヲナトラシメ久松氏ニ高井氏ヲ返却セシム

社長ハ成漢ヲ呼ヒ紳来ノ為メ会議ヲ開リ四時半退出帰宅

連報ヲ小坂産次此男商業ヲ悩ム入院ヲ三十有四ヲ嗜ム

若松ヨリ庵室教会ヘ

松本送ル久郎所リ発遣

天氣 晴 寒暖 昨日 今日

来電ニ会ハ如

今開九時発ノ蒸気ニテ正庚午代ヲ宅ヲ帰神ス

女中井上及書生右川ヲシテ見送ラシム

正庚出発ノ際田岡良一京都ヨリ帰リ来ル

十時四十分ヨリ社長室会議ニ臨ム

午后二時市中大安寺ノ樋川氏未社宅ヲ別業電話時鐘塔設ノ為メ嘱書ヲ托ス

塾海ヨリ久保リニ帰宗シタル武田秀雄ト対談ス

三時半退出上野ノ会合ニ臨ム八時帰宅良一夫帰久雄夜九時二寧発ニテ帰仙ノ途ニ就カントスルニ出会ニヨリ玄関ニ見送ル

後

其衆落札ノ春草社員(三松五円)ノ

陽ヲ支入ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候　晴　寒暖　記事

烈風吹

今暁より烈風砂塵を巻き千石ミリ加ハリタルモ風未止マス夜ニ入リテ漸リオサマル為ニ春季皇霊祭・大祭日モメキヤーートナリ余ハ終日引籠リテ

ボヤ悩ミ憩理ヨサヒタリ

此烈風ハ遠ク九州ヨリ北海道ノ端迄同時ニ荒リ箱館市ハ今朝烈風中失火ニテ百余軒ヲ焼

八ニテ夕刻ニ鎮火セリ飛報アリ

書生蜂屋金次郎ヌ

ニ伴ハレテ来ル寿矣面会ス

福川氏ヲ神拳使ニ招シ小林氏ニ金弐百円勝俣牧太郎ニ金百円ヲ送ル

（伊勢路）諸中ニ散ニあたりて伊勢詣　清河

天候　晴　寒暖　記事

社会の全日

木月本国防婦会、帝国婦人協会ニ於テ時半ヨリ

箱館大火ノ夕刻ヨリ剣リテ漸リ止ミタルモ延焼ハ夕刻ニ至リテ漸ク鎮火セリ

罹災者ハ九万ヲ越ヘ焼死ヒトリ十人ヲ下ラズ死屍ヲ破棄シ堪ヘス寒気ニ喘キ飢ニ泣ケル状ハ目モ当ラレヌモノトリ

十一時ヨリ社会事業協会ニ於テ

午后朝鮮ヨリ一行面会石橋正光氏ヲ所劇ス

夜ニ入リテ来訪

柳谷卯三郎氏来訪

相談ノ為メナリ

谷流水、原敬暗殺事件ニ関シ山内別格官幣社靖国神社ニ於テ合祀ノ事ニ付金壱万円ヲ寄附シ依頼ノ為来訪ス

今晩西園寺公ト京都ニ建設スル政友中学校ノ件ニ付打合セ

金百円ヲ送ル

午后神楽坂、警察署ヨリ交通自動信号機建設後援会ヨリ金百円ヲ寄附ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信	受信
晴	
寒暖	
晴	

午前十一時半社ヲ發ト共ニ新役監船會社ニ後ノ本社組織変更ニ係ル意見ヲ聽取シ之ヲ是ニ依テ社長ヨリ副社長半田ト相談ノ上棒五万圓トスル事トス

松村亀太郎氏ヲ訪ヒ未決ノ件ニ付キ意見ヲ聽取リメリト一致告アリ

午後三時郵船會社重役會ニ臨席、特會ニ於ケル美術館ニ支出ノ件ニ付キ説明ヲ求メ代金支拂ノ

府廳に小學校を設けしむ（明治二）　関東地震後を以て巴里を衛撃す（大正七）

発信	受信
晴	
寒暖	
晴	

社長代リ出席ス

東輪三時ニ出時

午前十一時社有汽船文武、祥支ヲ右ヒリ東洋製鉄會社ノ重役トシテ日本製鉄會社ノ重役タルヲ勧告ヲ為メリ會見ノ上社長ニ會談ニ臨ム

午后四時大阪商船會社ニ於テ會合ノ件ニ付キ協議ヲ遂ケ

松村亀太郎氏ヲ訪ヒ未決ノ件ニ付キ意見ヲ聽取リメリト一致告アリ

午后三時郵船會社重役會ニ臨席、特會ニ於ケル美術館ニ支出ノ件ニ付キ説明ヲ求メ代金支拂ノ

上海修正式戦場會開議會（七和昭）　李鴻章狙撃せらる（明治二八）　露の陳の戦（文治元）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴天
社会の今日
社長先代ノ墓ヲ焼香ス 社長夫妻松方ニ作ル岩崎家
廿四日ノ様ニテ 全豊泳ホ元人来ル 内輪ヲ数人ニテリキ庭園ヲ散策
ニテ北ヘリ 添水ノ清流ヲタノシム
午后一時廿五分山門青山斉場ヲ出キ前文部大臣岡
田良平氏ノ告別式ニ会葬シテ玉川ノ墓所ヲ出キ
社長先代ノ墓ヲ焼香ス 社長夫妻松方ニ作ル岩崎家
全豊泳ホ元人来ル 内輪ヲ数人ニテリキ庭園ヲ散策
ニテ北ヘリ 添水ノ清流ヲタノシム
午后一時廿五分山門青山斉場ヲ出キ前文部大臣岡
田良平氏ノ告別式ニ会葬シテ玉川ノ墓所ヲ出キ
社長先代ノ墓ヲ焼香ス 社長夫妻松方ニ作ル岩崎家
全豊泳ホ元人来ル 内輪ヲ数人ニテリキ庭園ヲ散策
ニテ北ヘリ 添水ノ清流ヲタノシム
午后一時廿五分山門青山斉場ヲ出キ前文部大臣岡
田良平氏ノ告別式ニ会葬シテ玉川ノ墓所ヲ出キ
社長先代ノ墓ヲ焼香ス 社長夫妻松方ニ作ル岩崎家
全豊泳ホ元人来ル 内輪ヲ数人ニテリキ庭園ヲ散策
ニテ北ヘリ 添水ノ清流ヲタノシム

添水の木立の奥の音の冴つゝ

添水の名もたゞなりくり返し

木立滴るそぼの雪や梅香る

水ぬるむ渓宮ノ添水 仁兵衛

茶菓ノ饗ヲ受ケ帰宅

雨午中石川直記氏来訪 訪問ヲル筈ナリシモ
夜分典夫ヲ松キ大利信夫ヨリ良一ヘ送金(百原十月依
頼ニ来リシ分)ニ良一午後ヲ後シ横浜ヨリ神戸迄ト 此御曲
致ヲ依レル行弁護士ヨリ申込リ通知ノ方法ヲ執ル様注意ス

天候 晴
社会の今日 東洋汽船満洲五ヶ所ニ新
朝八時半三井ヨリ本日ヨリ出勤ニ付電話アリ 郷氏訪問ハ一時
頃ニ変更ノコトス
朝十時半家庭事情ニ付某伯爵ヲ面会 副社
長体給取極メ件ヲ面シテ三菱銀行ヲ重役会ヲ
ヨリ席ス 社長ヨリ電話アリ午餐ヲ取ラストテ出社ヲ
長ヲ面会社長昨日某伯爵ヲ面接ノ顛末ヲ
ヲ以テ未ダ余ノ意見ヲ及ビ両男帰後結果ハ来ル
ヒテヤモ暫時面仕ヲ望ムトノ事ヨリ余ガ責務ヲ
負ヒ件ヲ受ケ、後シ夕リトコヨリ
午后三時半来宗海上ノ重役会ヲ始ニ 四時半ヨリ
ビルヂング時ヲ始シ 五時五十分 埠前ヲ発キ三井物産
ヨリ南条金雄氏ヘ 立礼会ヲ列席シ九時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天理 庚子 明治三十三年

晴 曇 雨 雪

社會の今日

朝支那着松本社会課長ヨリ電話ニテ本日午後一時ヨリ勧業課ニ於テ社会事業ニ関スル打合会ヲ開クニ付出席セラレタシトノ事ニ付承諾ノ旨ヲ答ヘタリ

松本一時ヨリ勧業課ニ例ノ件ニ関シ打合ヲ為ス

中橋氏ヘ行啓ノ件ヲ報告セリ

依頼シ四時ヨリ某家後援会ノ出席ヲ断ル

水曜 戊辰

晴 曇 雨 雪

社會の今日

朝十時ヨリ市役所ニ於テ小林梅川ノ両氏来リ筆者ノ件ニ付キ打合ス

午後一時ヨリ組合ニ於テ小林利助氏ヘ金参百円ヲ渡ス

正午十二時ヨリ社々会ヨリ慈恵篤ノ依頼アリ

午后一時半組合ニ於テ野田某代筆ニ大和包装力（八百円）ノ件ニ付キ打合ス

午后四時ヨリ西川虎吉郎ニ会ヒ

午后三時ヨリ市役所ニ於テ小林梅川ノ両氏来リ筆者ノ件ニ付キ打合ス

昨夜暖気ヨリ降リ出シタル雪ハ終日止ミ度ナク降リ続キレリ流石ニ根雪ノ事トテ降レバ従テ解ケ積ム事ハ無カリシモ三十糎ヨリ降積リテ月代ノ如キ一幅ノ風景ヲ呈セリ

十一時ヨリ社々長室会議ヲ開ク

午後一時ヨリ社会長田中栄三郎氏来訪ニ付キ引見ス

午後二時中橋徳五郎氏来訪ニ付キ引見ス

午後三時ヨリ浅野良三氏送別会ニ出席ス

昨夜来降リ積リタル雪ハ今日モ止ミ度ナク降リ続キ積ム事三十糎ヨリ降積リテ月代ノ如キ一幅ノ風景ヲ呈セリ

午前十一時ヨリ社々長室会議ヲ開ク

午後一時ヨリ社会長田中栄三郎氏来訪ニ付キ引見ス

午後二時中橋徳五郎氏来訪ニ付キ引見ス

午後三時ヨリ浅野良三氏送別会ニ出席ス

晴

午前一時ヨリ弁業会社重役会ニ出席ス

満州帝国公使ヨリ来訪ニ付キ午後一時ヨリ面会ス

特派大使鄭孝胥氏ノ為メ両氏茶会ヲ開ク

雪後天気晴朗

午前十一時ヨリ社々長室会議ヲ開ク

午後一時ヨリ弁業会社ノ重役会ニ出席ス

備前初午稲荷ノ祭礼ニ付キ小山田中将ヨリ招待ニ応ジ午後一時ヨリ赤坂ノ菊家ニ於テ開カレタル会ニ出席ス

午後六時ヨリ信友、近友、朝宗ノ諸氏ヲ新太郎邸ニ招キ晩餐ヲ饗ス

午後七時ヨリ麻布機関砲隊ニ於ケル満州公使館ニ到リ丁汝昌ノ招宴ニ列ス

鄭駐剳特使ヲ始メ知名ノ士方、官民等多数集会シ盛宴ヲ開キタリ

午後十時ヨリ会場ヲ辞シ帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半社友故永井久一郎氏告別式ニ列ス

午後四時田中隆三氏工業倶楽部理事後任推挙ノ為メ来訪

第四半期定例評議員会ヲ開ク 九時過退社

始めて清涼殿に歌会を行ふ（天徳四） 管絃音楽ヲ初メテ生ル（一五九六） 楽聖ハイドン生ル（一七三二）



卯月・花見月
夏初月

伊勢へ七度熊野へ三度
春の風 華園

清明 五日（後八時四十四分）
土用 十八日（前三時十八分）
穀雨 廿一日（前四時一分）

下弦 七日 新月 十四日
上弦 廿二日 満月 廿九日

日	月	火	水	木	金	土
						7
1	2	3	4	5	6	13
8	9	10	11	12	13	20
15	16	17	18	19	20	27
22	23	24	25	26	27	...
29	30	...	...	...	...	...

曙 七

花の旅

花の盛りの春、上野墨田の花が過ぎても小金井隅谷と花の名所は盡きぬ。東北の春に遅い が西に旅すれば更に花の日の明け暮れ忙しき思ひもしよう。一日千本の吉野山は言はずもがな、京の紙園、嵐峡の人出は盡きぬ春の賑ひを思はす。花吹雪の千鳥ケ淵も悪くないが徒らに雑閙の日の花より春雨煙る雨の日、女松の山に霞む花の色を見る時の方が雅趣ふかきものがある。風あたいかな大和路に入れば到るところの古刹に咲く九重の櫻、折から法隆寺金堂の壁畫も公開せられて千年の昔の櫻術の匂ひに酔ふ時、夢殿の風鐸も春の風に鳴るであらう。

季 春

一日 各学校夏季休業（大和・大阪・五月ノ端午ノ節句）
二日 法隆寺金堂壁畫公開（四月一日ヨリ五月十五日迄）・復活祭
三日 松尾祭（京都）・神武天皇祭（橿原）
四日 靈祭（大阪）・神武天皇祭（橿原）・歌舞伎座（東京）
六日 泰山府君祭（京都）・清涼寺釈迦念仏（京都）
八日 灌佛會（東京日光山輪王寺・清涼寺釈迦念仏）
九日 烏島三園神社祭
十一日 メートル法公布記念日・青野花貨式・八幡
十四日 香取祭（千葉）・日吉祭（滋賀）・鹿部祭（近江）・加茂祭（京都）
十五日 賀茂太子祭・平野祭（京都）・梅宮祭（京都）・大社教春季大祭（島根）・神田祭（東京）・春日祭（奈良）
十六日 打毬（京都）
中旬 櫻祭開催（春過ぎて美術園芸博覧会開催）・春の野遊歌開始
十八日 東照宮大祭（日光）・春祭
十九日 鹿児島神宮例祭・庚申
二十日 大阪住吉神社例祭・住吉祭（京都壬生寺）・神道本局大祭
廿一日 春日祭（中旬）・多賀祭（近江）・鹿島祭（茨城）・孔子祭
廿二日 伊弉諾祭（兵庫）・多賀祭（滋賀）・鹿島祭（茨城）・孔子祭
廿三日 神武祭（橿原）
廿五日 神農祭・花祭（京都八坂神社六月五日迄）
廿七日 鞍山祭（伯耆）・結城祭
廿八日 ○此月三都（東京・大阪・京都）及官邸（総理・外務・宮内省）・新嘗祭（廿九日）
廿九日 天長節（昭和天皇誕生日）・靖國神社祭（廿三日迄）
○此月三都（東京・大阪・京都）及官邸（総理・外務・宮内省）・新嘗祭（廿九

天候 雨 寒暖 昨日比

午前三時壽美小林利助氏父子来麻布本村町藤田新築工事中ノ邸宅ニ赴キ竜山宗月ナル案内ニテ工事模様ヲ観ル帰途小林ニテ午餐ヲ喫シ帰邸ス

午後一時半ヨリ新橋駅ニ至リ銀座実業倶楽部ニ会シ夫婦映餐ヲトル龍納箱ニ勝栖ヨリサレバ洞味中ナルヲ以テヨリ費用七円三十銭ニテ満員大盛況ヨリ六時半帰宅

夜分美代来リ寿美ト面会ス

大正城部ヨリ電話ニテ案件ノ件ヨリ石料金壱千円ノ送付ニ対シ坂本条治馬氏ニ依頼ス

天候 晴 寒暖 昨日比

午前十一時半出社

午後二時六本木居副社長就任ニ付会食ニ陪シ桜珍ヲ始メ種々ト打ち寛ギタル午後四時半ヨリ自分隠退ニ付テ辞ヲ述ブ

三時半工業倶楽部ニ於ケル五団体聯合ノ満州拝使歓迎ノ茶会ニ陪シ会衆約四百名御国ノ歓迎ノ辞朗読ニ対シ鄭孝胥氏ノ答辞ヲ朗読ス拝使ハ永井松相ノ招宴ニ陪シ帰宅ス時刻ナリ

次テ松ビルニ於ケル日本銀行ノ金融ノ懇談会ニ陪シ主客約五十名用会ニ先チ満少室帝部位ノ治動写真アリ会ハ三階ニ於テ右四番鄭孝胥ノ詩ヲ書ス依テ代筆ヲ以テ謝ス

九時帰宅石川恒太郎ノ電報ニ依リ社会銀行ノ設立ニ関シ明日是非ト云ヒ来リタルヲ以テ金五拾圓ヲ與フ

帰三人来訪

弘法大師千百年遠忌法会高野山ニテ四月二日ヨリ九月廿一日迄

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

来洋倶会満州特使歓迎会来宗会箱石三時渕

天晴 暑而 午前十時五十五分 熟海行汽車ニテ発程ノ筈ナリシモ
九時過両本会社ノ件ニ付川口主係氏ノ電話ヲ受ケタル
依リ急遽九住ニ立ち寄リ見合セ小林発ヲ先発セシメ
熟海ニ待受ケタル仮宿ノ自動車ニ連絡ヲトルヨトトス
急遽収リタルヲ以テ乗ニカ全件ノ時十五分熟海
行ノ汽車ニ搭乗ス車中大阪小畑源之助氏ノ辻堂ノ別荘ト
知リシ会ス発車後間モナリ雨降リ来ル熟海駅ニハ
着、着ス文七ト共ニ待受ケ居リ仍藤ノ車ニ全乗ス
時十分峯ノ別邸ニ入ル

社會の公日

晴 暑 時々雨ノ為メ晴

午前十一時釜山宗月秉文栄枝ノ三人来訪午
餐ヲ共ニシ郊ノ内外ヲ案内ス宗月ニ十浜喜ノ北観ヲ
視テ感心賞ス描カス五時自動車ヲ供シテ熟海ニ送ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

木曜 明治 四十四年 四月五日

晴 午前 曇 記事

来京ノ為メ英大使 近刷会 右七時半 新

発信 田中久三氏及女優千々小阪松次郎二名来ル八幡春子枚枝

発信 帝国ホテル右九時半 入清 新

発信 怒涛茶夜援会 未出 感謝状贈呈式 午前十時 新

記事ナシ

翁を少きつゝ今日の朝餐のお

[illegible]

日本経済聯盟会理事会 正午 新

[illegible]

[illegible]

100 ネルソンを生る（一七五九） 氷井前志前海軍を離す（安政元） 太政官日誌を発行す（明治九）

金曜 丁未

甲寅 三十三年 二月 四日

晴 午前 曇 記事

演芸時々曇 雨

発信 モーレット氏歓迎午餐会 会産聯主催

発信 上業倶楽部正午

日之時然後会 新

発信 来南新産事木村塙女郎付士 松井会

発信 上野精養軒 右九時半 新

記事ナシ

翁ホ〳〵音信なき〳〵翁の来伊ぬ々朝大寒し この星なり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天晴 雲

午前十一時玉峯先生来訪 賀地ノ図面ヲ持参スル
初来ス
紅梅壱本ヲ贈ル（代二円ニテ）移植ス

法然上人生ル（長承二） 海相伝林雅に二湊浦内閑不氏立に移る（大正三）

天晴 雲

午后下ガリ温泉場ニ参カント欲セシニ自宅ニ来ル
ヲ見合セタリ寿美ハトシヤク貴方ヲツキ海苔ヲ採
集ニ河津湊ニ赴キ即テ鮮ヲ贈ル梅ハ
余ハ植木ノ梅四ヲ植テ贈ニ供シ松ヲ寄ヲ六円ヲ贈ニ献ノ上部
ニ移植ス

（雲霽）雲晴いで空しく蒸る・自在なり 平凡

釋尊降誕（本朝紀元三七七） 本田遺臣江藩城を築く（長禄元） 借地法、借家法公布（大正一〇）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

庭訓 昏晴 寒暖 風雨 記事

注進 記事

旅行ノ晴天十一時壽美貴君ヲ伴ヒ自動車ニテ海岸ヲ下田ニ赴キ公園下ヨリ縄手道ヲ歩ミ港内ノ風光ヲ賞シ又三州南端ヲ雄呼ニ近キ大瀬海濱ニ暴風岩ノ絶景ヲ賞ス雄大ナル巨岩屏列天下ノ奇観ヨリ全ク海ニ突出セルヲ以テ名アリ帰途下ノ浜ノ温泉場ニテ田野氏温室培養ノ模様ヲ視天城道ヲ歴テ六時帰荘夫ヨリ伊波ノ老山夫帰塾海辺ヨリ貸舟ニ乗ス金子松五円ヲ支払ヘリ

老妻病床若女婿林和雄氏去四日神戸病院ニテ死去明日来宗ニテ葬儀ヲ営ム筈ニテ昨天俄ニ電話アリ仍テ林老妻ヲ家ニ帰ラシム

庭訓 晴 寒暖 風雨 記事

注進 記事

晴 雲

国際労働会議の席代表二行送別午餐会

会 工業倶楽部ニ正午

会 金庫部常任委員会午前十時

終日庭園ニ在テ植木庭樹除ノ指図ヲナス本日ノ村ノ観音祭リノ為寿年大夫ハ其為メニ来リシ香信太郎ノ外三名ヒ帰リシ四人ニテ酉ノ下刻ニ庭内ノ山櫻満開ニ近シ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 昨日ニ同シ

電報 文太十一年ヨリ 発 着

本日出発帰京ニ付小林成ト金七百圓 枚太郎ニ金百円ヲ渡シ置リ 枚太郎ヨリ午前十時半ニ出社ノ筈ニテ午後一時二十分発列車ニテ帰京ノ旨ニテ 秀吉 ト一緒ニ午後五時十分ノ車ニテ 桑幸 六時十五分 東京驛着 着後半ニ迎帰ス

天氣 晴 寒暖 昨日ニ同シ

電報 文太ヨリ 発 着

午後三時金成文太郎ヨリ来訪

午前十時半江口定條氏ヨリ訪フ不在 直ニ出社々長室ニ

今日ヨリ会議ハ副社長室ニテ開ク筈ニ付ス

午後会後二名川副事会長ヲ招キ先日江口氏来訪ノ事ヲ不在ニ付ト伝言ス

藤原ヨリ来状アリ 田中清三郎ガ上海支店ニ在勤中ノ行為ニ付除社処分ニ対シ明確ト利用シ報復ヲ計ラレタシトノ意味ノ書状ニ接シ 其ノ直ヲ正サレタシトノ事ニテ

栗屋文部次官ヨリ 社会教育ニ関シ水野常吉氏帯川赤司氏ノ一行ニ対シ 晩餐ヲ開キ 商業福造ニ於テ理事長ト共ニ 時ニ一時半ニ散ス

鉄銀行ニ於テ牧三郎氏ヨリ満州中央銀行 貸金ニ関シ 依頼ス

午前十時半江口定條氏ヨリ訪フ不在 直ニ出社々長室ニ

今日ヨリ会議ハ副社長室ニテ開ク筈ニ付ス

午後会後二名川副事会長ヲ招キ先日江口氏来訪ノ事ヲ不在ニ付ト伝言ス

藤原ヨリ来状アリ 田中清三郎ガ上海支店ニ在勤中ノ行為ニ付除社処分ニ対シ明確ト利用シ報復ヲ計ラレタシトノ意味ノ書状ニ接シ 其ノ直ヲ正サレタシトノ事ニテ

栗屋文部次官ヨリ 社会教育ニ関シ水野常吉氏帯川赤司氏ノ一行ニ対シ 晩餐ヲ開キ 商業福造ニ於テ理事長ト共ニ 時ニ一時半ニ散ス

鉄銀行ニ於テ牧三郎氏ヨリ満州中央銀行 貸金ニ関シ 依頼ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 雨 寒暖計 最高 最低

後友俱進倶会
工業倶楽部仮事務所
公伯爵松方正義氏
出

午前十一時十五分ヨリ社ニ出テ面会
日満中央協会中沢毅氏面会ニ来リ
会

午餐後、訪ヲ来リ久江口立保氏ニ面会
件ノ用ヲ弁シ
午后一時半ヨリ高橋蔵相ヲ官邸ニ訪ヒ満州ニ実業銀行
貸金取扱ノ件ヲ蔵相ニ
茂明ス蔵相ニモ
取扱ハ其商業部ニ
隣ヲ許サレ、意ヲ
退ク

帰途家庭事務ヲ
会時ノ前項ノ件ヲ
ヲ報道ス

松村竜太郎、岩崎勝六両氏来訪
午后四時半退ク

午前十一時出社ヲ
ヲ待ヒ其意見ヲ
銀行
電話ヲ以テ

副社長ヨリ社長ヲ
午后
四時退ク

新築落成ノ
稿ヲ見ル
記念ニ
岩崎康次郎ヨリ
ヲ
公情ヲ
人ニ面会
午時
件トヨリ

日本医術開業試験委員ヲ命ス

天候 晴 寒暖計 最高 最低

明治生命新築落成
祝宴ニ
晩餐倶楽部ニ

日仏会館協会ヲ
十時

同降矢花形会ヲ西洋
午前十一時出社ヲ
ヲ待ヒ其意見ヲ
銀行
電話ヲ以テ

副社長ヨリ社長ヲ
午后
四時退ク

新築落成ノ
稿ヲ見ル
記念ニ
岩崎康次郎ヨリ
ヲ
公情ヲ
人ニ面会
午時
件トヨリ

日本医術開業試験委員ヲ命ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

午後の時半吉祥寺に赴き園内の模様を視る 桜花爛漫 満開なり 客偶遇伴心時帰宅

晩餐後裝ヲ改メ七時半各芽名行ニテ下神

久松昇氏 倫行ス

天氣 雨時晴

午前七時五十四分三宮着西宿ニ入ル 雨降リ来ル 七午后ニ至リテ雪ニタリ久松氏ハ来宿ニ宿泊明日正午迄ニ帰校ヲ促ス 船ヲ視察セシム

午后時半時共田ニ赴リ正六本日ヨリ出勤 午代子ハ砂野長岳氏ノ長子帰朝 山ヲ迎ノ為面会早々 彼此携ヘ立ツ 余ハ萬根氏ヲ訪ヒ氏ノ病床ヲ見舞フ 細君応接面会セラレス 即不満ヲ

共田別荘内山櫻端雪柳 最盛リニテ梶ノ新芽ハ木仏ノ花ト相映シ 眺メ美麗ナリ 往来数十年共田ニ於テ初メテ 夫ヲ賞スルヲ得 帰ヲ午代子帰ヲ面会 帰宿

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖計

午前八時 室戸岬 午後 晴 寒暖計

午前八時 室戸岬 午後 晴 寒暖計

午前八時 室戸岬 午後

四月十九日

晴

午前九時半五分下ノ[illegible]発ノ名行ニテ横尾久桂両氏ト共ニ陣ヶ岩ニ着十一時五分着午食ヲ了ル（喪）時廿分発ヲ了ル自動車ニテ須崎ノ蒲ヶ市ヲ過ギ宇佐八幡ニ参詣応仁天皇御社ヲ遥拝及初湯ヲ井ヒ天然保護物産ノ大木二株ヲ見ル一八衣樹ト云一八湯樹ト称ス共ニ周囲拾五六人囲リ以上ニテ老木ナリト云

須崎焼ハ明治三十年頃迄ハ継続シタルモ知リ難ク廃業ノ姿ヲ存スル陶器ハ田奈村長ノモノ市ヲ以テ名ヲ高知市ニ出ス外見サセモノニ田奈氏ノ本家黒田家ニ蔵シ少リシ田奈氏ノ継嗣ナキニ依リ蔵ニ入リ不得已テ人手ニ移住留守番鍵ヲ預リ宿ラス為メト見ルヲ以テ帰掛横尾天野ノ両氏ト晩餐ヲ共ニシ八時廿分発ノ特急ニテ来ル見送リ例ノ如シ

（裏の見）くらがきの牡丹屋の灯 西園

奥山の静寂に引かれつつ全くの一人に出で来し後の淋しさに住べる 四郎

四月二十日

曇雨

馬越恭平翁一周忌追悼会日本橋倶楽部ニ於テ

午前九時ニ時

日仏会館モランビル内ニ於テ

懇親会後役員会

評決員会 晩餐ヲ会

朝六時廿五分神戸ノ駅着松井宅ヘ伺ヒ銭才 相川謙吉

正八ツ半帰宅ス妻ヲ迎ヘニ来ル

久桂秘書会庭 妻ヲ迎ヘニ来ル

処長ノ説明ヲ聴取ス五時半 船電気両 工場ヲ巡視ス五時半 長田ニ寄リ正 ト共ニ風呂ヲ一周 正八ツ半

帰宅

六時ヨリ西店ニ来会シ 遠船久共松井小三郎、宮崎、中村登 正五ツ 久桂 等ト晩餐ヲ共ニス 話氏九時半辞去

モハメツド生る（五〇）　徳川家光薨ず（慶安四）　神仏混淆の禁止禁止（明治八）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

雨平信晴

夜未曾而 正午ヨリ霽ル

夕刻ニリ 銀行ノ交易ノ為メ 春落和心下ニ赴ク 到着後ニ 三宅ヨリ 鈴木益三久保 末廣ノ両副、相川南幸田中倉庫、西那保険、牧山ノ各副支配人 熊谷船場銀行副支配ノ招キニ応ジ晩餐ノ饗ニ与ル

晴暑ニ

本日復久壁松寿ノ餅ヲ餅ヲ右ニリ 長田ヨリ来キ宅訪ト迎ヒ夕正六、七代ト共ニ元町時而庵ニ到キ名物鯛茶ヲ賞味シ十時頃両人ニ送ラレテ帰宿

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 雨晴 寒暖 昨夜 夜間 今朝

老床なし昨夜ノ夢想ニ感ジテ晴天すり九時能吾一郎
氏邸ニ未ダ久松家氏ト三人中庭ノ自動車ニテ阪神国
道ヲ近畿大阪ニ入リ八軒隊ニ於テ南村上町大軌ノ停車
場ニテ国道ノ手前、銀行ノ木村氏其他全ク久シブリ社長
金森又一郎氏病後ノ身ヲ以テ来リテ株ガアリ帝国ホテ
ル行ノ旨次(携帯品)松書米田傳司氏梨内政ノ八木
到テ吉野旅主任阪本藏氏来リ迎ヘラル
事自動車ニテ吉野神宮ニ参拝 金輪王手ノ行在所ニ退
(吉野銀行頭取)ニ迎ヘラレ吉野銀行ニ寄リ
(吉野銀行頭取)ニ迎ヘラレ吉野銀行ニ寄リ
(吉野銀行頭取)ニ迎ヘラレ吉野銀行ニ寄リ

心なきをもち門
を保にて
の梅花の薫

天氣 雨晴 寒暖 昨夜 夜間 今朝

老仏会 於本山 御本式 断

雨煙ル今朝ハ帰路垂坂町ヲ経テ音ニ天満ノ宮ヨリレ
モ雨天ノ為メ見合セタリ坂本別荘ニ帰在中特ニ感ジタル
事ハ同別荘ヨリ金剛山頂ノ火ノ見ユル事ナリ大楠公
カ吉野ヲ偵ヲ楊ケラレタル時金剛山
ノ一族仏何ノ心ヲ独リ東ヒタルカ田ヲ出ス
ノ雨中仙次君ト暇ヲ告ケ千急ニ帰、米田傳司、井内秀山
郎氏ト共ニ吉野駅ニ下ル金次山ノ部ニテ下リ
南通天能吉人 松ノ両氏ハロープウエイニテ下リ
停車場ニ金中下市ニテ三軒行次ニ別レ帰、行司両氏ヲ
併ヒ上町停車場ニ後上野木村、和氏ト共ニ高麗橋
駅ニ降車、私部トモ別レ共ニ勤商事銀行ニ製煉処信用
保険会社ニ入リ久松ノ両氏ニ別レ共ニ四時神ノ帰着西宿ニ入リ
晩餐ヲ八時半ヲ告ケ神ノ輝発ニテ
宿、銀行ノ南ニテ送ヲ東上大阪駅ニテ副社長代理ノ見

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

赤坂亭作 夜会帰休

天候 晴 寒暖 昨夜 就寝 起床

山北驛逓頭 朝早く出勤 藤内務政務次官（崖夫）
天ニ帰ノ隣室ニ会セルヲ知ル 九時来宗驛ニ着 赤坂亭作
共ニ別ノ方ヨリ 書生宅島ニ出迎ヲ受ケ 久松氏ニ別ヲ告ケ
宅

服装ヲ改メ二時出社ス 夜 宿会ノ午餐会後 新葉会社本
期決算ニ関シ三号新葉会長ヲ引見ス
留守中元房事上海支店長大井大次郎及ビ前長船坂
和氏上海事件ノ動作ニ対シ当時ノ実況
各ヨリノ詰問ノ書面ヲ送ラル船田氏ヨリ其書面ノ渡ヲ本
人ニ与フ サレム

若松米穀会社会長 松村健次郎氏来社 余ガ四社取
締役トシテノ功績ニ対シ感謝状ト添ヘ金壱万五千圓ヲ
贈呈セラル依テ之ヲ秘書役堺ニ預ム
仙西時退出 小石川宅 勝太郎氏ヨリ 武士母堂
逝去ノ報ニ接シ 柳澤伯ニ面会 帰宅

（朱）昨夜ヨリ降リ出シタル雨ノ為カ 人ノ子
（朱）昨夜ヨリ降リ出シタル雨ノ為カ 人ノ子

午前十時半出社 々長室ニ於テ三菱造船（重工業）公開
ノ件ニ付打合セ 十一時散会 上野日匠保留ス 本席 社長外平田
新渡戸東大総長 駒込吉祥寺ニ於ケル故宍戸璣氏ノ告別式ニ
列席ノ為 午後一時ヨリ 帰宅
井上侯爵ヨリ 神戸ニ於ケル今年開催ノ
夜分洞爵逝去 明日 帰郷ノ件 暇乞ニ来ル

天候 晴 寒暖 昨夜 就寝 起床

来客

発信 受信

放伴集院男 十時 尽

発信 受信

近衛公 午餐後参邸ス 午后 五時

午前十時半出社 々長室ニ於テ三菱造船（重工業）公開
ノ件ニ付打合セ 十一時散会 上野日匠保留ス 本席 社長外平田
新渡戸東大総長 駒込吉祥寺ニ於ケル故宍戸璣氏ノ告別式ニ
列席ノ為 午後一時ヨリ 帰宅
井上侯爵ヨリ 神戸ニ於ケル今年開催ノ
夜分洞爵逝去 明日 帰郷ノ件 暇乞ニ来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

花曇

大日本製糖社長藤山

武物産 廿五年下令

来る金報告申上ケ

斯

今朝七時迄ニ壽美トーヤヲ供ニシ箱根ヘ別荘ヘ

参リ留守番交代後ノ模様

午后一時上野博物館ヘ名作展ヲ観

ル

午一室 花鳥図屏風一双 美術

傳豊臣秀吉

清水祝図屏風一双 移管 モ利元昭公共

傳上杉文武

午二室 日月桜桃図屏風一双 前田利為侯共

花鳥図屏風一双 浦川義親侯共

傳伴狩野山楽筆 扇面一双 松山家

午三室 孫武加藤清正像 狩野探幽筆 屏風一双 紫式部共

傳紫式部筆 山中三郎兵衛旧蔵

群鶴図屏風一双 彫光琳筆

午四室 傳支那筆 樓閣山水八面 作龍田共

花卉図 井上三郎侯共 移管 元モ美術

晴

震災ノ為開来支那人

益田男爵家ノ招待者

表敬式ヲ右一時ヨリ

斯

午前十一時七社ノ長室会議ニ

右一時山内豊政男来訪 来客待受ノ為

午共ニ来ル廿日一日 会見スルアリニア 産業研究所 理事長

トシテ来ル廿日一日 来ル通宝館ニ於テ 殿下 台所ニ

ニテ 昼食御陪餐ヲ賜ハルコトニ 美夫人有志 取調

ナリ上三十日迄ニ事ノコトヲ

午二時松村竜太郎氏来訪 夫村工場ヘ正式 賞金一

業年六百円 増加ノ件ニ付

午三時銀座大勝楼ニ於テ 阪本 越氏送別

会 製薬 時計ヲ個（一金参百円位ノ品）贈ニ 発送ヲ依頼

帰途某楽ニ立寄リ七時帰宅ス 林友 峯子 帰リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社会の公白

冠 重吉 病 欠勤 届 記載

校閲 修正 訂正

朝八時太子城部大臣上京、電話一口本宇宗設備之
ノ分ハ架設後ノ実積、他ノ一口ハ未ダ頼座ニ設備ノ
儘ニテ置キ、一切本年ニテ電話座ト打合セ洞成ル
若其間ニ方ハ此ノ夫ノ命盤伝明ヲ得置リトス
十時廿分社長来所西那武(おたり)訪ル、金次リト
ス云ヒ、三菱重工業公用ノ為合フレミアムヲシテ入レハ本
社ノ金融ハ如何ヒカ取調ヘ依頼ノ件リ十一時辞去
午后三時半五十分来宗会終ル、祈ル周賜財団役員
会、依義定奉賀ニ、臨ムベキ先ヲ会長清浦奎吾伯
得ヲノ許ヒ、依義久原大臣殿下ヘ拝謁リ次テ奉
賀式ヲ、茂会式挙行殿下ヘ会セラレ会長ノ奉答
ヲ朗読、湯浅宮相山本内相永井松相ノ
順ヲ以テ祝辞アリ、了テ茶菓ヲ賜リ散会、余ハ本会
ノ盛事ノ一員リ

社会の公白

冠 重吉 病 欠勤 届 記載

校閲 修正 訂正

大山五郎次男芳彦ト
六角三郎六女武子ト
結婚挙式
来宗会祝午后六時
散会

欠勤届
工業倶楽部
国宝室昇美術
絵画展覧会欠勤
梨本宮殿下賜
上野精養料
休辞

午前十一時廿五分、明日ノ社長室会議ノ件ニ付、社長ヘ
副社長ト会スル処アリ
午后一時半、来訪奉十傳ヲ以テ来訪、
公時坂部次郎、小池奉三郎氏公伴来訪、
太来岸炭取引ノ件ニ付来訪、
常常池田氏、銀行依頼ノ件ニ付来訪、
侯補者リトノ件ニ付来訪、
公式ヲシテ小池氏ヨリ
会セシム
林桂中将西園寺元老ノ使トシテ来満、日満共親ノ
建設ニ付依頼リ三万円應援ヲ、置キタリ依テ今回
手附ケ、記名蘭東軍法理部ヲ、直接送金セラレ
永委理事ヘ、副社長ト会談ノ件ヘ
依令三号ニ依リ来訪、次男儀礼拝ヲ、二時頃辰出帰社
来ス、奉情祝明ノ辞ヲ、了テ帰ル

皐月・さくも月
早苗月

五月

青空や皆殿むけて　五月鯉　暮

八十八夜　二日
立夏　六日　（後一時三十一分）
小満　廿二日　（前三時三十五分）



月相

下弦　六日
新月　十三日
上弦　廿二日
満月　廿九日

曜	日	月	火	水	木	金	土
七	…	…	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	…
	27	28	29	30	31	…	…
	…	…	…	…	…	…	…

常盤木の落葉　伊豆は、修禅寺あたり、常盤木の落葉が雨のやうで、蜜柑の黄熟するところ、山には薄むらさきの藤がかゝる。麦焼く烟りは、畑になびいて、雲雀の鳴きしきる彼方、山は、靄の中に淡く、夢のやうにまどろむでゐる。北は大日光の新緑、青葉にはめめ、靄朗の建築は、華麗な大畫樓のごとく、山にはひれば、華厳の大瀑布、滿山の緑葉に飛沫をとばして、岩窟むらがる雛壺には、大きな虹がかゝつてゐる。中禪寺湖畔の景色は、一幅の大和繪、湖に映る雲や緑樹や、鳥の影や、日本の山水美はこゝに極まるかの好景だ。

行事

一日　鳴ものゝ禁（～十日）・ハーデー・鴨川踊・野崎観音詣
皇武天皇崩御（大正十五年）
二日　端午の節句（菖蒲湯・粽・柏餅などを調へ）・芝浦正念祭（～三日）
勝守（～十一日）・土讃魂神社大祭（東京中心）・香取神宮鎮田植祭・
祇園神社六座祭（富士吉田）・祇園神社御馬祭（静岡大里）
三日　金神祭（鎮座）
六日　各神事（鎮座）・花の市・植木市（大阪阿倍野神事の日より）・月山神社鎮田植神事
八日　金北藤神社開祭（千葉神社祭）・住吉神社御田の農業・祈天節
愛護週間（～十四日）・日本赤十字社総会
十日　東寺神供養（弘法大師忌）・京都日枝祭・鞭懸祭（～翌日）
十四日　にては種蒔の開始センナ・住吉祭・鞭懸祭（～翌日）・祭家
十五日　山城加茂祭（上下神田明神祭（東京）・兵庫中山寺大會式（～
十七日　翌日）・摩訶越本山（～十八日）・九品佛千日會
二十日　夏場所相撲（千秋楽）
中旬　見返美人競技會（～十一日歯科技師）
廿一日　大阪天満祭（～廿二日）・東京本所法華祭
廿五日　東京工業大學卒業式・市
廿六日　海軍記念日
廿七日　各地不動尊開帳（目黒・成田・川崎大師）
廿八日

○本月より金魚養殖者又は繁盛屋なと出来る。月末より水底出没。

衛生　梅雨期の大掃除。塵の整理。汗疹、湯疹、田蚤其他皮膚病の豫防。

季寄

時令　新緑、岩躑躅、鹿鳴、蚕飼、あやめ酒、祭、印地打、菖蒲、つゝじ、藤の花、初鰹、夏炎、薬種、遅桜、早桜、新蟬、立夏、花茨　魁芋、夏木蔭、栗羊羹、金魚花、芍薬、蚕飼、鯉、一八、燕子花、忍冬、石竹、鼈甲、金細草、卯花腐、金蛍花、天女花、ゼラニューム、チューリップ、ダキタリス、スキートピー、パンジー、勿忘草、〔蚕豆〕、鰹、たゝみ、蛍鳥、鯖、鰹、穴子、蛍、蘇、水鶏、葛、鯵、鰯、真鯛、馬鈴薯、豆豉、ちさ、苺、バナナ、夏蜜柑。

遊樂　風は等作の緑を吹いて遠近歌聲の好期。この月の花は薬では蘭戸、柏槇。つゝじでは東の都杜、京都の見聞大神。更に遠く九州の雲仙に登れば滿山一面花を飾るを知る。甲州笹しの森と相並んで天下の二大美觀である。躑躅、吉野靈桜等花盛りの候なれば滿山の緑葉の新美しさ。殊に名高き保津川下りもこの月を絶好期とする。解禁一月前。新緑の川底には鮎の群美しさ。鮎漁の名所は鮎く、中旬頃南野島あたり青キス、タイプ等海釣の好季となる。

つゝじ　日比谷、上州館林、雲仙、村山貯水池、葉隠、谷津田、霧島躑躅、富士吹上、平尾、千歳、柏崎、富士金比羅、清水寺境内の風、宮島弥山頂、**ぼたん**　船岡温泉神苑、深大寺境内。

藤　亀戸天神、柏崎、富士金比羅、清水寺境内の風、宮島弥山頂、**ぼたん**　船岡温泉神苑、深大寺境内。

菖蒲　堀切、吉野園、明治神宮、西新宿、西方寺。

味　花鰹、子入。鰹魚。鳳鯛茶。活花。新緑の眺め。桜餅。六ヶ敷、胡瓶。酒肉類の節制。

趣　移植。木香。銀箭花。緑木。春蘭の開立。

甲十
辰
歳
明治
三十
八年
五月
一日
火曜
メーデー
午中

五月一日

紋	信	受	信

晴　曇　雨　記

靖

神奈川知事を病院に訪ふ　午前十時頃

財団法人アマゾン産業研究所　上原司理事代理として　午前十時来邸面会相談す　三枚下

閉八時太平成郎来訪一昨は御来訪面談に来ずれしをとり貴ム会人打正の御心得帰り其後井上一郎主席に現ハル金子助因うまくこと面に依頼す未だ十一時ム社に長室会議ヲ招田理事ヲ満州国視察為メ出張ス会議社長ム面会室に於ケル会議ヲ出ス銀行の提案ヲ打ち見ヲ述べ四時ヽ前事務所会社常務員ヲ件説明ヲ終ル

被災者救護委員会本期決算面類の検閲ヲ大蔵省ニ依頼ス

工業クラブ中村又治氏来訪ス未十四日四国作郎会稼洲外相レーサム氏歓迎見劇会開催ノ件ヲ打来訪

四時頃ム吉野政幸仙次又蔵ヲ外二名ニ接ス

人身の買買を禁ず（仁治元）　農業出納時間制定（一八九三）　博愛社を赤十字社と改称（明治一〇）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 晴 雨
寒暖 暖 冷

神奈川知事ヨリ病院
落成式ニ付出張ノ
事

葉山ヨリ帰庁
山内公病院

午前十一時半ヨリ社
午后ヨリ時針生会社重役会ニ列ス午后一時ヨリ社
ヲ開キ会計ヨリ報告ヲ為シ件々ノ意見ノ交換
ヲ為シ又太政大臣未訪ノ旨ヲ報ス外一人日猶中央会報
件ニ付来訪針生会社重役会議ニ付午后四時ヨリ其
ニ付ヲカルル旨ヲ報ス四時退出帰宅

赤星商店美術部ヨリ午后五時半ヨリ依頼ノ名
刺ニ付面会ヲ拒絶ス

午前十一時出社ス
午后ヨリ時若林半ヨリ来訪ノ旨ヲ時間ニ至リテ日蘭会
議ノ件ニ付意見ヲ交換ス内田氏ノ傍言トシテ余
ハ実ニ未ダ家ヨリ帰宅ノ旨ヲ以テ家ヨリ
書翰ヲ以テ職ヲ辞スルヤ否ヤヲ傍ヘテレタレトモ
ト、今日迄ニ投文ノ意ヲ以テ答ヘ置リ

倉庫常会ニ付テ会ノ意見ヲ傍ヲ以テ会ニ出席ス
四時退出帰宅ス午后五時半ヨリ愛国社ノ
会ニ出席ス其他異存ナシ

午前十一時半ヨリ社
午后ヨリ時若林半ヨリ来訪ノ旨ヲ時間ニ至リテ日蘭会
議ノ件ニ付意見ヲ交換ス内田氏ノ傍言トシテ余
ハ実ニ未ダ家ヨリ帰宅ノ旨ヲ以テ家ヨリ
書翰ヲ以テ職ヲ辞スルヤ否ヤヲ傍ヘテレタレトモ
ト、今日迄ニ投文ノ意ヲ以テ答ヘ置リ

倉庫常会ニ付テ招キ会ノ意見ヲ傍ヲ以テ会ニ出席ス
四時退出帰宅ス午后五時半ヨリ愛国社ノ
会ニ出席ス其他異存ナシ

恩賜財団愛育会
午后四時半ヨリ支部
大会ニ付出席ノ旨

愛国社会ニ付出席ノ
大隈伯来ル

午前十一時出社ス
午后四時半ヨリ支部
大会ニ付出席ノ旨

午后四時半ヨリ支部
大会ニ付出席ノ旨

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前九時半頃定刻代理野田表代重ト共ニ栃木盛
夫太小笠原ニ参会ス百円、同後在鈴ニ円坂田ニ同後カ
ト二ノ短刀ヲ鞘ニ百円、江州蒲生住助安在鈴栃木(七百
円)来同後会ニ無銘文帝 折紙鑑定依頼ス帰宅ス
会午后五時 新

国室絵画美術家展
招待日

来ル帝国美術院展覧会
来ル会期 新

午前十一時ヨリ社
午后弐時ヨリ帝都会社来ル廿日ヨリ廿五日ト
ス

会三時半ヨリ上野美術館ニ於ケル国会及重要美
術絵画展覧会ニ臨ム国会トシテハ仲春ニ九モノヲ
出陳ニハ何レモ逸品ヲ網羅セリ観ル程ニ盛観ナリ
六曲一双無銘ノ金瓜ニ業等傑作ニシテ
ヨリ帰途ニ就キ銀座ニテ晩餐ヲ認メ
レリ帰宅ハ池ノ端浅草ニテ暗ニ

午前十一時ヨリ社ニ於ケル会議ニ列ス平田武大阪銀行大会ヨ
リ帰リ来ル席ニ明後日打合セアル事ニ結置リ
午后二時半船田理事ト共ニ天覧武道大会ヲ観ト
ス帰宅後(有栖川熾仁親王ノ筆ノ額掲ケラル)内祝ノ
宴筵ヲ金地ヨリ文武ノ大官店流レリ一時十五分 座ニ於テ
御ヲ終テ奉送勝次ヨリ仕合トナル

剣道優勝 千葉 野間恒 指定(教士)山本
柔道優勝 有馬 平田良吉 指定(教士)大島晃(教士)

剣中野間藤本ノ決勝戦ハ藤本面ヲ使ヲ短刀ヲ右ニ持ツ装
和刀ヲ得野間次テ会ヨリ開ク入ル決戦ニテ野間面ヲ撃テ勝
ヲ得タルハ午ニ汗ヲ握ラシメリ藤本年二十八三段野間年二
十五五段ナリ後ニ聞ケハ藤本ハ大ニ背負投ヲ主トテ
注意神田ノ如キモ此ノ一手ニ勝ツト剣道ノ智有ト十歳ノ少
年柔道ニ六歳位ノ翼ヲ以テ(一八六三年生)ヨリ加ハリ居タル愛嬌ヨリ
心時半終ル柔道見物ハ山田警察中ノ一隊ニ席ヲトス

寿美本日来大医院坂口内科ニ入院ス稲田外十三ヨリ病室ノ明キタル通知ヲ得タルニ
ヨリ五時半中村ニテ稲村茂及稲葉ニ寿美ノ病室ヲ見舞ヒ七時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 上晴 寒暑表 發信 受信

午后の時半書生蜂屋ヲツル自動車ニテ吉祥寺ヨリ母キ
園内ヘ咲揃リタル山吹及ビ藤棚鶯鳴ヲ賞スベシトノ
櫻花見頃ヨリ筒物二十余本ヲ植リ内数本ノ小林
及草取等ノ為ニ止メ尚小植リ心ヒ、数本ヲ遣ハシ大ニ分
ヨク成育ヲ六時帰宅ス
面会中宮内省権祕書官ノ辰村、三等属二澄千代
ノ両名来ル
両新夫婦 招飯アリ

足利義満銭貨(慶永一五)　朝鮮使節初めて江戸へ来る(慶長一二)　貿易及び通商条約(元和元)

天氣 晴 寒暑表 發信 受信

昨夜輪邨ヘ行ク、
八合七合 五時半、

午前十一時出社
午餐後車田氏ヘ対シ倉庫公用ノ件ニ付余ノ意見ヲ傳ヘ
午后社長ヨリ商事会社重役撰舉ノ件ニ付余ニ勧誘
ヲ受ケル
午后五時半 馬輪邨ヘ行ケル 齊藤太吉副社長就職
披露ノ宴ニ臨ム 風内ノ草花、灘酒 新茶ト所ヲ異
ニス 来人午后一余出デヤリ 食卓ニ就リヤ否ヤ両社長ヨリ
杯ヲリ余ハ重役ヲ代表シテ 簡単ニ祝辞ヲ述ブ 食後
新旧代ト囲碁 対ス二面皆勝ツ十時帰宅
ヤガテ林檎使ニテ大阪熊吉一泳氏ヨリ吉野ノ阪本仙次氏
宗都病院(脳溢血ニテ死ス)ノ報ニ接ス二周前吉
野ニテ初対面ノ度食膳ヲ共ニシ両三日前余ニ挨拶ノ
ヤウナ事柄ヲ聞キ、話今 突報ヲ受ケ実ニ無常迅速
ヲ歎キアル余ハ ヨリ前ヲ思ヒヤリ、今年ノ花モ見ズニ逝
ク事ニヤ 昔菜こや昔跡の山ハほやとも云ヘ 芳野の外月ニおこりなし

(要点) 年少の頃盛かし更衣 月 昔

鎖国と千島交換の條約を結ぶ(明治八)　鎖国五兵衛来国へ漂着(天保三)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

国民工業学院新校舎顧問就任懇談会ニ関スル件

午前十一時ニ社ニ到着ス
午前十一時ニ社ニ到着ス
午前十一時ニ社ニ到着ス

午前十一時ニ社ニ到着ス

午前十一時ニ社ニ到着ス

天候 晴 寒暖 昨日ニ同シ 記事

朝食ハ例ノ通リ蒸麩ト煮豆ニ十一時ニ社ヲ出テ宮内省ニ参内シ午餐ヲ賜リ其ノ後ハ自由ニ市中ヲ散歩シ午後三時ニ帰社ス

午餐ノ献立

一 スープ
一 鮭ノ塩焼
一 鴨ノ丸焼
一 ビーフステーキ
一 ライスカレー
一 ポテトサラダ
一 アイスクリーム
一 果物
一 珈琲

天候 晴 寒暖 昨日ニ同シ 記事

午前十時ニ社ヲ出テ宮内省ニ参内シ午餐ヲ賜リ午後三時ニ帰社ス

午餐ノ献立

一 スープ
一 鮭ノ塩焼
一 鴨ノ丸焼
一 ビーフステーキ
一 ライスカレー
一 ポテトサラダ
一 アイスクリーム
一 果物
一 珈琲

天候 晴 寒暖 昨日ニ同シ 記事

午前十時ニ社ヲ出テ宮内省ニ参内シ午餐ヲ賜リ午後三時ニ帰社ス

午餐ノ献立

一 スープ
一 鮭ノ塩焼
一 鴨ノ丸焼
一 ビーフステーキ
一 ライスカレー
一 ポテトサラダ
一 アイスクリーム
一 果物
一 珈琲

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時出社ニ於テ重役会議ト為ル

一、右社長ヨリ三名ノ委員会ヲ以テ本日午後各政党ト会見セ
ラレテ会合アルニ付テハ製造株式会社設立ノ件ヲ成ル
ベクヨウナガレ入レラレザル様脱退スルヤウトノ意見ヲ
以テ会合ノ件決定ス

一、右会合ノ件ニ付重役会ヲ開キ右ノ件ニ付意見ヲ
述ベ午後二時ニ至リ散会ス

一、社用ニテ午後一時ヨリ三時半迄ノ間ニ
三宅川岡事会社ニ於テ重役懇談会ヲ開キ
右ノ件ニ付意見ヲ述ベ午後三時半ニ散会ス

一、社用ニテ午後四時ヨリ四時半迄ノ間ニ
松田製鉄株式会社ニ於テ重役懇談会ヲ
開キ右ノ件ニ付意見ヲ述ベ午後四時半ニ散会ス

一、社用ニテ午後五時ヨリ六時半迄ノ間ニ
帰途寿美ヲ病院ニ見舞ヒ六時半帰宅
夜分大平城部氏ヨリ電話ニテ右ノ件ニ付
来ル廿四日ノ午後一時ヨリ重役会ヲ開キ
右ノ件ニ付意見ヲ述ベ且ツ株主総会ノ
議案ニ付意見ヲ述ベラルル様申越ス

一、社用ニテ午前十時ヨリ十一時迄ノ間ニ
三宅川岡事会社ニ於テ重役懇談会ヲ開キ
右ノ件ニ付意見ヲ述ベ午後一時ヨリ
三宅川岡事会社ニ於テ重役懇談会ヲ開キ
右ノ件ニ付意見ヲ述ベ午後三時ニ散会ス

一、社用ニテ午後三時ヨリ四時迄ノ間ニ
松田製鉄株式会社ニ於テ重役懇談会ヲ
開キ右ノ件ニ付意見ヲ述ベ午後四時ニ散会ス

一、社用ニテ午後五時ヨリ六時迄ノ間ニ
帰途寿美ヲ病院ニ見舞ヒ六時半帰宅
夜分大平城部氏ヨリ電話ニテ右ノ件ニ付
来ル廿四日ノ午後一時ヨリ重役会ヲ開キ
右ノ件

天候 晴雨寒暖 晴 昨夜雨

今朝起床いまり復例の動悸を感じ始メタリ勉メテ本日ハ招待ニ応ジ出席セント思フ程ハ深リ胸痛ヲ感スルニ依テ其意ヲ友人ニ久松秘書ヲ招キ体理ヲ託シテ午餐ニ日濠会長リ茶会ヲ断リ出ツル旨ヲ舞妓座観劇ニ主人トシテモ不参ノ止ムヲ得ザル事ヲ通ゼシメタリ

右ノ外ハ平穏ニ過ス

日濠懇会改メ会長 栗田畯作氏

明日ハ片岡大使送別ノ午餐ニ有吉公使招待茶会ヲ兼ネ濠州副使理事官ノ帝国ホテルニ晩餐会ヲ催ス

採辨ノ午後ヨリ依頼ス

天候 晴雨寒暖 晴 昨夜雨

午前第八時ヨリ帝国ホテルニ於テ日濠懇会改メ会長栗田畯作氏ノ送別午餐会ヲ催ス

出席者ハ別紙ノ通リ

右ハ午餐ノ後ニ於テ

濠州副使理事官ヨリ

左ノ通リ挨拶アリ

Ladies and Gentlemen

I am very glad to have this opportunity of meeting you all here to-day, and I thank you very much for your kind invitation.

I am sorry that I am not able to speak to you in your own language, but I hope you will excuse me.

I am very glad to see Mr. Kurita here to-day, and I hope he will soon be able to come back to Australia

午前十一時十五分出社
正午工業倶楽部ニ到キ有実長文氏外社一送別ノ午餐会ニ臨ム工業倶楽部ハ井ノ一短歌部屋ノ理事其ノ他ノ催シニテ出席三十名ヲ越ス会堅苦シクテ接待ス氏ハ明日帰浦ノ為メテ夜来ノ倫敦ノ旅ノ宏会ノ模様大人ノ如ク物語ル
午後一時半有実長文氏送別午餐会
会事務所ニ於テ
公論社ヨリノ午餐会来洋ビルヨリバ
斯
二件ハ之ヲ三件ニ改メ後ヨリ見ル
三菱川本会長ノ招待ニ応ジ
午前十一時出社ス重役会ニ臨ム永幸理事ヨリ三菱重工業会社ノ変革ニ付説明アリ之ヲ是認ス
午后一時ヨリ組座午代野田ヲ招キ来国後ノ経過ヲ聴取シ将来ノ助力ヲ請フ事トシ詰着ノ値段ヲ定ム
四時ヨリ会食次ニ九ビルニ立寄ル
上野ノ家
入相の鐘つきもする百草の銀杏花
たかく咲きそろいる
不忍池
夕暮まさかなど高楼より公をさして
池ぐるわらべ歌の声もも

午前十一時出社
正午工業倶楽部ニ到キ有実長文氏外社一送別ノ午餐会ニ臨ム工業倶楽部ハ井ノ一短歌部屋ノ理事其ノ他ノ催シニテ出席三十名ヲ越ス会堅苦シクテ接待ス氏ハ明日帰浦ノ為メテ夜来ノ倫敦ノ旅ノ宏会ノ模様大人ノ如ク物語ル
午後一時半有実長文氏送別午餐会
会事務所ニ於テ
公論社ヨリノ午餐会来洋ビルヨリバ
斯
二件ハ之ヲ三件ニ改メ後ヨリ見ル
三菱川本会長ノ招待ニ応ジ
午前十一時出社ス重役会ニ臨ム永幸理事ヨリ三菱重工業会社ノ変革ニ付説明アリ之ヲ是認ス
午后一時ヨリ組座午代野田ヲ招キ来国後ノ経過ヲ聴取シ将来ノ助力ヲ請フ事トシ詰着ノ値段ヲ定ム
四時ヨリ会食次ニ九ビルニ立寄ル
上野ノ家
入相の鐘つきもする百草の銀杏花
たかく咲きそろいる
不忍池
夕暮まさかなど高楼より公をさして
池ぐるわらべ歌の声もも

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 雨量

三高会東八会合六勝
六一相互殺五陌おくん
　　　

天候 晴曇 寒暖 記事

午前十時半出庄え箱根岩村別邸へ参り二泊
待合ス甚すりレ富士庄ノ自動車ニ乗ニ未ラス徒歩ノ
本道ヨリ下車ヲ捨テ登山十一時四十分別邸ニ着
相応ノ名園四五十人ノ社員ハ已ニコルフ場ニ芝生ニテ菊
見招待ス駐在ニ在リ竹居ヨリ主人ハ夫婦ニ孫ノ秒ノ菊
参(サル)ノ半分ヲ下グ富士山ハ雨段ヨリ全面ヲ雲ニ
蔽ハレ僅ニ裾ノ一部ヲ露ス一時席ヲ改メ庭ヲ眺望ス
蒲團ヲ貴シハ一弁当ヲ開リ塩田二名川名ノ両芸妓
ノ三味せん会後ツゞリ囲ヲ廻遊三時西渡茶
菓ヲ喫シ次日天気ノ清朗ナルヲ以テ湖上遊船ノ為メ
翌朝五時ヨリ四列ニリ突発車ヲ初メ降雨ハリ名憧
憬ノ芦之湯ヲ過キ又自動車ヲ捨テ徒歩ニテ箱根
湖畔ニ出ツ小林ニ憩ヒ午食ヲ喫ス三敗二勝和成績ヨリ自動車
ニ乗リ住返松門ニ着ス午後四時ナリ
此夜ハ興奮ノ為メ熟睡スル能ハス

天候 曇雨寒暖 記事

社會の今日

栗原猛次郎氏来ル
國民精神文化講究所ヨリ来ル十時ヨリ
新、

友はみな或日四方に散りゆきぬ
その後八年の夢ばしるなし 石川啄木

午前十時前庄ヲ支払ヲ検査シ月末ニ出ス三枚余ヲ割
ル和ル未月分給費トシテ残五郎ニ金二百円ヲ渡シ
外ニ全人妻ニ夜伐トシテ五円ヲ与ヘテ夜ト供覚
二面容勝ヲ
午一時五十分小林トシ全道自動車ニテ下山午時五十
分小田原着車ニ五時頃帰宅
夜分雨降ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

夜分田岡典夫来り仲盟云明ノ件ヨリ

天候 雨雲 寒暖 感想 社会の今日

午前十時四十分出社、牧本献氏来訪ト一事件ニ付而会議ノ末ノ打ヒラブ会社ヘ行ヒ午後ヨリ帰宅ノ上ニテ和ル

昨日片岡直温氏ヨリ電話ヲ以テ今朝市電ヲ発シ供ノ上ヲ京都銀行支店ニ依頼ス廿四日桃山自邸ニ於ケル宴

午前十時社長室会議ノ上ニテ副社長ヨリ金庫部ニ関スル分ヲ説キ更ニ永楽理事ヨリ吉田部長ヘ引ヒ九ル筈未ヲ以ノ

午后七時頃ヨリ来訪

会社時午家庭事情ヲ以テ茅町男ヲ訪ニ関事会社ニ帰ラル

会長ヨリ電話ヲ以テ今朝ノ結果ヲ報告ス仍テ午ニテ男爵林部屋ニ帰ノ時到ル依テ明日面ニ会見スルヲ以テ帰途寿美ヲ病院ヘ見舞ヲ懇一枚ノ礼状ヲ認ムル不快ニ感ズ候

天候 晴 寒暖 感想 社会の今日

午前十時半家庭事情ヲ以テ男爵ヲ訪ヒ関事会社ノ件ヲ再応仍浅ヲ重ネ十一時十分三菱銀行ニ寄キ重役会ニ列ス終テ午餐ヲ共ニシ一時半出社

右一時四十分大林氏来社ス

東京主任浅見氏ヲ伴ヒ銀行建築ノ支ノ依ヲ来ル

昼ヨリ支ノ資依頼

近日渡

前項ノ件ト仲落公銅像ノ小松緑氏ヨリ催促ノ件ヲ三件事ヲ話シ午後ヨリ浅セラル

三ケ川前事会ニ及ヒ永楽理事トヲ引張キ引見仍浅スル処アリ

島住赤見氏ノ件ヲ未訪

四時頃出社

今更になせし話のかなしかりき 石原吉子

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天晴 雨 寒暖 摂記

高松宮殿下日伯
協会総裁トシテ伯大
使遣別ノ為ス殿ヲ召
ス方ニ御

午前十時半出社ヲ以下面会ノ筈ニ付社ヲ休ム
共済近衛会ニ於テ未三十八年報
会幹事ノ会合ニ付午後三時帰宅ス
仍テ出

午后一時 秩父宮殿下ニ参殿ス 竹田大佐殿下（依頼ニ
臨ノ許ニ参殿会ノ次第ヲ内奏ス 仝斗時半
皇后宮陛下ニ来臨拝謁ヲ賜リ了テ着護
婦ノ功労者ニ有功章賜与ノ式場ニ臨ミサセラル三時半
還啓ニ付供奉出院ス 卦キ寿美ヲ見舞フ（時頃
ヨリ時々降雨 雷鳴アリ病院ヲ中
ス 夜ヲ井ニ亦ノ降リ 頻リ来ル文句ハ生意気ニテ田舎出
ノ女ニフサハシカラズ 女中殺風ノ挙動アリテ不取敢帰
宅セシム

社会ノ今日

天晴 曇 寒暖 摂記

帝国水難救済会総会
両陛下ニ被為
午前九時半
卦キ

寒暖 天候

寿殿大橋ハ
ノ代役ヲ勤ヲ

郵船株会社ニ於テ
歌舞伎座見物

今朝九時久保氏ヲ訪キ平素ヲ謝セント欲セシモ社長
ヨリ出ヲ会社ニ会タルトノ事ニ付見合セ直ニ本社ニ
来会社ニ於テ面会ス 社長ヨリ二三ノ事ヲ聞キ
卯半タルニ直ニ帰宅ス 取代ル事ハ紛乱ヲ招ク
ニアリトノ事ニテ譲ラス 自分ニテ自分ヲ出ノ通リ
ノ儀

午后二時半斉藤総理ノ使トシテ入来 秘書官来
訪 岡田ニ代ヲ以ヨリ朝鮮併合紀念塔建立ノ件ニ
付口
添依頼アリ 任ス トノ事ニテ引受ケ
ニ、建会アリタリヤ否 尚会アリ未タ来ラザル旨ヲ答フ 三
時迄内田氏ヲ以ヨリ会見申込アリ 来月曜右二時会
見ヲ約ス

午后四時辰出歌舞伎座ニ卦キ吉右衛門 鷲山 清正 剛
ヲ観ル 分為メ 重宝ニ 階七番ニ堅 吉右衛門 モ勉メ
タルモ二条城 福ハ内ニ入ズ 外ニ出ズ 十秋楽ノ 今日大入満員ニ
テ

紐育ヨリ来ル郵船株会社ノ友人秘書役境 来ル二日ノ帰国ニ付 幸四郎ヲ来ル卯ノ刻ヨリ
残松田 送別会ヲ催ス 午后六時ヨリ 三井 改本製 部ヲ以テ招ク

来京ニ付判廻証人
召喚前九時半

午前九時半来京区裁判所（日比谷公園側）ニ本願場
田岡典夫（原告）ト木村右仲外一名（被告）ニ係ル訴訟
事件ニ付証人トシテ呼出ニ応ジ出廷シ当事者ニ関
判事ノ発問ニ答フ畢ハ大判花鳥ト田岡家トハ
席係ニテ此訴訟ノ動機ヨリ十時半ヨリ約二十分ニテ
リ直ニ社ニ帰社ニ共ニ対局ヲ会社囲碁ノ催ニ
十一時二十分社長室会議ニ列ス
午後二時頃ヨリ寿美子病院ニ見舞ニ赴ク町筋ヲ
会ス久保先夫母ノ使トシテ来リ会ス此日退院
トシテ寿美ニ金百ニ拾五円ヲ投ス
午後四時半帰宅服装ヲ改メ青山高樹町ニ久保甫氏
ニ赴ク未亡人ホカ数サン二面会会食ニ長話ヲ
前ニ額突キテ告別ス今般夫ノ大病ニ
帰宅ニテリ帰途青山墓地ニ立寄リ墓前ニ
帰宅

立夜漠（式ヨリ共ニ帰宅ノ途ニ赴ク）

朝八時半八日会ノ件ニ付内務次官ヨリ電話ヤリ
午後四時半ニ参内ス別紙ノ通リ其後ニテ
お玉ノ社会教育ニ面ス夕刻帰宅ノ後ニテ寿美ノ許ト
ノ面会ヲ謝ル
午八時永井松相卿ヨリ電話ニテ八日会ノ来賓ノ
業務ヲ得ニ付其節ヲ依頼シ会時ニ内務次官ニ面ス
夜分典夫印鑑証明書ヲ持参ス仍テ全人印鑑四
枚ト共ニ書面ニテ大手成印ニ送ル
帝国倶楽部ニ病兵後会ニ七月十五日催ノ分午五枚ヲ返送
ス

（裏面）水に来て驚く（かもめ）の心哀歌 拾二

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時出社ヲ以テ別席ニテ改メテ三宅川商事会社ノ決意ヲ述ス 社次ハ今朝社部ニ於テ男ヲ訪ヒ自個ノ見地ヲ明ニシ其ノ解ヲ得タリトノ事ナリ

会後三宅川会長ヲ招キ部下ノ行為ニ付遺憾ノ処アリ

右神社宮司田中竹三郎氏来訪本分ヲ招シテ面会右斗時針業会社ノ状況ニ臨ム内田氏来訪ニテ中堅ス内田来訪ノ為メ日韓会部宛会場ヲ頂度キ云域ニ連絡セントスル者一組会長本宮九死亡地ニ注意ス方ヲ為ニ方ヲ割ク方ニ仰キ斗方ヲ三井住友リ仰ノ如キ処ノ為メ日韓会併ノ成リ名ハ本会九宗ニ岐及内田努力ニ成リタルモノ統ニ三林六方ノ通ノ金ニテナリトノ事

右ノ時半頃ヨリ共ニ倶楽部ニ主宰リ大時竹生地常盤ニ於ケル三名針業会長ノ慰安ニ臨ミ十時帰宅

午前十一時ヨリ社々長室ニテ会後ヲ（ヤリ）テ会ヲ以テ対シ明日内田氏来訪ノ事ヲ告ケ之ヲ援助仲介会ヲ得度ト社次ノ意ヲ得テ三方円支出ノ事ヲ右三井ノ池田氏ヨリ内田氏ノ処ノ外ヤルヤウニテ三方ノ意ヲ仲介ヤリ内田氏ヨリ来訪ス

田中三郎氏ヨリ来訪ス

メッカ行ノ際三井ノ令渡ヤリ

俸度ト鎗ニ三井ノ期ゼズトノコトナリシモ已ニ会様ヲ以テハヨリ折合セヤリタク上ハ出資額ニ相違アルモ如何ト考ヘ内田氏ニ電話ヲ以テ会ヲ上双方始ヨリ計五万円出捐スヤウトニ井ト返事ス

社長ノ望ニヨリ室工場ヲ会社ノ室役トシテ自分毎度加入ノ事トナル

日韓協会ノ件ヲ付志ス鉄次郎及木村重吉両氏来訪右四時頃出病院ニ寿美子見舞七時帰宅

夜分大手町ヨリ御電話ニ付ス

午前十時ヨリ社ニ於テ会ヲ開キ

社次ヨリ今朝社部ニ於テ男ヲ訪ヒ自個ノ見地ヲ明ニシ其ノ解ヲ得タリトノ事ナリ

会後三宅川会長ヲ招キ部下ノ行為ニ付遺憾ノ処アリ

右神社宮司田中竹三郎氏来訪本分ヲ招シテ面会右斗時針業会社ノ状況ニ臨ム内田氏来訪ニテ中堅ス内田来訪ノ為メ日韓会部宛会場ヲ頂度キ云域ニ連絡セントスル者一組会長本宮九死亡地ニ注意ス方ヲ為ニ方ヲ割ク方ニ仰キ斗方ヲ三井住友リ仰ノ如キ処ノ為メ日韓会併ノ成リ名ハ本会九宗ニ岐及内田努力ニ成リタルモノ統ニ三林六方ノ通ノ金ニテナリトノ事

右ノ時半頃ヨリ共ニ倶楽部ニ主宰リ大時竹生地常盤ニ於ケル三名針業会長ノ慰安ニ臨ミ十時帰宅

午前十一時ヨリ社々長室ニテ会後ヲ（ヤリ）テ会ヲ以テ対シ明日内田氏来訪ノ事ヲ告ケ之ヲ援助仲介会ヲ得度ト社次ノ意ヲ得テ三方円支出ノ事ヲ右三井ノ池田氏ヨリ内田氏ノ処ノ外ヤルヤウニテ三方ノ意ヲ仲介ヤリ内田氏ヨリ来訪ス

田中三郎氏ヨリ来訪ス

メッカ行ノ際三井ノ令渡ヤリ

俸度ト鎗ニ三井ノ期ゼズトノコトナリシモ已ニ会様ヲ以テハヨリ折合セヤリタク上ハ出資額ニ相違アルモ如何ト考ヘ内田氏ニ電話ヲ以テ会ヲ上双方始ヨリ計五万円出捐スヤウトニ井ト返事ス

社長ノ望ニヨリ室工場ヲ会社ノ室役トシテ自分毎度加入ノ事トナル

日韓協会ノ件ヲ付志ス鉄次郎及木村重吉両氏来訪右四時頃出病院ニ寿美子見舞七時帰宅

夜分大手町ヨリ御電話ニ付ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 暑 温

午前十時頃松本健次郎氏今夕九梅へ案内請ノ電話アリ全氏今朝お宗セリ

午前七時来信元帥

午前十一時出社書面ヲ以テ若松ヨリ来状取帰ル後黒田長知男ヲ松本氏ノ陪賓トシテ九梅ニ案内ス午后快晴ノ雲沽アリ

社友ヨリ刀鍛研究会ノ日取ヲ伺ヒ有志ノ出席ヲ求ム

午后六時ヨリ帰宅六時前九梅ニ到ル本日ハ陪賓ノ外ニ女芸ヲ呼ビ次ニ三客(二氏松本健次郎氏黒田男爵)ノ外ニ来会六時半ヨリ会食半ヲ始メ九時過ニ至ル於テ味佳肴頗ル美味ニシテ婦人晩酌ヲ傾ケ只ナラヌ歓ヲ尽シ食後ノ平歩亦タ美味ナリ一四歓喜ス一行皆人九梅初メテノ来ナリト頻ニ満足ノ体ナリ九時半帰宅

午后来御元帥今晩七時要次左ノ電報外通知アリ

その折にいひそびれたるわがこゝろ
君知りきさじ朝顔の花　松岡翠城

曇 暑 温

国際文化振興会
来松健次郎殿下
奉載式ニ付テハ
来宗会釈請
大村工師ノ金属文太氏
来訪刀ノ会釈ヲ請ケリ

午前十時頃迄相当座席アリ雲深地ニ前川迄ト夕ク

午前十時四十分出社新刻槍四郎中切来訪来御元師ノ病気ニ前御ノ模様ヲ報取ス氏ノ話ニハ元師ノ病室ノ外ニ出ラレ口不潔不快ヲ感ジタリトノ事ニテ夫人ヨリ病床ニテンガ為メ不可ナリトノ事ニテ不可ノ令嗣殿氏(令嬢ノ主人)ニ令室不奈氏ノモノゝ話ニテハ御元師ノ病気ハ十一時頃ニ至リ為不行住ノ為メ思ハル

午后来宗会釈ニ来室

会計時ニ来宗会釈ニ来ル国際文化振興会来松健次郎殿下奉載式ニ臨ム式ノ順序ノ通リニ会ニ参ル親王殿下ノ御前ニ参進シテ刀剣類ヲ献上シ奉リ次ニ副会長ノ参酌シテ刀ヲ奉呈シ依テ献上ノ刀剣ヲ引見シ奉リ次ニ依頼ニ依リ茶菓ヲ賜フ後更ニ独リ徳川家達公モ列席セラル寿々喜多氏ノ内田良平氏来訪ス取次ヲ以テ取次ヲ及ス

午后六時半辰ニ

津西会ニ於テ和夏の日会アリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



風雅

酒に臨む岸畔然と若葉かな　芽生

芒種　六日（後七時二分）
入梅　十二日
夏至　廿二日（前一時廿八分）

曜

七	日	月	火	水	木	金	土
	…	…	…	…	…	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	…	…	…	…	…	…	…

月

◎下弦　廿日
◎上弦　二十日
●新月　十二日
○満月　廿七日

鮎のころ

若竹のすくすく伸びた葉かげに通う風も涼しく、背開の庭の木の間に迷う螢の火もなつかしい。ながい雨の晴れ間にはカッと射す太陽、夏の溢れる力を思はせる新緑の山々、薄地の背廣に近い旅に出るにも良い季節である。諸所の鮎漁も祭を解かれて澄んだ川瀬に舟を浮べ、さし走る鮎を採って直ちに食膳に上すのも興深い。鵜飼で有名な長良川には、昔ながらの鳥帽子着けた漁夫が巧みな手のさばきに鵜のあれは捷く水に潜つては鮎を捉へてくる。闇に照る篝火の水に揺曳する美しさ、長良橋につく灯の影、朧に浮く金華山、一幅の名畫を思はす。

季寄

時候　五月雨、梅雨、霖雨、露の経、五月晴、夏山、木下闇、風薫る、田植、桜桃、苔の花、若竹、蛍、鵜飼、夏館、花菖蒲、松葉牡丹、金魚草、百合、撫子、常夏、風鈴花、利鎌、蟻地獄、稲妻、柿の花、蚊帳、金魚玉、ダリヤ、グラヂオラス、カンナ、シクラメン、アスパラガス、シクラメン、ベゴニア類、蚕豆、あじ鴨、蛸、せいご、鰺、鮎、すっき、鯵、新牛蒡、絹元菜、キャベツ、蜆、貝、西洋人参、夏菜瓜、梅、酸っぱ

遊樂

美しく刈り込まれた小芝の芝生にゴルフの技を試む。薬品の遊びもよく、社交の繁きも梅雨深い。この月雨多く遊興も日が続くが、梅雨晴れの日には、田園茶館の点在する郊外も捨てがたい。梅雨時分の大橋は月例の競馬、東都の山王祭は二大行事として今なお昔の気分を見せる。大宮、宇治の螢狩て、多摩川、長良川等の鮎釣り、又大磯、鎌倉の河川も諸客で賑はせる。鮎遊客も器はせる。

鮎

東京では、多摩川筋、荒川筋、野州川、上州利根川上流、鎌倉では、岐阜長良川をはじめ、宇治川、紀の川、吉野川、球州加古川上流など。

温泉めぐり

西の有馬、摂津の国、東は下野の那須、湯ノ湯、箱の崎、山伊豆、箱根、熱海、伊東、静岡、修善寺、湯ヶ島、天城、下田、伊豆の国、東山。

趣味

企画園芸、二十日大根の播種。甘藍、玉葱、竹筍の移植。瓜類、トマトの摘芯。果樹の雄花摘採、施肥。鉢物の手入れ。諸作物の間引。中耕。

金臨
卯発

日出　四時十七分
日没　六時五十一分
月出　後七時二十三分
月没　前七時二十七分

天候　晴雲雨

午前八時半島本國次氏来訪時勾ニ付ト十時半迄談話アリ十一時廿分出社ニ依テ研究所ニ於テ為替ニ付キ

午後武田参謀氏来訪

公式時候ニ付田成彬氏来訪トシテ東洋製鐵ニ付キ御意之趣承知ス

愛媛ニ於ケル顕末ニ付キ有賀長文氏ト打合ス

三時半帰宅

午後八時

午東御邸

（裏面）

徳川宗敬所蔵を複製に付る上に（永禄五）　第一回一葉業績を各集まる（明治三一）　第六十二號（七和暦）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時出社 後事ヲキヨメテ社長室会議ヲ見合ス
十田勤兵衛氏ヨリ内田良平氏未社会ガ幹施ノ仕方ヲ御シヨ相談ニ来ラル
午后七時工業倶楽部ニ中村ヲ督氏未訪来ル八日自宅ニ持ス大使ノ為ノ国士会送別会、工業倶楽部国際注意研究ノ三団体ヨリ工業倶楽部ニテ茶会ヲ催サレタルト外ニ招待ヨリ依頼アリタルガ多忙ノ事ナルモ余リニモ外ガマシリ且ツ程ヨク依頼ノ頻々タルニ鑑ミ工業倶楽部トシテハ茶ハセザル方ヲ可トシ各ヘ断リ
居塚勝太郎氏ヲ訪ヒ
三七川南幸会長ヲ見
午后七時退出帰宅

正午前出山の時半毒天ト共ニ吉祥寺ニ到リ苺狩リヲナス収穫多量 仝夕帰メテノ収穫ヨリ自動車ニ満載シテ七時半帰宅時々ナル雨アリタルモ大降リニモアラズ

夜分大平城和ニ来ル後見人辞除在行ニツカ仝人ヨリ留守中各社宛何ノ返送ス

来ル手ハ和

信号ニ国ヲ背負ウ人ニハ

ありつみの神祝ヒかな

すかた 雄々しく

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半副社長一行一昨夕長岑ヨリ帰京船
田一雄氏一行モ亦昨夜満州ヨリ帰来土ル
午后四時半退出後小松一男ヲ為メ日々見舞在ル
マツサーヂ師ヨリ治療ヲ受ケ夜分迄
小松付一郎氏来社今人貨金ヲ加ヘ一ヶ年間此期ス
寿美午后一時帝大病院ヘ赴キ注射ヲ受ケ

来客 電話 用談 発信 受信

六月四日 小松貨金此期ノ下ハ止村ヨリ貰ヒ置ク筈、

斯、

来客 電話 用談 発信 受信

白耳義大使館ヘ
加使ヘ御招状
合右四時
七日、変更
来御元帥国葬
日比谷公園

本日来御元帥国葬ノ日官省会社概ネ休業哀悼
ノ意ヲ表ス式場ハ日比谷公園内ヨリ霊柩ハ砲車ニ載
セラレ時衆リヲ五テ九段ヨリ宮城ヲ見ル所
式場ニ入リ式ハ十時ニ始マリ二時ニ終リ霊柩ハ斗
時迄一般ノ会葬者ノ礼拝ヲ為メ定刻前ニ式場ヲ斗
リ霊柩ハ式場ヲ出テ赤坂溜池ヲ経テ新宿ヨリ青
山ニ至ル沿道ハ非常ノ雑踏ニテ警戒ハ式場ヲ始メ
鎖サレタリ英仏米仔各従者水兵ヲ率列シ又ソレメ
外国人ノ来加三十余国ニ及ブト雖モ皆有リ盛儀ナリ
余ハ船舶掃除ノ為メ出ヅ宮子余ニ対シ脳ヲタル天師ノ長患
ヲ悩ケ天師ノ宿痾ニ加ヘ瑞座葬ノ時ハ堅持平ノ意ヲ
表シ終日引籠リ（小快ノ為メ式場ニ臨ミ居ラズ）
長風勝ノ代ニ旅費四拾円ノ賜与ヲ以テ林摩平ニ送ル

[昨夜] 昨夜の木にねむたさの中 井泉水

夜を深みあのざふちなる虚ひびに
地虫の聲が超に超わり 下村湖人義雄

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨日より

発信 受信

午前十一時半社交室会議ニ臨ム
午後四時白耳義大使ボンソニール夫妻ノ催ス
特別大使ダイス夫妻ヲ招待晩餐ヲ共ニス
会ス大使館ニ帰リ来会ス
午後一時半ニ帰宅

天候 晴 寒暖 昨日より

発信 受信

午前十一時社交室会議ニ臨ム
午後四時白耳義大使ボンソニール夫妻ノ催ス
特別大使ダイス夫妻ヲ招待晩餐ヲ共ニス
会ス大使館ニ帰リ来会ス
午後一時半ニ帰宅

天氣 晴　寒暖 湿度

八日会
幹事 岩内庚氏
来賓 永井松相 出席

来集者二会後所感注解
両国橋ヨリ向フ岸ヲ行ク人ヲ見ル大使
ヲ送リ出シ、ダイ大ス歓迎ノ為メ
会ヲ催ス 新

城浜党員記念会 祝
第三回 来賓 永井松相 出席
両月度定例会 新

午前十一時五社ヶ共ト打合セ中之然ル金取扱ヒ件協社ヲ
受ケ鍋島朝俊ヲ副社長ニ定ム

午后一時富田幸次郎氏ヲ訪ヒテ加藤峰男氏ト会見ス
公氏ハ満州国輸出大豆ノ件ニテ大根産組ヲ独逸ヨリ引
受ケ日本ニ依托スルノ件ヲ主張シテ航空国策研究会設立
事業ニ賛助シ幹施中トノ事ナリ（一應ノ了解ヲ得度トシテ
件本件紙上略ス）南氏ヨリ政府将来ハ重工業会社ノ必要
波多野氏ノ事務ニ関シ交渉セントシタルモ
ハ之ヲ拒ミ会社持株ノ印刷物ヲ新設セシムル事トシ
海軍ノ意向ヲ篤ト取調ベタル上ニ採ラントスルコトヲ
申神奈川県知事ニ面会セントシ
三時三菱信託ノ重役会ニ臨ミテ永安氏ヲ招キ中之然ル金
ノ調ヲ依頼又副社長及ビ幹部ノ面会ヲ求ム
午后五時五十分山口ニ於テ八日会ニ臨ム御氏ヲ除キ会ヒ
来リ会ス未賓永井松相ト共ニ
南ヨリ新設ヲ支援ノ件ヲ協議ス 十時退散

天氣 晴　寒暖 湿度

大阪商工会議所ニ於テ
金庭副会頭催
午前十時、午餐会
会三時日本経済懇談
臨時大会
会二時取締役総会
会場ノ
金部 新

日本国際協会及田
部井氏歓迎午餐会
ノ件 新

暑気強リがハリ更衣ヲ要ス 小磯八四男氏来ヲ受ケハ為メ
今朝九時整形外科（第大日科）ニ寄キ帰リ来ラス 会社
ノ自動車ヲ呼ビ十一時半社ニ戻ル金庭会議ニ臨ム
午后一時半神奈川県知事来訪 村技手列次ヲ三井ノ向意ヲ得
ラルヽ旨ヲ報告ス 県ヨリ之ヲ正式ニ申シ込ミ置ケリ
九州中央軍ニ於ケル国際懇談ヲ午餐会ニ
会費四人分ヲモツテ
午后二時半区長三戸ニ立寄リ四時半帰宅
会社時間変更ノ
野田千代ト共ニ 白鞘堂後行手本刀（金
弐十九百円）ヲ唐津小笠原氏ヨリ
七百五拾円ニ購入ス 村技手備前
忠光刀（六百五拾円）ヲ
（金四百円）ニ売却ス 部会ニ出席
ス助程刀（金弐百五拾円）ヲ村技手
（金弐百五拾円）ニ売却ス 行手景光ヲ助
村技手

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

今朝世ゝ我弟君より 大津湖畔決定通知ヤリ
午前一時寿美会前志祥手ヨリ 威海衛陥落ノ号外
夜二午後十半夜用始ム午ヨリ 祝会ノ催アリ 終日半風
ハ雨ニ始リ 生徒ノ歌声ニ交リテ 市未節東京 音頭
ナドアルハ 甚タお心地セリ 其他 多量ノ収穫ヲ得
セハ時帰宅

午前十時半小振ハ仲ノ為メ帝大病院ニ 赴キ帰宅セリ
為メメ会社ノ自動車ヲ招キテ社会ニ 京都祇和工業
祝会ガ中沢岩太会長ノ 喜寿記念ノ催ヲ 観ハ介リ商工
会館ニテ会アリ 中沢将両会来会者 盆外数百ノ
ヨウナル 買物代金ヲ支払フテノ将半 ヒゞ社
午后三時社ニ両会 河牛針業ヲ切ル 商事ノ手取帰宅
ト云フ件ヲ会ス
后五時頃ニ帰宅
夜分秋山村 兼武ヨリ内閣存廃ニ 係ル
牛ス

天候 曇 寒暖 記事

午前十一時出社ス 大室会議ニ列ス
午后副社長ヨリ河干針業 赤坂互助会対應ノ件
ノ請ヲ受ケ 呼ニテ之ヲ見ルニ サントスルモ外出不在ナリ
右ノ時 近ク三越ニ来キ示談有ノ筈ニテ陳列場ヲ視
ル 清水氏ト邂逅ス 会合ノ口出作水 (百円)ヲ出ス 盛
華堂 春煙草入 外(ニ)竹谷百円ヲ貰ヒ受ク
五時半金田中ニ到キ 新坂重工業会社 招宴ニ陪シ
永谷小代ト対坐 正ニ大ニ勝ントシテ敗レタリ 九時過帰宅

今日も生方に、くれに暮れて、議院の大業の賜りに預つる 前井鳥健

天候 曇 寒暖 記事 社會の今日

朝八時半 竹中藤右衛門氏 疾病ニ未ル 公時松村義太
永氏来訪 夫村工場小僧 山下両氏ヲ介ス 打合セアリ
十一時半ヨリ社
午后一時半三菱針業 会長ヨリ巡回視察ニ付 生野
明迄直島ノ 介ニテ工場ヲ社長 会席ニテ敬ヲ
頼リ
午后三時半 河干針業本店ヨリ 互助会対策ニ付三菱
会長ト意見ノ相違ニテ 辞職ヲ能リ会長ト懇談
スル様 訓戒然 翻意ス
此時半頃出先ヨリ 自宅ニ陪シ 九時半帰宅

（地震入）
幕府に於ては、諸大名の参勤交代を緩和し、江戸に入る 石井久一郎

北條義時卒ス（元仁元） 明智光秀誅セラル（天正一〇） ベルリン会議（一八七八）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前九時半村制之来訪昨日会議ト会後ノ模様ヲ話シ置リ今十時半社ヲ出ル筈会後ニ臨ム

午后一時半秘書官堤康次郎氏来訪既ニ着午中満州土地購入（七千万円資本ノ内）ニ次テ支ト日本財政問ニ新ニ（千万円ノ）公募集（夫ノ分ハ満鉄ニ来投、朝鮮銀行満州政府ニ貸ス）締花ハ参、牧野外ニ和泉守並ニ定之ノ程刀及偽正宗ノ短刀（実ハ本ト）ヲ鑑リ

研究組合ノ為メ酌ミテメタリ

午前十時五十分発熱海行ニ依リ今晩ハ車中泊ニ為メ代人ヲ出ス筈ニテ箱根ヲ途中パンク四時半峯別邸入料理ヲ命ス

此日竹中組ノ小林、井戸検査ノ為メ今朝来宅ヲ立チ未ダ峯ハ道路破損ノ為メ工事見積ニ付堀鑿支配人箱根ニ談合結句八百八拾円（支払残金三拾円ヲ含ム）五十銭ニテ全ク請負ハス手トス

毛利元就死す（天文二）　千葉市の女給新給取締に反対罷業す（昭七）

寿美ト其ノ他ヲツレテ午前十時五十分発熱海行ニ依リ今晩ハ車中泊ニ為メ代人ヲ出ス筈ニテ箱根ヲ途中パンク四時半峯別邸入料理ヲ命ス

此日竹中組ノ小林、井戸検査ノ為メ今朝来宅ヲ立チ未ダ峯ハ道路破損ノ為メ工事見積ニ付堀鑿支配人箱根ニ談合結句八百八拾円（支払残金三拾円ヲ含ム）五十銭ニテ全ク請負ハス手トス

北条泰時没す（仁治三）　昌平坂を大学と改む（明治二）　東京外語製鉄首謀者十一名懲戒処分す（昭七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 雨 寒暖

発信 受信

備考

社会の今日

久振りにて昨夜より豪雨降り早天添ヤ車にて農家へ為メに十金の値下り小林梅川両氏と午餐を会食す日

午宝午直し講釈あり両氏帰檣の上大工松本を招致して東京に電話を両氏四時頃帰宗

次第を梅雨晴一筆を認めたれ

天気 曇晴 寒暖

発信 受信

備考

社会の今日

朝六時半来革松寿教と一泊しタリトテ大工松本今朝来宅宿泊して午直しに着手ス

玉革教主人梅吉来訪

牧太郎に金二百円ヲ午交ス七松七円ハ先月分庭園工事費支払不足ニ五松五円ハ今月分夫婦ノ給料ニ五松金四ハ今月十五日ノ庭園工事費ニ残金ハ右後ノ家計費ニ充ス

つゆ明けこの月度はたより山梨に太郎の墓のひしりせはしき 竹尾忠吉

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

昨日未庭園ヘ牛入レ着牛ス

雲雨

松本鶴翁ヲ高麻小屋ヲ作ル夜リ入リ子後雨ヤム

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 雨 寒暖 昨夜

發信 高知より

友引会 谷四時

幹事大阪信幸

断

着信

大會の今日

強雨 終日止マス 茨流水高シ 奈教遠雷 俗言アリ

松本帰宗 旅費寺松岡ヲ 谷共ス

(竹皮の竹包) 竹皮や鎗に包む山刀 野鍛冶

天氣 小雨 寒暖 昨夜

發信 高知

着信

大會の今日

午後 千葉藥問会ヲ谷

五時

午谷ヨリ雨漸リ霽ル 夕鶯鶯ノ為池ノ一隅ヲ金網ヲ張リ

之レヲ放ツ

夜ハ半月中天ニアリ

ふるさとの母をおもひつつ我が切りし五節の青の目に見みにけり 古田さみ代

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

日出 四時二十五分
日没 七時二十五分
昼間 十四時三十五分
夜間 九時二十五分

寒暖 晴
記事

此朝来宗久座敷書ヨリ電話ニテ永井松房大尉来月二日相談ノ為メ来合ヲ頼シタリ就メ余リ都合ヨカリトノ事ニ付差支ナキ旨返事ヲ出ス 公時ニ来廿四日来荘如何ト伺ノ由ニ付傳言ヲ依頼ス

午后ノ時十分頃ヨリ自動車ニテ小林信太郎ヲ伴レ天城越ニテ古奈ニ赴キ三養荘ニ某町男爵ヲ訪フ 男十九日帰京不在夫人ニ面会ス 荘内ニ軒ノ別荘アリ

余ハ若シ男爵両應古奈ニ赴ケレバ少而所御樹ニテ廿四五両日ノ内来荘ヲ懇ヲ度シト牛入夫人電話ニテ来京ニ付会サレ明日男爵古奈ニ再来ナキ旨ニ付来着ノ上日取決定スルトノ依約ヲ得帰途ニ就ク 午后四時半ヨリ雨天ヲ衝キ帰途ニ就ク 六時四十五分帰荘夜ニ入リ男爵夫人ニ道ヲ藤武雄氏ト共ニ廿四日来荘ノ上ヨリ返事アリ依テ午傳ノ為明日小林茂ヲ吉祥寺ヨリ召致スルコトス

（朱書）「初のあらしを力業の吹けれ　若竹の葉の明放りつつ　吉田鼎館」

寒暖 晴
記事

今朝島ヶ崎ニ遣ハシタル鶴ヶ棟へ立チ帰ル 鶴ヶ棟ニ暫ク為メ作リタル網ハ使ヒ出サス

庭ノ柿除ケ囲ヒハ午后四時ニ林茂来ル

（朱書）「茶碗に酒ひ盛る大かな　四字詰」

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 半曇 寒暖 晴 雨 記事

社會の今日

發信 受信

正午近キ頃某町男爵某氏ノ佛ノ小友武雄氏ト共ニ自宅ニテ未峯谷室内并ニ庭内ヲ案内シ十二時半過ニヨリ午餐ヲ饗ス小藤氏ハ入浴ヲ試ミタリ食事ノ間ハ家内ノ時間余談笑ノ内ニ時ヲ經過スアテホーテニテ壽美撮影一行滿足ヲ表セラレ四時近リニ辭去セラル余モ亦快活ヲ極メタル旅ハス夜ニ入リ木附ル

信太郎相木職人ニ金松圀ヲ介ス

赤松滿彌將軍將星足利尊氏ニ勸メ天皇ヲ弑シ奉ラムトセシ逆賊楠正成ヲ誅シ（五條ニ）加藤清正生ル（一五六二）楠上皇歸京ノ光榮ニ浴シ山門ニ幸ヒ給ヒシ（昭和七）

天候 晴 寒暖 記事

社會の今日

發信 受信

壽美ハ此機会ニ暇乞ヒ辞平ニテ僅ニ一例ニヨリ青木善根（寺名）泰田ノ夫人近藤庚子淑子、久保清子ノ諸トシテ峯山栄枝ヲ此別宴ニ招キ多クノ事ヲ語リ金一人義ヲ以テ歸京スルヲトシ金五百圓（或ハ七百圓）ヲ公人ニ渡ス

右一時半峯発四時熱海着、公子十五分ノ誰急ニテ歸京六時八分十米驛着、仝半歸宅

（自撰）給人の手首の自筆目立ちけり　柴山

知事篭總ノ改定ニ士族ヲ作ル（明治二）　雨南茅ケ崎ニ大阪風景ヲ超ス五十餘戸ヲ破壊ス（昭和七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴
摘要記事
貸借 信用 要件

大會の今日

暑サ頃ハカハリ十時社長ヨリ帰来ノ間合セアリ全半出社ヲ促ス即座ニテ事由、永泉、船田ヲ集メ三菱重工業公開ノ奉長日取、公開ノ株数、并ニ売價ニ付相談シ日取ハ来月中旬株数四拾万株以内價額ハ六拾五圓見当トス

午后船田理事ヨリ留守中ノ経過ヲ聞ク

公四時半帰宅ス上野ノ斎舎ニ泊ミ九時半帰社七朝病気而三日前三好常務ノ臨ノ為名古屋ニ七泊半ノ副社長今夕帰来ノ由

天候 晴
摘要記事
貸借 信用 要件

大會の今日

夜分ニ至リテ炎暑衰ヘス誠苦シキ感アリ（日没）谷風やや日覆ふくる、浴屋三軒 甲北

暑気強リ日中八十五六度ニ上ル午前十一時銀行ヨリ出社役会ニ列シ各取締役ト午餐ヲ共ニシ一時半帰社午后四時ニ委信社ノ依会ニ出席原案ノ六分配当、永泉理事ヨリ日本生糸売買ニ付社長ノ意向ヲ聴取シ今日五八円ニテ調査ヲ為スヘシ三七川并ニ永泉ノ意見ヲ述ブ永泉全然反対ラスルモ悪シトスル反ヘ余ノ意見ヲ述ブ永泉全然会意ヨリ仍テ社長ノ余カ室ニ来レルヲ待チ陳述ス社長モ亦余ノ考ヘト違フナシ永泉ヲ説解セキ様社長自ラヨリ説明スルヲトス

松村竜太郎氏来訪夫村工場従業員ノ賃上ケ交渉并明ケ方報告スル処アリ

神戸生糸売買百九拾五俵金四万弐千弐百五拾円ヲ以テ小切手ニテ別座ニ支払フ

午后五時永泉氏ト公衆山口ニ到キ電気会社ノ招宴ニ列スカクテ昨分八金次ノ如シ）迄分、新生命面白クタキタリ九時半帰宅牧山新井氏カラテ余ノ帰リヲ待ツ首相ト会見ノ為メ面ハレ帰社ヲ促ス

東電立時収会

電気会社 会長川井氏
北喜山口右 六時 出席

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖

今日モ亦暑気強シ 早朝ヨリ八十二度ニ上ル

午前十時半出社ス 会議ニ臨ム 須田春治氏山本候二郎氏使トシテ来訪 会議中ノ件 午后三時会見ヲ約ス

后十二時半工業倶楽部ニ於テ日印日英会商代表一行歓迎午餐会ニ臨ム 余ハ郷男爵ト共ニ代表主人タリ 来賓ノ内ニハ松方幸次郎氏其他在会スル有志ト対シテ浜田日印会商代表ノ一行ト一日英会商代表ノ為メ歓迎ノ午餐会ニ臨ム 余ハ郷男爵ト共ニ代表主人タリ 来賓ノ内ニハ松方幸次郎氏其他在会スル有志ト対シテ浜田日印

天候 晴 雨 曇 雪

今朝も亦引続き暑し 蓙の上に寝ても暑さを感ずる程なり

午前十一時半頃社長室会議に臨む

久しぶりにて新株申込期日本日限り

今朝も亦引続き暑し 蓙の上に寝ても暑さを感ずる程なり

午前十一時半頃社長室会議に臨む

久しぶりにて新株申込期日本日限り

社会の合図

欠勤 遅刻 早退

七月

文月・涼月・秋風月

文挟月

涼しさや木の間を横に 帆の走る 芭蕉

半夏生	二日	（前五時二十五分）
小暑	八日	（後七時十七分）
土用	二十日	（後七時十七分）
大暑	廿三日	（後十時四十二分）



曜

日	月	火	水	木	金	土
						7
						14
						21
						28
1						
8						
15						
22						
29						

月相

◎下弦 四日 ●新月 十二日
◎上弦 二十日 ○満月 廿六日

キャンプ 上高地は、梓川のほとりにテントを張つてのキャンプ生活だ。日暮れれば、牛カンを切り、岩魚を焼いての夕飯だ。テント毎にもれる白樺の松燭が、広々とした河原になびく。食後はレコードのジャズに合せて、あちこちで舞踏が始まる。あければ、穂高のロック・クライミング、槍の穂を極めるもの、常念を縦走するもの、アルピニストの姿が雄々しい。蔵古の雪をたゝへる溪間、お花畑には雷鳥遊び、山櫻が満開で、賑やかしきりに鳴く。

行事

一日 商家中元賞出し開始・富士及雷北アルプス山開・木祖温泉くく・諏訪湖・十五日花・元宮日・土佐祈年夏祭・大阪・建勲祭（山城）

七日 棚機祭（五色の糸に願ひ事を書いて竹枝に結ぶ）・木戸孝允誕辰祭（萩）・紀三井寺誓詞拳祭（高野・十七日迄）・第一回関門・生国魂祭（摂津）

九日 観世音四萬六千日（浅草観音・鶴岡八幡宮・白木屋呉服店・大千日詣り）・高田の馬場・浦草

十日 草市（盆棚や供物の品物）・上高地入り三日間

十二日 定期市（大阪・堺・岸和田・富士吉田・八王子・秩父・川越・熊谷・本庄・深谷・高崎・前橋・桐生・足利・伊勢崎・館林・佐野・栃木・結城・水戸・土浦・石岡・麻生・行方・鹿島・潮来・佐原・銚子・成田・木更津・館山・勝浦・大多喜・茂原・東金・千葉・市川・船橋・松戸・柏・我孫子・取手・龍ヶ崎・藤代・土浦・牛久・荒川沖・竜ヶ崎・水戸・笠間・下館・真壁・下妻・古河・栗橋・久喜・春日部・越谷・川口・浦和・大宮・上尾・桶川・鴻巣・熊谷・深谷・本庄・高崎・前橋・伊勢崎・桐生・足利・佐野・栃木・小山・結城

天氣 寒暖 晴 陸記

電話 發信 受信 傳送

晴れ 風強く 午後 雲

暑氣強し 白の卯木 半ば枯れ 朝 散歩 園内を周遊 久々 日知メテ「サラヒヨヲ樹」の花咲リヲ見タリ 白ノ五弁ミテ 筆 沁ルモノアリ 蹲踞 今朝 十時半 後五時 帰宅 時々十分帰宅

今朝十時半後五時帰宅 竹垣改造費五拾圓支払ノ外 八拾圓 外ニ半ス半花 弄拾圓 合計百四ヲ 後ス七月ヘノ 繰越残金ハ外ニ六拾四圓アリ

（裏面）

天氣 寒暖 晴 陸記

電話 發信 受信 傳送

晴 暑氣 永井松相第四官邸

阪神ヲ行徳銭拾 松相官邸 五ヶ条 本日限 保養ス 三和銀行来栄支店

午前中ハ暑氣今ヨリ雨降ラズ 三時過ヨリ晴レ 陰レ 夏ノ空ノ 午前十一時半社 正午松相官邸ニ赴キ 永井松相ヲ午餐ノ御會食ヲ 後ヲリ 要ハ将来移民ヲ為メ 満州ニ 土地ヲ買メントスルモノニテ 已ニ満州銭拾 土地ヲ買収セラ 勧業株式会社ヲ通シテ ハルビン郊外 弐百五千 坪ヲ 会社ニ 八束亜 地帯ニ近リ 地券面 弐百弐拾 満銭ヲ貸ス 五百万圓満 州政府ニ三百万圓ヲ 貸収ヲ遂ゲントスルニ 吉林有ノ東北 山林 弐百弐拾 満銭ヲ貸ス 五百万圓満 州政府ニ三百万圓ヲ 貸収セントスルニ 八拾千弐百万 圓ヲ投シテ五百万 弐拾万圓ヲ貸収セントスルニ 質物 無キヲ以テ 来六日工業倶楽部ニ 参集会合ノ 上 決スル事ニ 御池田会務 参集ス 会合ヲ 終リ帰社ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 晴 記事

午前十時半社ヲ発シ会議ニ臨席
午后一時半地下鉄速度 銭通会社ニ於テ午后一時
重九郎氏未ダ会社ニ来ラズ 而シテ重九郎氏ハ浜谷新橋并ニ其ノ他ノ中央驛ニ於ケル
貨本金拾五万円、内五万株会社引受ノ下ニ、追々ト市価ノ
カル分ハ会ノ主ニトシテ特別ノ手続ヲ以テ新株ハ一
切引受ケルコトニ決シ市ニ於テ売買スルコトヲ禁ス
奇兵隊ノ相ヲ招メ内閣一切ノ組織ニ関シ意ヲ授ク
四時半帰宅
午前十時半ヨリ社ニ出ス 廿六日ヨリ廿八日ニ至リ会社ニ於テ
重役会ヲ開キ 青木前根木川谷出ノ四人ヲ
金山ニ派シ全ク社務ニ関スル一切ヲ視察セシメタリ

（鉛筆消し）

（七和田）

天氣 晴 寒暖 晴 記事

社會の全日

岡田海軍大臣ノ組閣ノ大命下ル

本日モ亦曇天ニ候ヒ 午前十一時半社ニ
午前二時半大村利三郎来社 挨拶ノ為ニ ヲ置ク 廿三枚ヲ
真ニ組ヲ拝ス
土居貞次氏来訪 金五百圓ヲ賠償ス
前ノ前根社長逝去ニ付 退職ノ挨拶ニ来ル 氏ハ前
根在勤三十五年ノ功労 寸志ヲ呈シ 在リ社長ト
談会昨夜ヨリ正午社長ノ為ニ午餐ヲ御馳走ス
ル事トス
橋本周雪氏ニ墨蹟集ニ題ノ揮毫ヲ依頼ス
郵便振替ニ為上京ノ日取リヲ問合ス
四時半退社
岡田大臣ニ組閣ノ大命下ル 大隈ノ推薦ニ今朝十時西園
寺公ノ召集ニ応ジ宮中ニ会談ノ席ニテ奇兵隊ノ相ヲ
引キ受ケタリト称ス

（鉛筆消し）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

暑を衝し九十名以上と云ふ盛況なり

午前十一時半社長正午鳥居坂邸に赴き元高知社長追悼の辞を述べ次で其席を以て三井新聞部より社員一名斗時退去す

午後二時半倶楽部に於て常務会を開き三井新聞部より社員一名斗時退去す

倶楽部より社長午餐に招かれ三井新聞部より社員一名斗時退去す

池田成彬氏を訪ひ会社の件に関し懇談す

午後三時半会社に帰り直ちに重役会を開き諸般の件を協議す

午後四時半鳥居坂邸に赴き故人の霊前に焼香す

午後五時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後六時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後七時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後八時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後九時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後十時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後十一時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後十二時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後一時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後二時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後三時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議す

午後四時半会社に帰り重役会を開き諸般の件を協議

天氣 晴縣廳
陸軍
海軍
發信
着信

午前十一時ヶ社例ノ持病発リカ発ノ為メケト庭レニ在長室会議ニ列ス滿洲政府財務部ノ田中氏ノ来訪ヲ訴ル

午后上官夏伯氏来訪

三条弁者ヨ会長ノ見公式今夕北海道出張ノ告

四時半退出井泉出発ノ小松旅館ニ訪問タ刻ニ下衍ハ歸心滞留雷鳴アリ

天氣 晴
陸軍
海軍
發信
着信

八日会
幹事、御地出
未賓若槻氏改依
戒

新内閣
組織岡田海軍大将
内閣後令之大、蔵相
床次、農林山崎達相
鉄相内田信也
商相町田、文相松田、
逓相小泉、外相廣田弘毅
拓相永井柳太郎

午后三時半壽美子志祥来、午五時半帰宅

山口ニ於ケル八日会ニ臨ム会員中ニ島藤山両氏ヲ除ク外未賓若槻氏ヨリ電報会後来ル旨ノ通知アリ

(1) 今日迄（ワレントン会議以来一ヶ月海軍トシテ当テハマリキー氏トシテ

(2) 倫敦会議ノ為メ主力艦ニ上メタリ

(1) 主力艦補助艦共五五、三ノ保持シ三十六年ヨリ及ビ今回ノ分トハ已ニ主力艦ヲ廃棄ハリキー近海メテ当三十六年ノ四リレバ条約ノ脱退ニ及ビタリトノ説明アリ

(2) 倫敦会議ノ為メ主力艦ニ上メタリ

潜行艦七万五千七割以上

潜行艦ニ付テハ三十五年近ハ七割以上

モノトシテ其得失ヲ考慮シテ条約帰朝

十時半帰宅

午后三時半壽美子志祥来、午五時半帰宅

山口ニ於ケル八日会ニ臨ム会員中ニ島藤山両氏ヲ除ク外未賓若槻氏ヨリ電報会後来ル旨ノ通知アリ

197 ロヂンヌ協賛議定協立調印の支協十三協立調印の支協十三協立調印の支協十三

天候 晴 暑 晴雨 晴

午前十一時廿分出社 正午工業倶楽部ニ到ル 取引所制度改善ニ関スル研究会ニ臨ム 午後一時散会後 帰宅 食後銭木鳥吉氏来訪 大抵明日ノ件ニ関スル打合ヲ了シ 三時半帰社 四時半退社 夕刻工業会社役員ニ関スル旭ノ山田三次郎氏来訪 井上世外侯伝記編纂会ニ金壱千円送ル 寄附金五百円ヲ送ル 清水六兵衛氏ニ来訪 錦飾垂松門工花弘瀬章猶ニ中元百円ヲ夫々書面郵便ニテ送金ス 岡新作理事ニ宛テ祝意ヲ表スル礼状ヲ認メ 更ニ隣リノ町田周相ヲ訪ヒテ会社ニ面会ス 帰宅後 新大臣ニ祝電ヲ発ス 秘書久枡氏ヲ以テ名刺ヲ持参セシム 夕刻駅前ニ散歩ス 寿美ハ午後廿分前ニ帰宅セリ 鳥居坂ニ中元ノ挨拶ニ廻ル

天候 晴 暑 晴雨 晴

午前十一時出社ス 来客会議ニ列ス 須田春治氏ヨリ本店之部長減俸ヲ承諾セシ旨ヲ告ゲラル 午後四時半退社 松邸ニ到リ氏ヲ訪フ 会談前後約一時半 北日本信託会社ニ於テ社長ヲ訪フ 会談前後約一時半 帰宅 北日信託会社ヨリ本年六月ヨリ向フ一年間ノ会費百弐拾円ヲ金令ノ郵便貯金ノ口座ニ振込ム

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 雨 曇 暖 寒
陸記
船記
受信
発信

社会の今日

朝九時五十分望月圭介氏未訪政党ノ現状ヲ談ス
正午出社
午后山本氏ノ病ヲ慰問ス一年ヲ意ヒ付フモノナシ
公私時半退出光悦ノ会合ニ赴ク九時半帰宅雨降ル
氏日盛度八日中八十七八ヲ夜分八十四五ヲ
ヒ会中ヨリ居ルガ如シ若槻ヲ訪ヘズ降リノ小公園ニハ夜二時
ヲ過ギ市人モアラズ
橋本伴吾氏ヨリ本月中旬出京勝生ノ返事アリ 川時
清水久兵衛氏ヨリ来錦鈴並ニ金ヲ送ル旨ノ挨拶アリ

天候 曇 雨 暖 寒
陸記
船記
受信
発信

社会の今日

午后三時ヨリ秀和会
午后四時ヨリ葉煙会ニ列ス
午后四時ヨリ工業倶楽部ニ赴ク
午后六時ヨリ秀和会ニ赴ク
午后九時半帰宅

本日ハ稍暖キ方ニシテ十一時出社ス
社友ト望月氏未訪ノ事ヲ談ス
午后一時ヨリ為メ朴氏ヲ訪フ
午后四時工業倶楽部ニ赴ク
午后六時ヨリ秀和会ニ赴ク
六時退出新嘉坡ニ於ケル
会散後更ニ午会ヲ一勝一敗九時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

本日福慶六十八名寒サヲ冒シ出社
午前時半社長ヨリ社員一同ニ対シ
松村竜太郎氏来訪
重工業会社在来功労者ニ対スル職典ノ
件ニ付意見ヲ求メラレ
午時半退社帰宅
夜分下河津村役場ヨリ家屋税検定委
任状及生年月日問合セニ返事ス
夜ニ入リ寒サ一段ト厳シ

午前十一時半社々長室ニテ会議ヲ開キ重工業株式社員
割当数ヲ決定次デ電機会社ニ赴キ来春昇格ヲ
話ス
社長ト帰社後重工業会社ニ功労者退去現在ノ重役
会ヘ出席金ヲ決定之レヲ新設会社ニ付ス
午后社長ト帰社後満州政府(東銀行)ヘ預金ノ利息ヲ
下ケ件ハ会社ヨリ支店者ノ朝鮮銀行ヘ交渉ヲ
銀行ヨリ話アレバ考慮スル旨船田氏ヲ以テ田中満州
政府理財局長ヘ返事セシメルコトヽス
四時半退社帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 寒暖 気圧 湿度

起床 就寝 食事

午前一時半 獨り吉祥寺に到着トマト、茄子イタゞキ
豆トドノ葉ヲ積ミ七時半帰宅

天候 寒暖 気圧 湿度

起床 就寝 食事

病気ノ為

昨夜半刻時過ヨリ痛ミ増シ疼ク堪ヘ難シ朝八時ノ回診ヲ待チ正午迄ノ通リ迄治療ヲ受ケテ暫ク睡ル全快ヲ休ム
午前四時社長ヨリ仰治療人ヲ以テ送リテ外来ヲ官ケシメタルニ外出ニ逸キス夏歳ヲ及バス為今晩モ来診セラルヽトノ事ニ付夜八時再度ノ回ヲ待チテ治療ヲ受ク

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天晴 曇 温度

社會人名

夫婦荷ニ設室ニ至ル 于時ニ添ヒ来ル 持参ノ金ニテ

九時半頃ヨリ 松田町 [illegible]

受 發信 受信 發信

幸ニ温度低リ 暖ヲ易シ 朝八時ニ伺候 摩未ル 八田落

散カリシ為メ 動作安ブル 荷三十余ニテ 労ス ル 十二時近リ 迫

出摩ヲ告ケリ

三時ニ社 昆沙門天ノ木像ヲ 觀ル 非凡ノ出来ナリ (享保年)

四時半 松田中ニ 到リ 本日ハ 元日 会社室筏語ヲ 世ヤ合ヒリ

余ノ右筆ヲ 祝シ 昆沙門天ノ 尊像一軸ヲ 寄贈ヲ受リ 各々礼ヲ為メシト 松キタルカメナリ 久席六名 主客三十五名 大廣間ノ床ニハ 墨蹟ヲ掛ケラレ 下座ニ 舞台ヲ設ケ 開幕ト 公時ニ余ハ扶杖ヲ携ベ 開幕 軍器ノ像作ヲ 称ヘ 進ニテ 昆沙門天ヲ 拝望シタル 余ノ 松筒ヲ 校ヘ 歴ヲ タル 中ハ 満堅ニ 松ト ヲ ナシテ 事出ノ 代表会辞アリ 今春 住補ヲ 延ヒ 陰賜リタル 天盃ヲ 一献ニテ 其流レヲ 春ノ二字ヲ 川名ト 命名アリ 次テ 伯雀 ノ 謡曲 (忠孝武者ノ 仕合) 翻ヲ 代ノ 忠信 里人 ノ 舞ヒ 舞ヒ 終リ 持ヲ 松ヒ 付ケ 丁ト テ 幕下ノ 忠信 一段ト 見栄ヨリ 一堅感 業 [illegible] 来客ハ 別室ニ 開宴 [illegible] 伯ノ

天晴 曇 温度

社會人名

受 發信 受信 發信

温度六十八ヶ外委ヲ着テ 十二時出社

老塚勝六氏ヵ 友浦三郎氏ヶ 父藏刀 小倉然右衛門氏

盤之ヲ依頼ニヶル 処宗近ノ 鍛ハ 退メ難キニ 宗物初代

ノモノヲル 可レトノ 鑑定ヲ 与レタリトテ ヵ 友氏ニ 代リテ 之レ

ヲ持参ニ 余ニ 贈呈スヘレトモ 余之ヲ 辞シ 勿メテ 師賢

御傳来ノ 由緒 書ヲ 陰茶ハ 可レト 傳フ

室筏語ヲ 陰筏昨夜ノ 疾杖ヲ 見ニ

四時半 退出 [illegible] 来リ 六時半 帰宅

今朝九時ヨリ 十一時迄ニ 由氏ノ 治摩ヲ 受リ

素芙内田山ノ 息リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 気温 和 雑記

午前十一時ヨリ社ヲ共楽会後ニ臨ムヿヲ社吏ト対決室
工業高之助株利益処分ニ付社吏ノ意見ヲ聴取ス
須田春治氏山本氏ニ対シ当方ノ意ヲ意ニ対シ唐西悟
三巨ヲ斉賜ス
三橋信三氏ヨリ望月氏往訪ノ件報告アリ
午后四時退出帰宅
寿美八午后ヨリ内田山ヿ井上叔母ノ病床ヲ見舞六時
帰宅病状次第ニ而快方ニ
夜十時ノ田楽摩ノ席ヨリ帰ル頃小雨降ル
暑気盛返シ来ル
本日午后梱川氏来社掌ノ香入宅ニ而祝宴ヲ開ク趣ヲ
聞知ニテ及ス証書ヲ額四円ノ増加ヲ直ニ書面ニテ
申出津演説ヲ依頼ス発送セリトゾ

（朱）頼まるゝ少し間き所なり 忘却

明治廿六年六月九日 土曜 午後七時十分 七月二十日 《上弦 午後十時三十分》 雨 午後 雲 午後 雨 午後 雲 午後 雨 午後 雲 午後

川南日延べ

右一時半頃家仙発船
宗令未訪問ニ付電話
リタルモ不在ニ付名刺
差置ク旨ヲ返答ス

朝十時五分前社長未訪問昨日ノ如ク駅ニ町田氏ト会
見ノ為メ上町田氏係ニ来ル会談ノ要ハ外国人共同事
業ニ対シ実利得面ノ可否ニアリ商相会社其意見ヲ
聞カンガ為メ午前十一時半社長室会談ニ列シハル筈ナル処
応接ニ暇ナク次ノ
今朝梅本閣雪上京鳥居坂ヘ行ク旨ニテ
午前十時半ニ着午ノ
午前社長ヨリ室ニ
会ス時ニ秘書官ヨリ
同五時高島屋ニ美術商
夜同十二時ヨリ特ニ
表敬ノ為メ
ノミニテ

梅摩来ル

川南ヨリ来行

朝十時半昨夜電話ノ如ク集ニヨリ鳥居坂邸ニ赴
ク事田氏縁会ヨリ
業株ノ件ニ付
ズカ為銀行常務ヲ
午餐ノ御食ヲ
石三時少前ヨリ
トマトーヲ額ノ株集ス旅ニ
多量ノ二十貫余ノ収額ヲ積ミ八時迄帰宅
全九時ノ田村摩来ル山内寿美内田山ニ赴キ土
時半帰宅侯爵未亡人来訪次第ニ加ハル
少前ヨリ係ヲ来行サレタリトノ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

月 乙未 大暑 朝十時四十二分
甲戌 明治六年 七月 二十三日

天候 曇 寒暖 昨日ノ如シ

収信 変更

正彦送金、

午前十一時ヨリ社々長欠勤
正彦ヨリ銀行振替勘定ニテ金弐十圓ヲ一ヶ年間
家計費トシテ送金ス
午後一時ヨリ定例会ニ出席中来ル廿六日役会ヲ
ル事ニ決ス尚ホ会ニ金三拾圓ヲ中来ル廿六日
リ入高着代払込ム余ハ貯金ニ預ケ振込ム
今村真橋ヨリ服部兵次郎ノ西氏ヨリ室工業株ヲ
廉ニテ売渡ス事ヲ申ス
午後電報通信社ヨリ木下秀夫氏ヲ招キ室工業会
社株公開ノ意見ヲ申述ベ終到ニ対シ大ニ攻撃スル
処アリ
松村兼太郎氏来社四時退出帰宅ス
右五時過ヨリ定例会ニ出席ス
大小ヲ求メ(七百円)ヲ金ヲ受取ニ預リノ上ニ行ノ
返還スル事ヨリ(十五百円)ヲ相定ハ白鞘刺恒青江此次ノ大小
特ニ之レヲ特更ニ上メタリ

夜九時ヨリ同社会ニ出席ス

社會の今日 光永屋部氏富士山頂ヨリ電報アリ夕刻会社ニ達ス
室工業株公開ニ付テ来ル廿六日ヨリ株主会ヲ開ク事ニ決ス

社長城戸氏(警視局……)丸善出張補佐ヨリ(慶安四)室内決議ニ付キ、関係ヨリ反対ノ意見ナキヲ(明治七)

月 乙未 大暑 朝十時四十二分
甲戌 明治六年 七月 二十四日

天候 晴ノ雨 寒暖 昨日ノ如シ

収信 変更

午前十一時ヨリ社々長室会議ニ出ル
午後一時ヨリ店員休ム
立春ヨリ八ヶ室工業株
永原船田ヨリ西氏ヨリ
村中来ル説明アリ余ハ
命ヲ主張ニ従ヒ
此朝海軍中将陸氏訪問ノ際余ハ
中未知ノ仁ニテアリ
ヲ甚ダ(中略)室工業ニ取掛ヒヨリ
処来ル廿六日ノ役会ニ
トナリ費用ヲ要スル
本人ノ固辞ノ為メナルガ
世将平氏出精ヒ
夜九時帰ル

永原船田ヨリ室工業株ヲ売ル事ヲ申ス
三菱商事ニ昨年ヨリ南シ
主義トシテ八分ヲ売ル
一案ハ陸氏訪問ノ際余ハ
面会ヲ断リ社後其人
室工業ニ取掛ヒヨリ
来ル廿六日役ヨリ
ヲ以テ相談ニ
和後注意ヲ要ス
丹田山ニ赴ク

北橋古賀(慶応三八)役会ニ出席ス(明治)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 曇 雨 雪

社會の出來事

朝社長より銀行重役会ヲ本店ニ於テ開クニ付出席セヨトノ電話アリ十時出社面会ノ筈ニ候ヘドモ重工業株ノ件ニ付キ十一時半迄ニ帰社スベキ旨ヲ申シ置キ直ニ銀行ニ赴キ重役会ニ列ス各重役ノ出席ヲ待チ兼ネシ一時帰社

来客通信後援会幹部会五百圓ヲ三菱銀行ヨリ受ケ振込ム

白三時半退出帰宅

寿美歯科医ガ来リ共ニ昼食ヲ認メタル時ノ由来ル

公時美介来リ帰来訪十二時辞去雨降リ来ル

此日三菱銀行ヨリ前借金五百圓申込ノ処決裁ニ付キ重役会ニ出席ノ為メ欠席ス

人生れて天才の恵まるる勿れ、カーライル曰

（七和昭）大仲相人死ス（天平三）由井正雪自害ス（慶安四）大石ノ檄ノ激烈（明治七）高知郵便局ヲ襲撃ス（明治十）開拓使官有物払下ケ問題起ル

晴 曇 雨 雪

社會の出來事

出勤面除ニ少トリ例ノ動悸アリ着更ヲ見合セ十時半ニ到リテ出社此間寿美ハ九時ノ日本歯科医ヘ出掛キガ友枝社長ノ治療ヲ受リ十二時四十五分出社三菱川商事会社ハ土曜半休ノ件ニ付ヘマヲヤリタリ副社長ノカキタクダクナリ社長ハ明日ヨリ着キ休養ノ筈

四時退出帰宅寿美ハ午後大柴病院ヘ迎キ松井医士ヨリ注射ヲ受ケタリ

夜十時ニ床ニ就ク

（参照）夜水ニ入ル時間ヲ知ラセル 鈴九郎

（七和昭）家屋建築制限ヲ緩和ス（文禄一八）家屋取壊禁止ヲ解除ス（明治九）蒸気船運航開始（明治十）蒸気船運航ヲ許可ス（昭和七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝九時市来て六氏来訪三重株斗千株斜施仮
頼ヒ辞ル
余ニ新徒(一両度有刑事句長)箱坂三郎(陪席中川
陳殿(名刺ヲ)ノ両氏来訪面会ノ余裕ナキヲ以テ断リ明
日一時ヨリ料時間ヲ会見ヲ約ス
十一時半七社馬渕鉄太郎氏ノ紹介ニテ横田
来訪午両氏ノ一面ハ為メ斗千万株半支ケタルトノコトニ
水振港スルント命ス
十二時廿分工業倶楽部ニ赴キ日本経済聯盟主
催者ノ晩餐ニ陪ス米大使館ノ参事官ノ外長
崎ヨリ来リシ者ノ大便ノ為メ斗時近ク直ニ辞
船会社ノ重役会ニ列シ三時近ク池ノ端ノ自宅ニ
帰ル八時ニ帰ル
常盤座ノ通井正吉氏(麻布西殿町九)ヨリ残花ヲ
贈ラル

天候晴ル西後ス温度八十ヲ十一時出社ニ長室会議
ニ列ス
金田中ニ松ケ岡日ノ本神社ノ費千八百七拾七円拾
銭ヲ支払ニ外ニ小野ニ骨折料百円ヲ贈ル筈ヲ
右斗時半ヨリ馬渕氏邸ニ於ケル会ニ出席ス
箱坂両氏ノ代理トシテ来ル郵便ハ日ニ通リ但
シ三菱ノ重工業株ハ千株ニ百株トテモ苦シカラ
トノコトニ付テハ応援セシメントノ断ヲ
社長ヨリ右神社トシテ真村先生ニ前七十九歳(昭和
五年一木喜徳郎春日局ヲ贈ル筈
西時近ク池袋ニ椅本康世ト行ク
鴎ト母ヲ有ス後不在
夜九時半ノ両車ニテ帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨日

社會の今日

發信 受信

盛暑ニ立帰リ正午九十一ゐ上ル朝八時橋本病院ニ
氏ヲ訪ヒ昨日往訪ノ疾杉ニ未ル鳥居坂猪俣邸ノ杉ヲ仕立テ本日退院ノ事ナリヤ
午前十時四十五分鳥居坂着午餐ニ昨日祝杯ヲ賜ヒシ疾杉ニ母キ名刺ヲ通ジテ直ニ内田山侯爵未亡人ノ病床ヲ見舞フ福田吉本両博士、井上三郎氏夫妻仔次阿通紅川等アリ、松平恭二郎等其席ニアリ余ハ久幸流千一案内ニテ未亡人ノ病床ニ至ルスヤスヤト眠リ居ラレタリ本日熱ハ下リタルモ衰弱ハカハリトノコトリ十二時帰宅
白斗時田邸ニ到ル未訪
今三時ヨリ祥宇ニ到リ泰美公逝キリヲ量ノ収穫ヲ論ジ帰ニテハ時帰宅寿美、お稀祝ノ前ナル料其他高島屋ニ可支拂ヒ
九ヶ三百円ヲ到ル夜ス

（次頁）　（次頁）

社會の今日

發信 受信

天候 曇 寒暖 昨日

九州ノ返電会社係合

後々梅雨模様ニテ十一時出社ヲ長半田、新渡、永楽船田ノ各ヲ召集シテ重工業株ノ事ヲ傳ヘテレヤ台湾時銀行ニ母キ事ヲ合様ノ事ヲ傳ヘラレタル筈ナリ
午后三ヶ会議ニ会ヒリ会社重役会ヲ了後ヨリ湾ヲ設ケラルヘキアルニツキ会社ノ件ニ付懇談中夕カオ海岸用地ノ買収取扱メハ自分ノ意志ヲ表スルモノニテ短ニ意ヲ伴ヒタルヲ朝迄ニ決ル事ヲ長シ置リ
鳥居坂着（往復）雨雲枚ノ（鴨下）斉（満豆ノ出未ダ出ル前ナリ
四時退出帰宅神楽坂前迄ヲ乗ル
飯島氏新住居ヲ祝ス
杉ヲ未ル
内田山ヲ見舞フ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

雨

後々益度下ル十一時ヨリ社会主義ニ関シ午后一時半ヨリ鳥居坂邸ニ至リ雨雲輝亀ノ松ヲ観ル筆カ健剛 横図ノ竹共ニ賞スルニ足ル社友ハ余及ビ寧ニ相談シ程筆料六十圓ヲ贈ルコトトナリ社長ト会葉帰社ス

午后一時福井来ル

寒さ去リ三四年来大ニ仆友座兵衛氏ヨリ仔犬ヲ貰ヒ何ヤラ可ニ倦形成立明午四時迄ニ来ル旨報アリ

四時退出帰途九ビルニ立寄リ新ク主催ノ東御大師展ヲ観其傑作ニ感ジ帰宅寿笑ノ書幅ヲ掛ケ数多キ客ヲ迎フ

五時半帰宅寿笑ノ井上侯爵未亡人ノ宴侍ヲヲキ四時迄ニ内田山ヽ斗キ分郎ヨリ宿泊ノコトトナリ

寿笑カ令嬢カ友校ヨリ来リ補修改善ヲ止ス午后帝大医科ヨリ船井助手ヲ来リ注射ヲ実ヲタリ内田山ノ悪報ヲヌキタルヤ貴方病ヲ来リテ

クランツ・ラスト死す（一八八六） 文正所設社会法公布（大正九）



葉月・秋風月 陽来月

立秋 八日（後三時 四分）

処暑 廿四日（前五時三十二分）

曜	七月						
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

○下弦 二日 ●新月 十日
○上弦 十八日 ○満月 廿五日

避暑地の海

風いだ海には貝殻のやうなヨットが浮んでゐる。高い櫓から落ちるダイビングの美しいフォームへ、土用の温い海水は水に親しむ人々のすべてを浴場のやうに歓容する。釣つくり沙上には花のごとく並ぶビーチパラソル、美しい人魚の群のなかからポータブルのレコードも響いてくる。海の家もいつも満員、パラックの珈琲店も眠につてゐる。夜風の涼しい海岸のベビーゴルフに興じる人、浴衣かけで見る花相撲、野天の納涼会の手踊、都人の足を停める海水浴場の草蔭にも早や蟲の聲をきくのである。

季寄

時候 初秋、秋の候、秋風、残暑、秋涼、初風、花火、銀漢、松風、花野、秋の蝶、秋の雲、秋の暮、下り鮎、秋の鮭、松蝉、秋晴、〔花火〕蘭、風鈴、女郎花、芒、薄、月見草、夏痩、野菊、萩、美女櫻、桔梗、向日葵、松虫草、百日紅、鶏頭、アスター、ヘリオトロープ、トリトマ、〔鳥兜〕、鶏頭、蘭、鰹、鱚、鱸、鮎、紫蘇、茗荷子、新甘藷、枝豆、瓜、刀豆、南瓜、冬瓜、菊。

遊楽 風雨に弱た入れつつの散歩、夜店に珍書を掘り出し、高山植物をあさる峰歩き。一の月雅遊の一として、上野不忍池の蓮の開くを待つ暁詣、北台に大輪菊盆栽を見るなど夏の朝の楽しみである。涼しく、北嶺、六甲、箱根、和歌の浦等海に果て避けるのも良いが、浅間山麓千ヶ滝の高原に行れば、朝夕既に秋た思はせる涼しさだ。高山に緑を追れ、野に秋蝶、女郎花を賞で、天地悠々爽に山中旅日なしの感深い。

趣味 園芸ニ、三月後の蒔付、四国遍路、伊豆大島、小笠原、内外海、北・木戸大洋、朝鮮半島、筑波山。

海の旅 十和田湖、日本海。

湖の旅 青森及び函館港内、富岡、北海道、樺太。

海外の旅 〔日本月〕門港検疫船海行きう〇土用後六旬調査及び〔日本月〕門港検疫船業者検防〇下旬暴風襲呼吸了

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

昨夜来泊ノ貞子夫人ハ 今朝辞去逗立前 弐ト井上侯爵邸ニ参アレル 筈ヨリ

十二時日本橋ニテ 弁キカ方院長ヨリ下鎖ニ依ヨリ作リテ 軟メタル 余リ見合ヒ ニカニス 三十分斗リ上ニ神経

午后七時寿美ト共ニ 内田山ニ弁キ 納棺ヲ 悼ム 偏依ノ 如ク 帰宅 寿美ハ 依然リテ 両夜ストリテ其ノ 後ハ 依入寿美ガ 病気ニテ 拝シテ 叔母ノ 看護 慈向ニ 親類メタル 親類其他ノ 依リ如ク モ井上家ノ 如ク 吉ヨリ 余ハ 感謝ノ 挨拶ヲ 為ス 寿美ハ 疲労ヲ 感ジ 早ク 其儘 就寝ス

北日ヨリ 夏ヲ 取リ 本格ニ 入リタルカニ

午前 梅雨来ル

天候 晴

午前十時ヨリ 親族間ノ 法事 依リテ 寿美ト 井上貞子 三人会葬内田山 本邸ニ 弁リ 寿美貞子ハ 通夜ヨリ 今晩 九時半帰宅 弁時間 眠リタル 已

午后十一時頃ヨリ 午后弁時ヨリ 一般ノ 告別式ト 移リテ 氏 両公共ニ 上リ 八束庵其他ヲ 見廻リタリ

告別式ニ 来会セル 仁八拘ラ 名住ト 官民工 渋谷ニ 外交官、夫人トシテ 生徒ノ 名残リ 三時十分発ル 余ハ 重工業 株ノ 件ニ 付 会社ニ テ 余ハ 社ヲ 待ツアルヲ 以テ 去ル 会社ニ 出頭 串田、船田、永森三氏ト 懇談ノ上 明日ニ 共ニ 午前十 串田、永森、船田 三氏ヲ 煩ハシテ 共ノ 間 暇ヲ 乞ヒ 社長ノ 面会ヲ 依カスコトス

五時半帰宅 寿美ハ 已ニ 帰リ居リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

壽美代夏子ハ午下伏野番室ヘ習字ニ五合ノ為メ十時
長谷寺ノ巷ヘ出ヨリ十二時歸宅
午後一時半井上連立部氏未訪 夏子ハ夫ト共ニ親戚
ヘ招待ニ出掛ケ
右三時壽美ト共ニ吉祥寺ヘ詣リ未ダ歸宅セズ
一部ヲ載セテ歸宅 午時六時四時半
ヨリ五時迄近所御禮ニ廻ル 四大騒動ナリ
久喜熊川、近友家ヘ立寄リ 壽美ハ
屋ノ間ニ茶菓ニ 井上連立部夫婦及園子刺子ノ四人
ヲ招待 十時半迄歸宅 氏ハ戸田松摩ノ治療
ヲ受ケリ

本日ハ午前十度ニ起キ 朝九時鳥居松郵ヨリ社
長ノ書面ヲ持參ス来ル
九時半永泉氏ヨリ 北日芳湖別邸ニテ 懇談ノ件
ニ付報告アリ
十一時日本宮料亭ヨリ入電ノ件ニ付 茂吉ヨリ入電ノ件
ニテ午後二時半ニ社
ヘ參ル 後永泉 串田後ヒテカ友 武田(宇田氏全
ヨリ)話ヨリ社ヘト帰リ 結果ヲ報告スル事ニ 五株
ニ引下ケ報告ス 酬金ヲ社ニテルルトノ事
其報告ニ付書面ヲ以テ 一株ニ新ク社ヘ報告スルト
ス

副社長今晩出發小岩井ニ向ケリ 北海道ヘ出發
四時迄ニ途次飛驒ニ六時歸宅 壽美子母ニ付合ヨリ
案内ニ有ス 依ハ鐘紡松山ノ件ニテ実印ト通帳ニ捺
リ来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天晴

午前十一時ヨリ社ニ重工業株割当標準ヲ決ス
午后一時半松村義太郎来訪
クライスラー、エアーフロー八気筒自動車ノ案成ヲ待ツ
三菱重工業割当ニ付テノ宣告文ヲ修正ス
全時ニ社内ノ割当標準ヲ仮定シ理事会ニ諮ルコトトス
午后四時退出将棋ノ六気筒三千四百円クライスラーノ案成ヲ待ツ
九日端田庄ノ中村房次郎氏ヨリ返輪来ル書状無礼ヨリ其後相田氏ヲ介シテ三菱川合長ニ談ス
那七日伊夜ヶ寿美ニ泊ス
内田山ニ到キ十一時帰宅ス

天曇

朝七時半起床
洗面ヲ終リ帰レバ例ノ動作ヲ終ヘ
ヒキ川原ニ行ク
八時夫村利之助来訪
一時間余談ス
面会ヲ断リ散歩ス
北岡寿美ハ昨日ト共ニ井上和田ノ両氏ヲ訪ヒ
十一時帰宅
午后二時ヨリ社ニ出デ
寺校ヲ休憩ス
半田氏ヨリ芝田邸氏ニ行ク
午后六時ヨリ相談会ヲ開キ
件ニ付協議ス
置

松田利一郎来訪
銭、三谷、針業会社ヨリ
陳情ニ付
一賀三谷氏ニ依頼ス
山本宗文氏ヨリ
半田会長ニ依頼ス
小板幸助ノ頃日ノ動作ニ付
不満ノ陳情アリ
四時帰宅
夜分書面ヲ認メ重工業株割当ノ大要ヲ二箱ニ記ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 雲

午前十一時半出社

午后一時半出社 本人ヽ注意ヲ怠リ 又ハ

重工業株式会社 利得金公共事業ニ支出 附言明書ニ依リ

訂正ヲ求ムル船田氏ノ依頼 面会

三時半辰出 先ビルニ立寄リ帰宅 秋田

塗装店(山内一久商ホコタイ茶番入(松 円五十銭)ヲ購入

明日箱根ヘ避暑ニ行キ番台 机上ノ片付ケヲ

為メ掃除ヲ為ス婦ノ安奈ヲ 午后帰社

ス 会社ヲ退出ス

(後の秋) 朱を入れて誤り訂正の秋 親筆

天氣 晴

社會の今日

受信 發信

箱根別荘ニ

午後一時廿五分中央驛発静矢真一ト会同 箱根ヘ向ヲ

料理長太文四郎ハ二番汽車 女中、ヒト、律ヤ二人

ハ十分五十分ノ汽車ニテ先登ス

三時八分小田原着自動車ニテ四時廿分頃 強雨別

邸ニ入ル冷気ヲ感ス山风強ク 喜太郎来

驛迄ヲ迎ヒニ来ル一山家モ风吹キ

ヲサマリ木葉ヲ払ヲ

主秋ノ汁ヲ喫シ 沈川夏ニ

モトヲ去ラル(主牧八日)

風合のゆふべもすぎて久方の
天の河原は月ぞうつりける 土田鉄平

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 雨
感想

前日来瓜流し終日ニ献右ニ午后一時迄灌腸三時快便アリ

午前（十二日晴ヤ）

午后今ノ箱根町ノ流燈会ヲ見ント欲スルモ降雨ノ為メ中止ス

夜下ノ村ニ別邸ハ仙姥楼ノ上階上座休憩別荘ノ上手ニアリ茅葺ノ殿ヲ有シ川ヨリ冬ニ変シテ濃州ノ別荘ノ如シ庭園全様ヲ自動車ニテ五町ヲ走行

夜分三時ニ就寝未ダ明ケ離ラズ

（打水）打水にぬれたる跡のほのぐらく

南山

天氣 晴
感想

漸ク午後ノ晴天ヲ得テ午后五時ヨリ富士屋ノ自動車（三年式ハドソン運転手小山清治）ニテ蘆ノ湖畔ニ出ル

石原ニ遊ビ温泉工場ノ新ニ開ケ地ヲ見ル道路工作ハ総ベテ整ニ新規ノ別荘ヲ見ル一見頗ル瓜売ノ如シ

噴ベラクハ樹木ノ伐採ヲ瓜而ヲ要ス

深ク蘆ノ湖ヲ眺望シテハ箱根町ニ通ズル四人乗ノ湖水ヲ往復スルモーターボート一隻ヲ備ヘ（六圓）夢ノ如シ

湖ヲ横断シ中途ニ於テ遥カニ振リ返リ視ル天気ノ都合ニテ今回始メテ明瞭ニ視ル事ヲ得タリ

午后六時ニ蘆ノ湖畔ニ着ス蛇蝎色、直立シテ化石ノ如シ

今代ノ太古ヲ水底ニ入ルヲ見テ浩々トシテ限リナキ感ヲ発ス

湖中ニ濃霧立ヲ鎖シテ一見宏漠大海ノ如シ箱根町ニ上陸全所ニ於テ撮影ヲ為シ再ビ自動車ニ乗リ南所伯爵ヲ経テ権現坂ヲ通ジ駒ケ嶽ニ至ル

駒ケ嶽ニ至ル疾走五十分ニテ行ノ途ヲ転ジテ帰荘

夜中雷雨七八人ヲ来伏見宮大妃殿下ノ事ニ関連シタリ

233　来園景物の観覧料を（一八三〇）　園内を宮殿に借ク（明治八）　病院下婦婦婦

夕刻ケーブルにて壽美夏子全道早雲山麓に登り途中分院に於て山猿に宿泊の筈なりしが猿の新生児を見んと欲し主婦狂喜主人は元猫羅紋の客引に助ヨリ身を売らんとて淫羅公園下麺麦屋の主人ヨリ今夜一晩にて三階二十五畳夜客百名ヲ収容スルノ大座敷ト主人トリ名ニ寄ノ道ニ二十八仔有豊一氏ノ妻壽児ニ会合シタリ目下院内ニ宿泊スル者約百三十名一泊ヲ園ノ真如金ヲ払ヒテ堂内清涼軒篇ノ避暑地タリ夏冬ヲ通信者ノ群集スルモ宜ヨリ壽美別庵ニ片桐亮元ノ訪フ不在ヨリ新橋昔ノ売妓松壽ノ許ニ来ニシハ其元ハ元名古屋ノ娼妓新橋ニテ一番ノ売妓若狭ヨリ松壽勝利ヲ其ヒ入リントス彼レガ親等ヲ主人ヨリテ強淫救ヲ証言シタル者ノ如ク処ナルモ一福妻葉ノ頭草御清ノ一郎氏ノ妻ニ於ヨリ松壽ヨリ依メラレタリ

高洗ひ越へし川原に月出でて
恥かそめけり月見草の花　石川初子

晴 寒暖 記事

無為

朝七時より晩おそく迄日々苦かーおやすみの三ばかり位楽ものう多きも座敷ヒマ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴天

備考

發信 受信

社會の合日

最上ノ天氣ヨリ午時社長ヲ始メ湖畔見周ノ庄ヲ前同ク滿山ノ紅葉ヲ賞シ
隔午十七年トシテ例ノ高城寺蕎麦ヲ八人分ヲ松田製茶場ニテ入レ壽美ヨリハ大人ニ八見世箱入合鏡ニ湯本人形ヲ贈リ社長ヨリ久田家庭ニ於テ午前七ヶ年前ヨリ蕎麦ヲ製シ之ヲ夜ト用ヒ後三時頃御為替人五圓ヲ京都ヨリ來リ居リ松ノ井ノ祝ヒヲ會セリ

社長ヨリ茶室ヲ近キ「ドオダン」ノ紙ニテ鳥ノ栞ヲ數ハラル二三日前維島ニ栞ヲ五十枚ヲ印刷シ置キタリ

五時半過ニ庄ヲ歸路小福寺ニ河庄ニ本田能雄氏ヨリ招ヲ受ケ歸庄ス山本甲兵衛ヨリ再登山ノ招ヲ受ケ物來ノ茶附金百圓ヲ依頼シ六時ニ歸庄自動車ニ貸松ニ圓（チップ一円）ヲ支拂ヲ壽美ハ留守中貴方ト湯本ヨリ玉垂シ歸ヲ待ツ全部ニテ仔友撰精松ノ一枝ニ題ス

（欄外）
（貼付）
（貼付）

天氣 晴転雨

備考

發信 受信

社會の合日

朝来晴好ノ晴天大ニ午堅ニ大ニ無事ニ行ハル午ノ後朝ヒ処一時半ヨリ驟雨雷鳴夕ヌノ気味ヨリ英照二時ヨリ公園玄関ヨリ撤去ヲ通リ敢行セラレタリ夕刻ノ堅ニ而上リトナリテ首尾能執行セラレタリ

正午ノ頃荘素彦山北工場ヨリ父ノ使トシテ鮮魚数十庄ヲ持参ス内十三庄ヲ康弥君別邸ニ五庄ヲ島村金次郎氏夫人ニ贈リ残リ六庄ヲ翌ニシ一時半辞去

（欄外）
（貼付）
（貼付）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 昨日ニ同シ

社會の今日

朝十時廿分別荘発富士屋小山清治様殺ノ自動車ハドソン二乗一行四人芦ノ湖ヲ歴テ箱根山麓ヨリ自動車ニ乗用道路ヨリ三島迄海岸道ヲ右折軽井沢ヲ廻過シテ大場ニテ大仁ヲ経テ十一時廿分修善寺驛ニ着弁当ヲ喫シ修善寺ヨリ迎ヒニ来リ居タル御料馬車ニテ中ドーカ峠ヲ越ヘテ三時半ノ別荘ニ入ル修善寺ノ名物一時間ノ余分ニ費セリ富士屋ヨリ来ル二十世半弐ハドソン八支那ヨリ来ルモノニ一周ノ次第ニ改良セラレタルモノニシテ乗心前者ニ勝レリ又ハ内席ノ四方ヨリ新鮮ノ空気ヲ吸入スルヲ得ル等ノ点ニ於テモ大ニ感アリ

（朝）大草を刈り調荒たけり 月 作

フレデリック大王誕辰（一七一二） 照山薯蕷を掘る（四鐵元） 午後東京市へ移る（大正一一）

天氣 晴 寒暖 昨日ニ同シ

社會の今日

余ハ午前ヨリ此間毒矣ハ負下律ヲ伴ヒ今井濱ニ遊ビ帰リ来リテ梓夫ト弁当ノ負物ヲ調リ返テ興レアヘリ

（上弦 午後一時三十三分）

「トレヴシン」ホルンブルヒ氏ノ人ノ講話ニ聞ケタリ 雨 所

芳香木蘭（蘭科三） 七草長州に落つ（文久三） 日本銀行第三次利下げ（昭和七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 検印 検印

夏子い午后一時半伯父ノ車ニテ単独帰途ニ就リ夕
六時已ニ伴天町ニ至リ安着ノ報アリ 父人明夕迄ニ京
ノ筈ナリ

天候 晴 検印 検印

[illegible] 昨夜や山雨悲しく夕やくる 芝 美

此夕十一夜の月ハ澄て故々トシテ白日ノ如シ晩餐夫伸
実老、牧太郎氏人会直田中部落ヨリ旧県道ニ出テ城
山ノ下ニテ引返シテ木ノ宮ヲ経テ帰宅ス 京瓜様ノ
味テ快ニフ 〆〆ラス
大杉の梢にかゝる弓張の月影安き庭の池水
月たゞ冬を秋あるをそ夜も更けて秋来ぬ
山荒ぬ
軒ちかき城出初し夜とあかり一て月夜と森おる
朗の原一も

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

日盛りの暑さ殊さら立ちまさる木陰を求めて
山の麓凡
七夕後夫婦打連れ牧太郎を供に三根橋より半途迄
散歩す 月代白し 金中玉峯 秘主人に会ふ 今井ノ
滝と沿ひて往年より古城趾城山は景山某の居城なりしを
相撲スル天山鏡山ノ敵に攻落されし城趾と今尚焼米を発
見スルト云ヒ伝ヘリ 時代相半ば共戦闘ヘタキモノナリ

景山は蔭山と同じく大日本人名辞書蔭山貞廣の項に
御書院番士 足利将氏ノ七男廣氏 三歳ノ時乳母と雁ヒテ伊
豆国に赴ク外縁ヨリ蔭山氏ノ許ニ養ヒ後備トナリテ其家
ヲ継ギ貞廣ハ六世ノ孫ニシテ氏廣ノ十母ハ北条治部大輔
氏隆ノ女仲ハ家康ニ仕ヘタル お葛の方ニテ後川越ノ城
主リ家康ニ仕ヘ御小姓ヲ勤メ武州児玉郡内ニ采地千石ヲ賜ハリ
百ヵ村ヲ知行セシ由 慶長年中共ニ没セリ 代々従五位下因幡守ニ叙任スル

天候 半曇

朝顔咲ク
打続キ日照ラヌ為メ草も木も皆
さだまらず 午後ノ一雨ヲ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寒暑 雨 雲 風 晴

記事

前夜半ヨリ 度々驟雨アレド 蒸熱シ 夕方迄晴曇常ナレド 朝九時半河津渡 黒田重兵衛成来訪 伊豆節二十番本ヲ贈ラル 未刻 郵便ハ湯ヶ野附近 金剣峠ヲ越エ 七十五粁取調ヘ依頼ノ件ヤリ 針二個ヲ送ラル 廿ニ日ノ消印ニテ牛瀬ノ刺文職人ハ半日休トスル処ヨリ 廿四日ノ月ヲ夜半迄ニ書ヤリ 保甚シイ 外ニ為ノ雨ニ寒冷乃至ヤリ 保ラヌ四床ニ 風前艾おし

保共ーキ夜トモノ 春ノ女ハ廿ケ又ぎた 黒雲佳ノ月ヲ加ヘル

いつの日の恋と知らずつながれて 雲間の花を眺めてゐる友 隅田協吉

寒暑 雨 雲 風 晴

記事

朝小雨降ル 本日ハ壽美ノ誕生日ナリ 赤飯ヲ炊テ之ヲ祝シタルノ外特別ノ祠ナシ 職人ハ名（牧太郎ヲ加フ）ニテ酒牛五圓ヲ買ヒ夜半後雲霧シ 望月皎々タリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇 寒暖 ほゞ前日と同じ

収信 発信

朝三好、船田両氏来る。返書を認メ十一時村上、河津両氏帰る。郵便物と村外せしが三時発送の筈に合ワず為メなり

薄曇り十六日の月時々顔を表はす

昨年より移植しおきし庭の百日紅小木花盛りを愛す

百日紅と紅ありと薄りなにをおもひ起す

杉星子

自宅より庄佃迄三反余（牧音羊より）今井源行、熱海夏子（送り）廿五回ヲ天松ノ

八ケ嶽の裾野に富士嶺のさやかなからに見いだなけり　島田幸三

天候 晴 寒暖 ほゞ前日と同じ

収信 発信

社會の一日

上々天気炎熱焼りが如し宛も土佐の夏の著すゝ酷似ス

午後空気乾燥セルト風ノ吹レヽ為若熱ヲ覚エズ

十石山時玉峯翁主人来訪

夜分月朗ニ星斗爛々タリ池辺ニ椅子ヲ据ヘ春美夫妻叔太郎夫ヲ仰キテ之レヲ賞スレ十一時近庭内ニ入ラズ

〔納涼〕門納涼刻の団欒なくしなや　京　村

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

高知 晴
秋田 晴

午前一時廿五分宰相官邸発仮装自動車ニテ貴衆両院議長ト共ニ熱海ニ向ヒ四時全所着四時廿五分ノ予定ニ対シ六時分未ダ静岡着ニ過ギズ 新橋ヨリ一行ハ特別急行列車ニ乗車シ静岡ニ於テ自動車ニ乗換エ熱海ニ向ヒタリ

午前十時半出社

午后一時半ヨリ自動車株式会社ヲ開キ新旧ノ役員ヲ選挙ス

晴

午前九時小林茂ヲ招キ本人給料外ノ別荘経費
免ニ百七拾圓ヲ午支仝時小坂ノ給料ヲ支払フ
仝十一時半出社
午后重工業ノ奈取伴彼ヲ招キ軍艦三隈ノ望遠鏡
拝借ニ付軍艦支入ノ係ノ件ニ付外ス処アリ
三時半退出帰宅
夜分仲害生ノ為金ヲ支払ヒ外ニ月末支払用トシテ
金千百円ヲ井ニ午後ス
夜半ニ及ビテ雨降ル

晴

午前九時半出社
午后重工業ノ奈取伴彼ヲ招キ軍艦三隈ノ望遠鏡
拝借ニ付軍艦支入ノ係ノ件ニ付外ス処アリ
三時半退出帰宅
夜分仲害生ノ為金ヲ支払ヒ外ニ月末支払用トシテ
金千百円ヲ井ニ午後ス
夜半ニ及ビテ雨降ル

昨夜半より雨冷気次第に加わり華氏六十七度に下れ
ト袷羽織ヲ着ル



長月・木染月
紅葉月

花野路の尾長く遊ぶ　かな　秋芳

二百十日　八月三十一日（後五時三十六分）
二百廿日　九月一日
秋彼岸　二百廿四日　分岸　廿四日（前一時四十六分）

月相

下弦　一日
上弦　十六日
下弦　三十日
新月　九日
満月　廿三日

曜

日	月	火	水	木	金	土
...	...	...	...	...	...	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	...	...	...	...	...	...

季語

草の葉を裏返して、風が吹く。濃々とこめた霧は、翁げるやうに吹き晴れてゆく。青い山があらはれる。病から癒つた人のやうな爽やかさだ。日光は、敷ばしげに照り輝いてゐる。芝草の縁りは、地平線までずつとひらけてゐる。赤瓦の屋根が、點々とそれを彩る。牧場の牛が鳴く。鈴が鳴る。高く〳〵空まで、ひゞける鈴の音だ。乳しぼりの女のエプロンが白い。草は、彼女の裾を柔かに彈く。彼女の胸には龍がさげてあつて、摘みたての苺がいつぱい——スイスの初秋の朝だ。

行事

一日　各學校始業・鶴岡祭（宮崎）・大農災害記念日・關東震災記念日・關東防空演習
二日　練兵場で陸軍大演習始まる・松尾神社八朔祭
四日　氣比祭（敦賀）・二十六夜待
八日　上州太田子育觀音開山忌
九日　重陽節句（菊酒を酌む）・後の朔・生國魂祭（攝津）
十日　富士開山
上旬　二科・美術院・帝の絵画展覽會開かる
十三日　芝神明生姜市・日蓮上人註顯告・空也忌
十四日　鳴山祭（起伊）・乃木祭
十五日　芝大神宮祭（內宮）・中日祭・社日
十六日　神田明神祭・神田山王祭（石清水（山城）で、勝負、騎射各八騎宮廻（中御門から）第一本を射る・石上祭（大和）
十七日　接骨木開花（山城）・京都大祭山鉾巡行
十九日　正岡子規忌（山城）・觀音祭（大阪）
中旬　秩父夜祭（山車）
廿一日　被差人入り（行事者と同じ）・大阿闍梨職（東都の慣はし）・打幕上人の二本の幡を建てる（一番は、御堂の西隅、二番は、その西隅



本日は弐百十日より爪十ケレも
昨日小止より雨降り
小雀おき雨さ様会を
水のか泳羽翼おもげに
山鳩の啼く

雨

午后三号一二氏来訪
夏過きて秋さ
秋風のたつ
たつか秋一夜の暑さも
一むに秋立ちぬ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 小雨霧深 寒暖計

午前十時半過芳湖畔岩井別邸ヨリ直人ヲシテ湖水ノ鱒七尾ヲ贈ルニ直ニ午餐ノ食膳ニ上セシテ賞味シ入レゾメトシテ今朝小林長太郎ヨリ贈ラレシ名酒

泰松ヲ本ラステハ

山里の庵もも秋と告きて垣ノ糸かや秋 侯机

きり豆

酒を醸造する免許鑑札 郵便規則制定 ツルゲーネフ死す（一八八三）

天氣 小雨霧深 寒暖計

午前十時半過芳湖畔岩井別邸ヨリ直人ヲシテ湖水ノ鱒七尾ヲ贈ルニ直ニ午餐ノ食膳ニ上セシテ賞味シ入レゾメトシテ今朝小林長太郎ヨリ贈ラレシ名酒

泰松ヲ本ラステハ

山里の庵もも秋と告きて垣ノ糸かや秋 侯机

きり豆

酒を醸造する免許鑑札 郵便規則制定 ツルゲーネフ死す（一八八三）

天氣 曇晴 寒暖計

昼夜ノ今日

今日もまた山家た冊窮ニ鎖さル一廻ル

かるゐ萩の花散る

壽美ハ明朝井上叔母五七日ノ法事ニ赴ク列ル為ニ時半五分ノ汽車ニテ單獨下山六時過東京安着ノ筈

朝ヨリ小雨柔ハ天気宜シトヤリ

明日ハ宅之助三回ノ誕生日ニ付上茸ビスケット一罐玩具一個ヲ小包シテ送リ呉明朝今一個玩具ヲ送ルトス

庭内樹木ノ葉刈ヲスタ刻ヨリ復雨フル

初めて外国軍士官来る（明治八） 遊園占償（同七） 大村益二郎刺さる（明治二）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

天瑞六十四度ニ下ル

かけを飛ぶ羽風ぞむせる栗の落葉哉

秋七條氏ヲ訪フ

午時散歩船田氏、柳板ノ姉妹ヲ栄三郎氏ニ会ス

宮城師駅ニ迎ヘ高橋弘次氏ヲ送ル

避暑客ノ引揚ケタリ

山里の湯場の夕暮さびしかりけり

山径を歩ムニ一ト抱ほどある村人の松ノ木あやかりたき秋の風

松ノ木ニ掘ノ虫退治ノ良法ヲ知ル 青酸加里又ハ硫化水素ヲ用ユルナリ

壽美四時廿五分ノ電車ニテ東京ヨリ帰庄

晴

曇ノ為メ

庭内ヲ入ノ植木職一人前后四日ニテ終ル 西ヲ

午後壽美ト公園ヲ一周ス

夕刻壽美ト公園外廓ノ松ノ根土地方面ヲ散策ス

夕空ニ夕やけ仰ヲ安ムも彼岸雲ニかき消

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昨日未後雨ナレリ 灌腸ヲ試ム 快便アリ

秋風のわたるもおろか蝶二つ 姫撫子のもとうかゝ

なかれこに 萩も伏見も 雫重き 葉ごと露もおし

花薄 ほのぶ人の袖とめて 秋をなこそがほなる

一本の木生き立てる女郎花 おーをこ地

こてすき

紙川の岸に 涛をーや 郎花 水を仕舞の 鏡とや

みむ

人みなが家を持つてふかなしみよ

墓に入るごとくかへりて眠る 石川啄木

八日会右六時、
幹事之方、赤山、
岡田首相招待
之席上事、

午后三時半貴衣会道自宅車ニテ 中山太郎ニ 下山大先日余等ノ一行ヲ峯ニ送リタル 運転手ノ山清治ハ
支那人ニ在リシ一両日前ニ発 倶ニ欧洲ニ廻リ 寿美ノ徒 カト共ニ小田原ニ 井上ヲカカヲ迎ヘ 明後日再
應峯ニ登ル 井上ヲ公所見送リ 桜会ヲ共ニ 居残リ
四時四十分小田原発六時六分新橋着 直ニ山口ニ
行ケル八日会ニ臨ム岡田首相 事ニ於テ来会ヲ 断リ来ル
逓相ヲ要ス 依テ池田中島三氏ヲ 席九時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

本日八九州長ヽ蔵未ヽ名ヽ台風ヽ注州沖ヽ座ヽ右方
州南部ヽ通過スルトノ発報ニヨリ発動ヽ九州ヨリ日本海ヽ突進
シタルモノヽ如ク北々東ヽ進路ヽ変

程度 高寒 暑熱　晴　雨雪 記事

社會の今日

發信　受信

今朝下剃ノ気味ニテ十時半五分出勤ス　際シ玄関ニテ
渡例ノ心得ニテ進ム　ル旨ニテ辞表出勤　社共全
会議ニ列ス
三行船田ノ西氏ハ見面ニテ礼ヲ発句会ニ会ノ為メ
ニ時下九州ノ汽車ニテ箱根ニ向フ
午后三時陸軍大臣秘書官歩兵少佐有末精三氏
来社　大臣海軍大臣ト共ニ一少三井ノ有久氏ト共ニ余
ヲ御招キ致度旨ニテ　日ハ内都合ニ未ダノコトニテ
ニテ余ハ廿日ニハ都合ヨロシトノ事ニテ後刻電話
依頼セラル
此時帰宅迄ニ秋森辞表ヲ
午時松村ニ午前会議未ダ面会ス

地きりて涼し人形箱にのせ
有馬ひろる秋の扉かな　酒名氏

程度 高寒 暑熱　晴　雨雪 記事

社會の今日

發信　受信

秋晴ノ好天気ヨリ十一時十分出社
午餐后製表ノ志ヲ発ス　台湾ヨリ礼ヒパインアップル鑵
詰製造業合同ノ議ニ付意見ヲ述ブ
ル村ニ陽松村倉成確執ノ善后策ニ付会スヘキ
午后四時ヨリ林半氏来訪　田中逸平氏病気其他ノ件ヲ
物ス時頃ヨリ散会ス
三行船田ノ西氏正午ニ社
右四時半過ヨリ帰宅食ヲ剤リ軽快ヨリ

（長保）長き夜も解け初めゆく色彩　高一郎

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

清風会

朝十一時ヨリ社ノ会議室ニ於テ会アリ
右伊藤信爰氏ヲ招キ副社長ヨリ支那ビタル田阪一郎氏
上海在住中ノ行動ニ付キ
九ツ処アリ
午後一時半ヨリ金三次町 小田切行壽之助氏邸ニ赴キ
会議ノ上同会ノ向フ
帰会ノ途ニ野美術館ニ赴キ
其ノ後ハ会ノ
夜半ヨリ降雨翌暁ニ至リテ止ム

早雲

浅野長之小松陸
本日会堂（国会開会）
備会ノ為メ
開催ニ付
正午帰宅

真鍋氏来訪
二階堂
伯五町

小田切行壽之助氏
来訪ニ付
六時十分着ノ浅草ニテ
帰ル

朝十一時ヨリ社ノ会議ニ
出席ス
午後一時ヨリ帰社ノ上
午後一時ヨリ
雑誌発行ニ
関スル
社役員
株式ニ
上海ニ
伊藤信爰氏ヨリ
取引ニ
工業倶楽部ニ
無事帰朝ニ
帰リ真鍋氏ニ
ニテ
六時十分着ノ浅草ニテ
帰ル

朝九時青山斎場ニ於ケル小田切氏
告別式ニ列シ直ニ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨日 今日

午前十一時ヨリ社々民室会議ニ列ス

午后三時五十分過ヨリ満州公使館ニ於テ
故 [illegible] 氏ノ告別式ニ参列ス

式後直チニ帰庁シ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后六時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后七時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后八時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后九時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后十時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后十一時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后十二時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后一時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后二時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后三時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后四時ヨリ [illegible] 氏ノ遺族ヲ訪問シ
[illegible] 氏ノ遺族ヨリ [illegible] 氏ノ
[illegible] ヲ聞ク

午后五時ヨリ

発信	受信	受信
高雲		

今朝九時過研震アリ

午前十時半出社 公十二時工業俱楽部ニ昼食ヲ喫シ引キ続キ理事会ノ後ニ浅草ヲ廻ルコトヽ為シ午後六時帰宅 有栖川宮威仁親王殿下薨去ニ付本日ノ理事会ニ出席ス

斗時帰社四時半退社帰宅

五時過知友 主人ヲ代理ニ宅ヘ来訪 初代円波宇吉道ノ刀及初代大和宇吉道（大阪）ノ刀各持参 二口ヲ預リ円波ハ六百円 大和ハ参百五拾円トスル事ニ決シ預リノ二口ヲ鑑定セシム 宵正真作相違ナシト 持ヽ帰ル 黄金造（将吉ニテアルガ如キモノ）ハ一見作鉄縁頭有祖孔明人差ノ如キモノヲ 黄金造（名匠政美）ノ分ハ未ダ後ノ鞘トシテハ使用セズ 取リ入ル事ヲ看也

今朝は月は隠しも二人居て見るとこの月は今宵隠しも 勝海舟一句

姿部貞幹任群任に服す（慶平五） 徐世昌詩聞歌川国重銘重宝年六十二（安政元） 歌人若山牧水逝く（昭和三）

発信	受信	受信
高雲		

午後二時 有栖川宮威仁親王殿下薨去ニ付本日ノ理事会ヲ為メ来訪

午後三時 有栖川宮威仁親王殿下薨去ニ付本日ノ理事会ヲ為メ来訪

江木翼氏三回忌ニ付午前十時ヨリ 会葬ノ為メ来訪

東洋協会商業会 大阪ビル集会室 午前十時

文豪の妻浦部節子花圃（二和昭）逝く 講談師事神田松鯉も（同六） 五・一五事件の件事山梨勝之進は（昭七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

九月十九日

曜日 月

天候 晴

記事

日本新聞会案内

米国記者団歓迎会

来会飯后六時

来会通案内下さる

文藝倶楽会案内

条其他日比谷公

会堂后三時

九月二十日

曜日 火

天候 晴

記事

土佐廿日会

女尚志舎后五時半

招事吉松氏本部

小川恒次郎山地美代子

婚姻披露茶会

工芸美術倶楽部

九月二十一日

曜日 水

天候 晴

記事

午前十一時半出社、

午后五時半東京兵三郎氏来訪、携ヘ来リシ自作ノ絵

三点ヲ示サル、公氏未訪、歓迎会ハ来廿四日ニ

決セリ、午后六時ヨリ工芸美術ニテ催ス筈ニテ

入百余名ヲ得、其来会ヲ取調ベ一冊ニ綴成セリ、其為メ

費用金百七十八銭ヲ要セリ、御幣助殿ハ御不参

ニテ、会ニテ法律ニテ百円ヲ贈ル事ニ取計ヒ、

部ニ帰リ後ニ公氏ヨリ、高知県工芸部

奈良手村長迄、国光(在都筑)現在ノ住所ヘ

ハガキニテ通知ス、尚後ニ町田貫及此事

在福岡ノ人ヨリ来会申込ノ

ハガキ来ル、

午后六時ヨリ

歓迎会ニ出席、公氏ヨリ、高知県工芸部

奈良手村長迄、国光(在都筑)現在ノ住所ヘ

ハガキニテ通知ス、尚後ニ町田貫及此事

在福岡ノ人ヨリ来会申込ノ

ハガキ来ル、

午前十一時十分ニ社ヘ出ル、

午后四時ヨリ工芸倶楽部ニ於ケル小川恒次郎ト山地美代子

氏トノ結婚披露ノ茶会ニ臨ム、小川氏ハ高知

会社ヨリ三菱ダール工芸会社ニ移転セラレシモノニシテ

部ニ於ケル重立チタル工芸家ハ殆ンド

来会セリ、

午前十一時半出社、

午后五時ヨリ工芸美術ニテ催ス筈ニテ

入百余名ヲ得、其来会ヲ取調ベ一冊ニ綴成セリ、其為メ

費用金百七十八銭ヲ要セリ、御幣助殿ハ御不参

ニテ、会ニテ法律ニテ百円ヲ贈ル事ニ取計ヒ、

部ニ帰リ後ニ公氏ヨリ、高知県工芸部

奈良手村長迄、国光(在都筑)現在ノ住所ヘ

ハガキニテ通知ス、尚後ニ町田貫及此事

在福岡ノ人ヨリ来会申込ノ

ハガキ来ル、

午前十一時十分ニ社ヘ出ル、

午后四時ヨリ工芸倶楽部ニ於ケル小川恒次郎ト山地美代子

氏トノ結婚披露ノ茶会ニ臨ム、小川氏ハ高知

会社ヨリ三菱ダール工芸会社ニ移転セラレシモノニシテ

部ニ於ケル重立チタル工芸家ハ殆ンド

来会セリ、

午后五時ヨリ

歓迎会ニ出席、公氏ヨリ、高知県工芸部

奈良手村長迄、国光(在都筑)現在ノ住所ヘ

ハガキニテ通知ス、尚後ニ町田貫及此事

在福岡ノ人ヨリ来会申込ノ

ハガキ来ル、

午后四時ヨリ工芸倶楽部ニ於ケル小川恒次郎ト山地美代子

氏トノ結婚披露ノ茶会ニ臨ム、小川氏ハ高知

会社ヨリ三菱ダール工芸会社ニ移転セラレシモノニシテ

部ニ於ケル重立チタル工芸家ハ殆ンド

来会セリ、

午后五時半

昨夜来ノ強風ハ雨ヲ伴ヒ今暁ニ到リテ次第ニ猛烈ヲ加ヘ正午ニ近キ頃ハ其ノ極ニ達シ午后ニ至リテ次第ニ弱リ斗時頃ニ始メテ大風通過ノ徴候ヲ現ハセリ此ノ風ハ過日来琉球ノ東南ニ発生セル低気圧ノ漸次北上セルモノニシテ昨夕ニハ九州ヲ襲ヒ今暁ハ心ハ紀淡海峡ヨリ大阪神戸京都ヲ席巻シ大阪ニ於テハ市天王寺ノ五重塔ヲ倒シ学校四十四ヲ潰シ海嘯ト相待テ二千五百人以上ノ死傷者ヲ出シ京都ニテハ学校倒壊十九死傷九百ヲ出シ加フルニ頼田川橋上ニテ多数ノ溺死傷者ヲ出シ其ノ他ニ於テモ家屋ノ倒壊ヲ見タリ街路樹ノ倒レタルモノ頗ル多キヲ以テ交通ハ全ク杜絶シ十一時ニ至リ漸ク復旧ノ曙光ヲ認メタリ

斗時仮水会社ニ於ケル委員会ニ於テ理事会ニ諮リ三時半帰宅ノ時取次ノ海陸両大臣ニ対シ左ノ如キ弔電ヲ発シ尚ホ其ノ筋ヘモ同様ノ電報ヲ発シタリ

全国ノ罹災民ニ対シ深厚ナル同情ヲ表シ救援ノ為メ全力ヲ尽サレンコトヲ望ム

仮水会社

大阪ニ於ケル風水害ノ惨状ハ筆紙ニ尽シ難ク毎ニ愁眉ヲ深クスルノ外ナシ死者十人ニ近ク学校ノ倒壊大破ハ百五十ヲ算ス特ニ外島廟屋ノ如キハ百名ノ海嘯ニ呑マレタル為メ破リ柱ヨリ十時五十分出社会長主会議ニ於テ仮水害ニ対スル善後ノ処置ヲ協議ス

宮内省、往反ノ電報ハ左ノ如シ

午后七時半勅旨ヲ以テ侯爵吉武東方倉蔵文太郎ヲ特ニ入院ヲ命ゼラレタリ

仝四時半寿美ト共ニ来劇ヲ終リ菊ニ告ケ無事ニ十日頃ヨリ志ヲ衛門ニ入院ノ為友右衛門之レニ代リクリ友ノ迎ヒ松ノ間ニ来リ菊五郎ノ我妻船、菊三津五郎ノ五郎朝比奈鎧川、菊友ノ狐棒ト観ノ新作大々面白カリキ

十時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寒暖 寒暖計 皆晴

雑記

今朝ハ絶好秋日和ニテリ斗時寒天ト志祥手ヲ取テ爪
喜ヲ祝ル若ヒタル根害ナン
黄昏ヨリ頭部外ヒテ高キ月ヲルヤ否ヲ視ル日ハ巻
十四天ヨリ白ク笑容ヲ浜青ヲ急ヲスデ僕ニ東方ヲ
顧レバ金大ノ月木ヲノ上ニテリ始メテ今夕ノ明月ヲル
知ル

月々清限ふりてらす志花師に似る女房根
女ひざやまくらの人(夜七ツ半ごろ人ゐる欲ケさ)
古月をなかめ女ケリ八日の月
浪華俊今日ヲ波の月見ふかな
八時帰宅
此朝其業落ル五九ヲ楽午茶ル、時代茶ヒ、鶴田氏地俳
画双幅、南蘋系福筒氏、庚湘並盗観香ノ五巨ヲ支取
ル代金五拾弐円ヲ支払ヲ
船田ヨリ今朝ニテ午前金ノ下ヲ打合セ
今晩ノ両度ノ水喜ヲ祝ス

社会ノ今日

一 征夜百万円トノ年ニ千ト打合セ五拾万円

寒暖 寒暖計 曇

雑記

本日ハ彼岸ノ中日ニ付キ皇霊祭ヲ行ヒ
米国記者団招待ノ午餐会ニ招カレ接待ノ幸福ヲ
享ケ午后ヨリ明日ニ午后ノ反論ヲ作ルノ為メリ
朝夕両度船田氏ト工作ニ志喜ノ義捐金ヲ打合ス
処アリ

社会ノ今日

[秋雨] 菊枝人ニ供ヘ終リ秋の雨 鳥卿

障子に映る行灯の影もさびし
秋の日あしのつづまりにつつ 村野次郎

秀吉征韓の軍を興すヲ(文禄元) 両国橋架換山に竣ヲ(明治一〇) 日露石油鉱区決る(昭和七)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半社会会議ニ列ス

毎次荷ノ鐘紡新株百株ニ対シ拾八斗四升五千弐(一株ニ)ノ払込ヲナシ頒収証ヲ荻原氏ニテ三菱銀行保護預ノ係ニ回シ株券ニ記入ノ手続ヲナスル

昨日発送ノ株券ハ横ヲ千井氏ニテ渡シス

午後四時頃出帰宅六時半ヨリ国民精神作興ニ関スル会ニ臨ム 御男経済部ト日本商工会議所ヲ代表シ余ハ工業倶楽部ヲ代表シテ両人共ニ今夕ノ主人役ヲ勤ム 三百余人 御男ハ樺山愛輔伯内閣室九郎氏ニ推薦セラレ余ハ主賓メダワット氏夫婦ノ側ニ内閣大臣夫人ト石ニ来賓代リ余ノ助ケ其ノ代リ御男ハ挨拶ニ対シ新経済サンドリップ氏答礼ス食後日本舞踊盆ニ余花ノ余興アリ来賓ノ内バーニ入リ帰ルモノアリ来賓一同十時頃引上ケタリ

午前十時半麻布林木邸木村清四郎氏ヲ訪ヒ午餐ヲ喫シ十一時十分ニ菱銀行ノ重役会ニ臨席ス 十一時半ヨリ午後一時半迄ニ会議ヲ了ス

午後一時半中央慈善協会常議員会ニ出席ス 会後藤小太郎両氏ニ来訪ヲ受ケ 神田正雄氏渡支ノ餞別ヲ為ス 来訪

此時原田熊雄氏帰宅 会ス 徹中将浅野侯爵家ヲ訪ヒ帰邸セラレ 一緒ニテ 寛徹(公爵)ハ最上元帥時行 筑紫ヲ経テ三日ニ帰京セラレ 時行ハ筑紫ヨリ直ニ丹波宇志通ヲ経テ 吉通両刀鑑定ヲナス 何レモ皆数百年ノ昔ノ丹波ノ物ト云フ 先般筆入レタル和泉守国貞ハ正真ニテ 此ノ刀ハ昔ノ物ニテ 疵アリト云フ国貞ハ真改ヨリハ上手ノ作ト云ハル

夜分迄来ル頼リ盛ニ来ル 公人来ル 神戸支店ニ行 保護預証一枚ヲ作成ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

今朝出社前後心悸亢進依テ社長室会議ノ席ヲ断リ直様高輪邸ヘ引返ス 十二時十五分全治ニ至ル未ダ嘗テ無キ発作ナリ 然ル処会セル者アリ日本新夕ホテル会長青浦伯来ル 仝氏様伴中後不快ヲ感ジ三軒茶屋ニ転地シ来リ集ル近一年ニテ静養ノ上ス 仍為要人門士余ノ為メ特ニ来リテ邸内ニ在リ余ヲ看護ス暫時ニシテ収リ入ルモ尚三人トシテ来賓ニ仕スルハ再ビ心悸アリ 依テ万事ヲ中田三軒隣氏ニ托シテ帰宅静養ス

夕刻前田伺副社長ヨリ見舞ニ来リ 依テ船田氏仝様夜分迄両人ノ次来ル訳

氏ヨリ容体伺合セアリ

辻村衛造氏ヨリ河内国柳谷城吾校ニテ（顧心手ニ）棒、茨生ヲ養成各種社併用ニ奉納 依テ谷宮家ヘ献上ノ者余ノ棒ニ様アルヨリ以テ一本脇ニ為ス 月初何訪問スル又ハ又ハ入呉トノ紹介アリ（ヘボテレ）

外務大臣招待ニ依リ七時半（英国実業視察団ト共ニ）新

朝ノ内辞養寿美代ニ木村清心命氏ノ告別式ニ赴キ仝所ニテ献花ニ会合帰来社長ヨリ外務スルキトノ見舞

井中組ノ樋川氏ニ家ノ座落成ニ付キ谷指由下川津ノ村長祝三本ノ分 花入持参セル 祝ノ御印伝ヲ依頼ス

吉植庄一郎氏ヨリ紹介ニテ虚弱児童養護協会理事長 渡辺博士宛ノ添書ヲ受ク 御外（名来訪病気ニ付キ）他日期日アレバテレフォンヲ返ス旨ヲ以テ帰ル

午後ヨリ社ニ出ス 市内回リ

帝国ホテル泊 午前十時出発帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝十一時半出社ス重役会議ニ列ス

午后一時半三菱製紙会社ニ於テ重役会議ニ列ス

松田剣介ヨリ銭常方ヨリ筑山鉄坑ノ件ニ付来訪

伊藤喜見子ヨリ藤取ス市浦津ハ備蓄倉庫、栄蔵ノ方法ニ付注意スベキ旨アリ

河井電機常方ヨリ親友阪神地方ノ水害ニ付義捐ノ勧誘アリ

千ハ金山ノ件ニ付三菱氏ヨリ結果ヲ藤田行一郎氏ニ電信セシ旨通知アリ

宮本主太郎ヨリ清瀬鉱山ノ件ニ付来訪

谷三時半退出西紫堂ニ母ヲ有シ行商限ヲ返却ス帰途黒門町ニ立寄ル

七時帰宅

特許局ニ於テ特許局会議ニ列ス

特許局ニ於テ特許局会議ニ列ス

十月一日ヨリ公立日迄

元帳一ノ一ノ

寺島上市ヨリ阪元蔵氏ヨリ勝利梨壱箱ヲ贈ラル珍ラシキ返ス

朝十時小瀬保作氏ヨリ来訪面会ス

未国後ノ復刀ハ公国先ヲ経テ上ニ島津家ノ志賀丸(明和キ二年頃)ニテ来ル金無垢ノ脇小太刀ハ偽者ニ候(明治廿八年頃)ト云ヘリ

倶楽部ニテ野田清宣ニ会ス

公一時帰宅ス

波守志通(宗初代祇園社祠官三品初)ヲ贈ニ六日門ヲ叩ク

大和守志通(宗初代祇園社祠官三品初)ヲ贈ニ六日門ヲ叩ク

五拾円ヲ返ス

金斗時湯治温泉料値上反対代表者ニ矢木健吉、大木健次郎(紅葉館ノ橋爪)ノ三人来ル然ル処温泉料ハ来五月ヨリ左ノ通ニ十七ヶ月分百弐拾円ヲ三民ニ払ス

金斗時一人去ル

家計費ハ百五拾円

七時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



十月

神無月・時雨月
初霜月

秋興多し　野に稲は黄ばみ、蟋蟀は鳴き、山には茸の香り高き秋だ。天高く晴れた日曜日は郊外の栗拾ひに、芋掘りに電車はいつも満員である。淋しき武蔵野の風ふかく老松の聳ゆる寺などに消えかゝる史蹟を探ね人の影見えるが都會には全人口を悩殺する外苑の行事スポーツの總帥かれる興味の中心は大學野球戦にあるが、水泳日本の名を高からしめた水泳プールに妙技に酔ふ人々の足は絶えない。上野には今いつもの美術の秋、山々の紅葉も色を増し箱根、伊香保、鹽原、さては近頃開けた奥利根に一日の清遊を試みるのも良い。

月相

●新月　九日　㊊上弦　十六日
○満月　廿三日　㊋下弦　三十日

暦

七						
日	月	火	水	木	金	土
..	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	..	27
28	29	30	31	..	..	..

一日　明治二十二年大日本帝國憲法發布記念日・日記帳・年賀郵便物特別取扱開始日・東京市開市記念日・帝國議會開會記念日・東京市會開會記念日

四日　北野神社祭禮（連歌祭）各寺にて法華八講（十四日まで）

五日　十夜護摩（浄土宗各寺）・月下老人祭（十五日）

六日　十夜護摩（浄土宗各寺）・月下老人祭（十五日）

八日　鳴大神祭（新嘗祭）・鳥の祭（酉の日）

十日　鳴大神祭（新嘗祭）・鳥の祭（酉の日）

十一日　貴式（神武天皇祭）・鳴大神祭（酉の日）

十二日　十夜護摩（浄土宗各寺）・太秦廣隆寺牛祭・色紙の日（古今集撰進の日）

十三日　法華八講（法華宗各寺）

十五日　鉄砲鍛冶祖神・伊勢東照宮祭禮（～十六日）・石上神宮鎮魂祭（～廿日）

十六日　庚申

十七日　神饌祭・帝國議會衆議院議員選擧（～十八日）・十月十七日より廿三日まで全國一齊愛鳥週間（～廿三日）・十月十七日より廿三日まで防犯週間（～廿三日）・十月十七日より廿三日まで交通安全週間（～廿三日）・十月十七日より廿三日まで防火週間（～廿三日）

十九日　二宮尊徳翁誕生日（日本農民福音）

廿一日　秋祭（～廿二日）・鳴神子祭

廿二日　鳴神社祭禮（～廿三日）・平安神宮時代祭（祭列を出す）・鶴岡八幡宮祭禮（～廿三日）・靖國神社秋季例大祭（～廿三日）・筑波山神社祭禮（～廿三日）・鶴田神社秋季祭（～廿三日）・靖國神社秋季例大祭（大祭は廿五日）・香取神宮祭禮（～廿三日）・天理教秋季大祭（大祭は廿五日）

廿三日　新嘗祭（祝日）・鳴大神祭（大祭は廿五日）・靖國神社秋季例大祭（大祭は廿五日）・香取神宮祭禮（～廿三日）・天理教秋季大祭（大祭は廿五日）・鶴田神社秋季祭（～廿三日）・靖國神社秋季例大祭（大祭は廿五日）・香取神宮祭禮（～廿三日）・天理教秋季大祭（大祭は廿五日）

廿五日　靖國神社秋季例大祭（大祭は廿五日）・香取神宮祭禮（～廿三日）・天理教秋季大祭（大祭は廿五日）

廿六日　靖國神社秋季例大祭（大祭は廿五日）・香取神宮祭禮（～廿三日）・天理教秋季大祭（大祭は廿五日）

廿九日　靖國神社秋季例大祭（大祭は廿五日）・香取神宮祭禮（～廿三日）・天理教秋季大祭（大祭は廿五日）

○本日は明治神宮國民奉仕日・靖國神社秋季例大祭（大祭は廿五日）・香取神宮祭禮（～廿三日）・天理教秋季大祭（大祭は廿五日）

○恩賜の御菓子下賜・

杖、晴、好天気ニ付十時五十分ヨリ社会民主会議ニ列シ三橋倉庫事務ヲ引継ヒ午後ハ神地方倉庫破毀ノ情況ヲ視察シ次ニ引継ヒ理事ノ件ニ付タル工業ノ分後ノ方法ヲ議ス

今村正美氏来ル機械科来年ノ卒業生ニ付軍縮室ニ於テ採用依頼ノ為メ来訪社会主義ニ付他日ノ来訪ヲ望ム旨ヲ述ヘテ帰ル本人ハ感激宣敷三番ニ付出ノ名刺ヲ財政会長ニ来意ヲ告ケ共ニ面会ス

来大友校農行、伊藤寛次氏、清廉伯ノ品ヲ贈ル来八日ニ予ノ送別ノ宴ヲ催ス旨ノ申込アリ承知ス

午後校友会ノ幸川此花氏会計検査ヲ受ケル為メ来訪共ニ先ツ松村竜太郎氏ノ来訪アリ八月分ニ付工場ノ勘定書ヲ持参ス

寿美代日曜ノ為メ両家ヘ近状有ル一文ヲ持参ス

帰途花ヲ買ヒ之ヲ会葉帰宅

（切り取り）者に消火器に送はれ致り鳥一及松

杖、晴、好天気ニ付十時五十分ヨリ社会民主会議ニ列シ三橋倉庫事務ヲ引継ヒ午後ハ神地方倉庫破毀ノ情況ヲ視察シ次ニ引継ヒ理事ノ件ニ付タル工業ノ分後ノ方法ヲ議ス

今村正美氏来ル機械科来年ノ卒業生ニ付軍縮室ニ於テ採用依頼ノ為メ来訪社会主義ニ付他日ノ来訪ヲ望ム旨ヲ述ヘテ帰ル本人ハ感激宣敷三番ニ付出ノ名刺ヲ財政会長ニ来意ヲ告ケ共ニ面会ス

来大友校農行、伊藤寛次氏、清廉伯ノ品ヲ贈ル来八日ニ予ノ送別ノ宴ヲ催ス旨ノ申込アリ承知ス

午後校友会ノ幸川此花氏会計検査ヲ受ケル為メ来訪共ニ先ツ松村竜太郎氏ノ来訪アリ八月分ニ付工場ノ勘定書ヲ持参ス

寿美代日曜ノ為メ両家ヘ近状有ル一文ヲ持参ス

帰途花ヲ買ヒ之ヲ会葉帰宅

朝十時半立志社ヲ訪ス来訪家事ノ件相談アリ

十一時半出社

右当時ヨリ分藤田竹三郎氏十八沢金山処有者ニ付明氏ノ件ニ関シ連名ノ書ヲ齎シ破裂ノコトヲ庆ス

ケ様ノ依頼アリタルモ十明氏トノ面談ノ上断リ最早再考ノ余地ナキ旨ヲ答ヘ置リ

午後三時支村工場ノ松村竜太郎ニ明日面会ノ件依頼ニ付キ同氏ヨリ澳寿保夜西田検氏ノ見工場ノ件ニ付意見ヲ乞フ

若原勝彦氏来訪ノ件

右当時退出帰宅

久保大輔七回忌ノ件夜ニ入リ寿美久保郎ヨリ

夜分当月三日ニ会見ノ申込アリ不快就寝中ニ付日ヲ改メテ返答ス旨ヲ申入ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

今朝ノ朝刊ニハ昨二日午后新渡戸三郎男ノ逝去ヲ傳ヘタ刊ニハ今朝一部限リ死ヲ報シ七、八両日営葬ノ報アリ

十一時半ヨリ社ノ長室会議ニ臨ミ次テ社ヨリ会見刑海濱タルニ葬儀会社敷地ノ件ニ付懇談ス処アリ

午后五時ヨリ店員係氏来訪

会セ時倉成文太氏来訪

午后四時退社帰宅

特許法施行五十年紀念会設立委員会ニ関スル件

及祝賀会午后より日比谷公会堂ニ於テ開催ノ件ニ付

公会堂使用承諾ノ件

(受取者不明)

日本文化協会講演会ニ関スル件

社内休業ノ件

(受取者不明)

祕密出版ニ関スル件

来翰二十六日午後来廣ノ件

(受取者不明)

祕密出版ニ関スル件

来翰ニ付

(受取者不明)

岡田首相海坂会ニ関スル件

案内状御届ノ件

(受取者不明)

特許法施行五十年紀念会設立委員会ニ関スル件

及祝賀会午后より日比谷公会堂ニ於テ開催ノ件ニ付

公会堂使用承諾ノ件

今朝午后零時半ヨリ会見申込アリ不快静養中他ヨリ変更セラレタル旨ヲ

十一時半ヨリ社ノ会議ニ出席ス

午后零時半ヨリ店員係氏来訪

午后四時退社帰宅

午后五時半ヨリ店員係氏来訪

午后六時半ヨリ店員係氏来訪

午后七時半ヨリ店員係氏来訪

午后八時半ヨリ店員係氏来訪

午后九時半ヨリ店員係氏来訪

午后十時半ヨリ店員係氏来訪

午后十一時半ヨリ店員係氏来訪

午后十二時半ヨリ店員係氏来訪

午后一時半ヨリ店員係氏来訪

午后二時半ヨリ店員係氏来訪

午后三時半ヨリ店員係氏来訪

午后四時半ヨリ店員係氏来訪

十月六日

午前十一時土社ニ於テ役室会議ニ列ス
午前十一時四十分 梁塵秘抄三部氏来訪 日本刀五口売買斡旋ノ費用不足分五拾円ヲ請求ス（金弐百五十円ヲ贈ル）
午后一時 滋賀県泉徳二支店ニ於テ板敷ニ不吉供給停止ノ件ニ付折衝ノ件ニ付 寳男爵代理弁護士（住所不詳）ト共ニ京橋区京橋三丁目七番地ノ五 滋賀県物産（株）ノ五二〇番）板敷小高庵、紅葉館、吉源ノ三主人ヲ鈴木復古会館ニ訪問 許ス旨ヲ貴族院議員三井清二郎氏ニ林屋相ヨリ依頼ニテ来訪ヲ受ケ代行セラレタル件ニ付来訪ノ件ハ重工業会社会長斯波孝四郎氏ニ協議セラレテ斯波氏ヨリ協議ノ上処置セラルル件ニ付来訪セラレタル旨ヲ告ケラル
三時半 丸ビル十八階貴族会館ニ於テ 本山彦一 島安次郎 下岡忠治 堀啓次郎 北浜銀行頭取 池田成彬 双璧 郁合 五氏ト政党ノ依頼ヲ受ク

（貴族）昭和初期の華族社会を知るための基本資料 解説 小田部雄次

多田幾久治（長善二）マーシャルを創始者伏村（六正三）自叙 川畑習郎編行 春夫居支社ヤングに関する（昭和七）

十月七日

斯波男爵葬式ニ青山斎場ニ参列ス 一時ー三時
久世氏代理

東京倶楽部 十周年記念会案内ノ時半 許

弥日和 様 部

鈴木 様 部 受信 発信

紋ニ付三人ニテ来リ山本悌次郎氏ヨリ桜山神社ノ御文書 飛ノ書面ノ件ニ付午后三時大橋新太郎氏ヲ訪ヒ未ダ面会セズ 午后三時半倶楽部ニ集合ス 済誠堂書店ノ新聞ヲ借覧ス 帰社ス

正午過ギ司法省ニ於テ 発木、吉原、紅葉 紋ニ付三人ニテ来リ山本悌次郎氏ヨリ桜山神社ノ御文書 飛ノ書面ノ件ニ付午后三時大橋新太郎氏ヲ訪ヒ未ダ面会セズ 午后三時半倶楽部ニ集合ス 済誠堂書店ノ新聞ヲ借覧ス 帰社ス

内閣ヲ倒閣ノ為メ 帰社ス

相談スベキ ノ十一時三郎宅

本郷曙町十番地野呂助氏ヨリ七十七銀行記念ト 斯波男爵葬式ニ青山斎場ニ参列ス 一時ー三時 久世氏代理

東京倶楽部 十周年記念会案内ノ時半 許

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

中村靖之ト永案(四五)須賀子ト結婚ス

実業教育ニ関スル建白ノ件

会長清浦伯招待ノ案内

午後養蚕社会銀行ニ

来ル会銀行五個半

一人前

中島、内田銀相

今日筆別荘ニ行今回ハ雨ハ前回ニ降リ込水ヨリ風ノ為物造家根ニ損害生ジタル由電話アリ

今朝後ヤヤ少シ心持ヨロシク進ム

清浦伯招待ニ与リ松田文相ニ次官某地実業家等ト会食仍為取扱有之其文三千在養蚕社会銀行ニ到ル九進而ニ別室ニテ静養ヤ分後ニ来会ニ加ス然ニ九意見ヲ述ブル都度九進ノ微アリ会長ニ入ルモノニシテ口ニスルノ気ヤシ両席別室ニテ静坐動作静ニテ侍シ接待シテ中堅帰途ニ社会少ク席ヲ来諾セル中村永案両家若松楼ニ食席ニ応席入ルヤ断ルヤ午後ヤシ分時過ギ養蚕料供社ニ着社ニ両ヶ之ヲ正司弁護士ノ手ヨリ受ケ郵送ス若松築港安住ニモ分時ニ発送三時帰宅就床ス

国際文化振興会

午後四時養蚕社会銀行

先悦

日本位若鮮遊会水

久振リノ秋晴ナリ十一時出社ス支室会議ニ列ス午后一時半若林大夫来ル公式内田良平代理トシテ開鮮案ニ付懇談ス午后四時過ギ辞シ去ル夕刻ヨリ除会式ノ件ニ付打合セアリ分時ニ田中逸平氏葬儀ノ除賜等ニ依頼アリ承知ス暮松村進太郎氏ヨリ旧先村ニ場費ノ代金弐千余円ヲ持参ス松村氏モ許ニ泊ス

午后五時先悦ノ一会ニ臨ム晩餐ヲ共ニシ九時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時出社ニ除シ小穀孫代氏来訪家内ヨリ代テ応接セシメ
後ル処ニ盛光梅作服装代金四百五拾圓ヲ持
参ス受取ノ印ヲ得ル社船田氏ニ副社長ニ渡方ヲ依頼ス
午後時半竹田宮ハ殿ニ参キ大妃殿下ニ拝謁奏会ニ
出席ス会後員、評議員（婦人）ニ対シ今日ノ賜ト深川
家庭ニ於ケル本会ニ就テノ事ヲ奏会ニテハ臨席
ノ上挨拶ヲ賜ル
心時頃ヨリ来賓倶楽部ニ立寄リ故水町袈裟六氏遺
族ヲ訪ヒ（途中ニ於テ観ル正恒勘兵衛氏ニ逢フ）次ニ
（途中ニ於テ観ル正恒勘兵衛氏ニ逢フ）次ニ
今井ニテ小倉惣右衛門氏ニ会合会社明夕茗荷谷ニ
テ会合ノ旨ヲ伝ヘ其他ハ水町邸ヲ回ル
昭和十年十二月帝国博物館
世寄附ニ付本年一月付ヲ以テ賞勲局総裁ヨリ
賞勲局総裁ヨリ
賞勲局総裁ヨリ

日本注射吉田大使
近別邸懇談会
星ヶ岡茶寮 午六時
断

日伯中央協会補充会
午餐会
正午中央亭 断

朝私時半分辻村楠造氏ヨリ紹介ヲ以テ河内国南河内郡
千代村字千尾楠城邨住楠公記念楠木会理事小谷
文淵氏来訪用件ハ金剛山楠公水分金大楠公誕生地ニ
ル楠ノ木ノ苗木余カネテ千本ニ分譲セラルヽ事ヨリ感
ヒヲ快諾シタリ苗木ハ文淵氏父君明道氏大正十三年ノ
春聖上来宮被遊トシテ成修記念トシテ植樹セシ
ヨリ来ル神社学校名士ノ許ニ斉贈シ来レルモノヲ
今本許近日ヨリ植ヘラルヽ由ナリ国ニ三ノ大楠公誕生日ハ
伏見天皇ノ永仁二年四月廿五日ニ六百四十一年前ナリ
十一時ヨリ社ニ於テ重役会議ニ列ス浅井専務（額田作）ニ於テ
午二時住友小倉正恒氏来訪ス
別紙ノ如キ寄附ノ申込アリ
仮時頃氏ヨリ紹介ヲ以テ住友本店門谷芳代重役ヨリ
通三池ノ太刀（菊紋蒔絵造代金三千円）長谷部国信銘
銘在刀（二尺一寸）ヲ寄附国宝殿下ニ（ヒ万六百九十円）ヲ持参内閣ニ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇雨 寒暖 記事

別社長葉山 新生葉

金山中、

金山中 松谷天祖 風水

高木 阪神地方ヨリ 商

用ノタメ三時頃 帰方ヘ

別社長 催サレタルモノ

ヨリ九時帰ル

社會の今日

受信 受信

十一日午后八文島ヘ到着ス 現ハレタル 風水八今朝帝都

ヲ襲ヒタリ 憂慮ヘタリ 幸ニモ今暁三時 其勢力

ヲ二分ト半南ヘ去リ半北ニ向ヒタルヲ以テ帝都ヲ 犯スヲ

無事ナリキ

朝九時 大橋 新太郎氏 町田商相訪問ス 来訪

午后一時半山下市助氏(日満鉱業会社ノ 役員二十年 鉱

業権ヲ有シ九十七歳) 来訪 会社ノ 目下 満州 進出 山開作業

ニツキ金銀 鉱ヲ 有セルニヨリ 鉱山(鉱ヲ 掘リ出ス 事ヲ

云フ、金ヲ含ム 鉱ヲ云フ、鉱ニ三種アリ) ヲ 施行スル 例ヲ引用シ 三

菱ノ満州 鉱業ニ手ヲ 染メテヲ 勧誘シ 又時ニ 松岡ノ 葉

ヲ 満製シタルヲ オ土産ニ 持参シ 来訪ス

午后四時 政務ヲ 終ヘ 官邸ヘ 帰ル

台湾ヨリ 陸軍省 整備局長 山岡少将 来訪 国内ニ 自動車

製造ニ 関シ 意見ヲ 叩ク 五時半 退出

わが家より三日目に着くうれしさよ 羽住お星の遥き秋かな 蘭根風砂子

天候 晴 寒暖 記事

社會の今日

受信 受信

本日曇晴 午后ヨリ 社ニ於テ 会シ十一時 社ヲ 出テ

大阪神荷(株)神社 来薄地 如 午后百軒西区 堀江ノ

小学校ニ 金拾弐円ヲ 寄附ス 通リ 寄附ノ件ヲ 浅沢ス

室工業ノ 新渡会長ヲ 招キ 山岡整備局長ヲ 付キ 意見

ヲ交換ス

何モ時半正司(奇貝男爵ヲ 後ヲ 発木信吉氏ヲ 面会

会前 遠路 料亭ニ 支度 運動 不能 茶半ニ 終ル 来訪

業績 ヨリ 直接 番人(役ヲ 命ヲ 受ケテ 鉱木ヲ 計ル

三時半十分 退社 日比谷 文化 展ヲ 一見ス 仏画 往復

十八年 延喚 額面 ヲ 百円ヲ 貰ヒ 鉱模 ヲ 写ス

ヨリト 思ヒ 帰途 新宅ヘ 寄ル 美代子 夫人ヨリ 室内ヲ 案内セラル 寿 美八当日 轉宅祝トシテ 清水

正太郎作 日蝶 額(奈良 百円) ヲ 持参 清水 盤(奈良 百円)

道 帰宅 此日 美代子 八 余ノ 祝トシテ 行李 ヲ 持参 贈ラル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

皆晴

日本赤十字社副社長中川望氏より金社帯広支部
太部代の補助として椎蔭と共に来札
故を以て断り
午后3時寿美下車 直ちに寺に赴き七時帰宅 秋久清
り発病
秋晴き 夜も椎の実 拾い集む

曇

皆晴

来札神社庶務会より帯広員の依頼の辞退

午前十一時より社々長室に於て 中川望氏
業務に関し自分 金社 帯広員不在の為代り
出席に椎蔭 出席 午后3時寿美下車 直ちに
員と共に寺に赴き 法句 御越 椎の実拾集
スルコトトル旅行中 (去夜行違ヒ) 金氏と
メ金氏会食 其ニ 中川氏と懇談 業務
奥村副社長 未明 能登支部 氏ヲ椎用方 神ノ
沢直八氏と一緒 秋季大祭 トノ事ニ付 案内
今野帯広営業会社 椎用依頼 ニ 今村正氏
告会時 電報 会社 事ニ 橋本正一名ヲ 庭ニ
落葉ヲ掃除 ニテ 終了

徳村 竜太郎氏来訪
四時頃 去ル 宿ノ小林 利助 氏明日 根井戸 竣工検査
ヲ為ス事ヲ 依頼セリ 会ス 工事費八百
八拾円ニテ 支払ヲ 残金ハ 枝太郎ト 交付ス

ル事ヲ 依頼ス

映餐後調査

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十時半日本橋ノ料亭ニ於テ開会ノ筈(延期)出社ス

十一時社長室会議 ○○○○

午后一時半ヨリ本店員ノ来訪

会社ニ帰リ、夫レヨリ本日ノ開会ノ帝国美術院ノ展覧ヲ観ル日本洋画ハ美シテ感服ス、値ハ日午ヨリハ極シテ高価ナレハ木刷ノ進歩ノ跡ヲ見ル工藝品ハ価段ハ高ケレトモ木刷ノ如ク進歩ノ跡ヲ見ス工藝品ハ価段ハ高ケレトモ木刷ノ如ク進歩ノ跡ヲ見ス

夜八時義介来訪 在見自動車ニ乗リ ○○○○ 来訪ス 即チ ○○○○ ノ意見ヲ聞ク 依頼アリ ○○○○ 社ニ ○○○○ 会ノ ○○○○ ハ評議員ノ ○○○○ 引受ケ ○○○○ 勧告シ ○○○○ 社長ニ ○○○○ 諾ヲ ○○○○

本日大祭日ノ休日ナルモ雨天ノ為メ ○○○○ 訪ス

午前十時半 ○○○○ 会社ノ ○○○○ 来ル

田中倉松、 ○○○○ 箱根登山鉄道 ○○○○ 会社ノ ○○○○ 土事 石材事作ニ付 ○○○○ 来訪ス 即チ ○○○○ 箱根福翁ヲ湯泉組合 ○○○○ 三氏値ヲ ○○○○ 手伝ニ付 ○○○○ 丁解ヲ得ヤリ来ル ○○○○ 別荘ハ従来ノ ○○○○ 供給通リヲ ○○○○ 九図ニ此ノ ○○○○ 今後ハ恨ニ ○○○○ 堪ヘス ○○○○ 勧告シ ○○○○ 条件トシテ ○○○○ 解決スル様 ○○○○ 之ヲ ○○○○ 談ス

土佐藩家老 ○○○○ 深尾重先(長重者ヲ ○○○○ 帝展四部出陳ノ絵ヲ ○○○○ 一幅(價三拾円)買取ノ ○○○○ 内諾ヲ ○○○○ 与ヘ美術 ○○○○ 教ヘ遣シタル ○○○○ 供ヲ ○○○○ 取リ ○○○○ 午后ヲアリト ○○○○ 其後之ヲ ○○○○ 返リ ○○○○ 女ヒト ○○○○ 太ノ絵刀ハ ○○○○ 前文部政務次官ト ○○○○ 約ノ ○○○○ 品ナリ ○○○○ 夕刻ヨリ ○○○○ 見工会 ○○○○ 前会ノ ○○○○ 書生ヲ ○○○○ 長シ ○○○○ 之ヲ ○○○○ 勤シ ○○○○ 倍ヲ ○○○○ 与ヘ ○○○○ 帰ラシメタリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時ヨリ社会議ヲ開キ左ノ事項ヲ議スヘキヤ否ヤヲ決ス

一、斯波左衛門尉氏ヨリ社会ニ入会ノ申込アリタル件

一、国際文化振興会ヨリ社会ニ入会ノ申込アリタル件

一、社長ヨリ提出ノ件

一、其他

午後四時ヨリ

午前十時ヨリ社会議ヲ開キ左ノ事項ヲ議スヘキヤ否ヤヲ決ス

一、秋山春興(宮崎)ヨリ兵隊ヲ辞シ傭言ヲ入社シタキ旨申込アリタル件

一、余ハ若林半氏ヨリ話アリタル件ニ付キ面会ノ上決スル筈ナリ

午後四時ヨリ

会議ノ件

会話 要領 備考

皆晴 陸軍

光澤会 新

若松ヨリ港区会 新

日仏会館下検会 〃 沸

会議 要領 備考

日本経済倶楽部ヨリ社ニ入会ノ申込アリタル件

朝八時頃埼玉農民組大爪塾生ヨリ(満州移民奨励ノ目的)資金ヲ懇請シ来リタル処放置ス

午前九時頃ヨリ会社ニ於テ白石清氏ヲ面会ノ為メ来訪ス

依頼ノ趣意ヲ残シテ去ル

午後二時半ヨリ会社ニ於テ松山芳園ヨリ下谷竹町来宗泰院会館ニ於ケル講話ニ関シ打合ノ為メ来訪ス

清正三百二十年忌会ニ付キ寄トノ事ニテ金五百円ヲ持参ス

次ノ時々ニ於テ会社ヨリ金千円ヲ借入ス

為替証券ニヨリ親寄依頼ヲ受ケ取ル

渡辺栄次郎ヨリ名刺ヲ以テ昨今両日社長ニ面会ニ来リタル旨申入アリタルモ不在ヲ以テ其儘ニ致シ置ク

午後帝国ホテルニ於テ国際連盟脱退ニ関スル講演会ニ出席ス

来客作成 武田秀雄氏ヨリ訪ニ来ル 斯波氏ヨリ面会ヲ乞フ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 記事

社會の合言

午后十二時半山ノ郵書ヲ受ト共ニ洗足池畔ノ近況（氏新郵ヲ訪フ（真（氏母堂ニ共ニ大阪ヨリ池着（氏外老ニテ千葉五人揃ニテ在モノ（氏ノ両外孫ヲ（氏ノ高山植物園ニテ見ル茶菓ヲ喫シテ支ケ（時半頃ヨリ正面ニテ三時半ニ分吉祥寺ノ別宅ニ入ル渡瀬三郎君ヨリ夫人ニ伴レ来リ在ル（氏ヲ中午代ヲ喫シテ夕刻辞去ス余等居残リ茶ノ喫足ヲ満足シテ夕刻辞去ス余等居残リ茶ノ喫足ヲ満足シテ夕刻辞去ス余等居残リ茶ノ喫足ヲ満足シテ夕刻辞去ス余等居残リ

（欄外）
（欄外）

天候 半雲 寒暖 記事

社會の合言

実業教育五十周年記念式典ニ参列ス

午后一時日比谷公会堂ニ於ケル実業教育五十周年記念式典ニ参列ス

午后一時半頃ヨリ池上本門寺ニ於ケル清浦会長ノ告別式ニ参列ス

午后三時半頃ヨリ池上本門寺ニ於ケル清浦会長ノ告別式ニ参列ス

（欄外）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半土社ヲ二回分ヲ得税支払ノ午後ヲ了ス
午前十一時半土社ヲ二回分ヲ得税支払ノ午後ヲ了ス
護國國ヲ命ス 午前川清忠ヲ訪ヒ面会ヲ求メ帰リ不在
ニ付ク会ヘタル処 私ノ高ヲ面会シタシトノ事ニ付 久松氏面会
ス 高ニ新カス事ハ取次ヲ未ヌト断リ置タル処 今ヨリ戦
ヲ止リ会人ハヤヌト断ヲ勤メタルヲ了リ右
候ヲ標標トシテ骨迫ヲフトスト右 不日 祭祝賀ヲ了ス
ルヲ了レ午ヲ了リ

午前十一時半土社ヲ二回分ヲ得税支払ノ午後ヲ了ス
護國國ヲ命ス 午前川清忠ヲ訪ヒ面会ヲ求メ帰リ不在
ニ付ク会ヘタル処 私ノ高ヲ面会シタシトノ事ニ付 久松氏面会
ス 高ニ新カス事ハ取次ヲ未ヌト断リ置タル処 今ヨリ戦
ヲ止リ会人ハヤヌト断ヲ勤メタルヲ了リ右
候ヲ標標トシテ骨迫ヲフトスト右 不日 祭祝賀ヲ了ス
ルヲ了レ午ヲ了リ

午前十一時半土社ヲ二回分ヲ得税支払ノ午後ヲ了ス
護國國ヲ命ス 午前川清忠ヲ訪ヒ面会ヲ求メ帰リ不在
ニ付ク会ヘタル処 私ノ高ヲ面会シタシトノ事ニ付 久松氏面会
ス 高ニ新カス事ハ取次ヲ未ヌト断リ置タル処 今ヨリ戦
ヲ止リ会人ハヤヌト断ヲ勤メタルヲ了リ右
候ヲ標標トシテ骨迫ヲフトスト右 不日 祭祝賀ヲ了ス
ルヲ了レ午ヲ了リ

午前十一時半土社ヲ二回分ヲ得税支払ノ午後ヲ了ス
護國國ヲ命ス 午前川清忠ヲ訪ヒ面会ヲ求メ帰リ不在
ニ付ク会ヘタル処 私ノ高ヲ面会シタシトノ事ニ付 久松氏面会
ス 高ニ新カス事ハ取次ヲ未ヌト断リ置タル処 今ヨリ戦
ヲ止リ会人ハヤヌト断ヲ勤メタルヲ了リ右
候ヲ標標トシテ骨迫ヲフトスト右 不日 祭祝賀ヲ了ス
ルヲ了レ午ヲ了リ

午前十一時半土社ヲ二回分ヲ得税支払ノ午後ヲ了ス
護國國ヲ命ス 午前川清忠ヲ訪ヒ面会ヲ求メ帰リ不在
ニ付ク会ヘタル処 私ノ高ヲ面会シタシトノ事ニ付 久松氏面会
ス 高ニ新カス事ハ取次ヲ未ヌト断リ置タル処 今ヨリ戦
ヲ止リ会人ハヤヌト断ヲ勤メタルヲ了リ右
候ヲ標標トシテ骨迫ヲフトスト右 不日 祭祝賀ヲ了ス
ルヲ了レ午ヲ了リ

午前十一時半土社ヲ二回分ヲ得税支払ノ午後ヲ了ス
護國國ヲ命ス 午前川清忠ヲ訪ヒ面会ヲ求メ帰リ不在
ニ付ク会ヘタル処 私ノ高ヲ面会シタシトノ事ニ付 久松氏面会
ス 高ニ新カス事ハ取次ヲ未ヌト断リ置タル処 今ヨリ戦
ヲ止リ会人ハヤヌト断ヲ勤メタルヲ了リ右
候ヲ標標トシテ骨迫ヲフトスト右 不日 祭祝賀ヲ了ス
ルヲ了レ午ヲ了リ

午前十一時半出社
石上君見泳氏未だ
午三時帰宅
寿美ハ竜山宗月夫婦、三之川、泰田ノ四人ヲ伴ニ水雅救済
会ノ為メ歌舞伎夜座観劇十時半迄帰宅

午前十時武田泰雄氏、余ノ病状ヲ気遣ヒ見舞ヒ来ル
十一時廿分出社ス 役重会議ニ出席ス
安達雄蔵氏ト清正公三百年祭ニ記念会申込ノ通金弐千円ヲ寄附スル事ニ決ス
午後二時退社
松村竜太郎氏来訪
午四時退出
竜山宗月ノ茶事ニ招ヒラル 三之川ヲ伴ヒ泰田邸ニ赴ク
久保清氏ヲ訪ヒ近況ヲ語ル
午後十一時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半右社
本田氏来御会常設ニ依頼サレタリトテ来リテ余ニ意見ヲ
午後四時二十分陸軍大臣ヨリ秘書官安藤少佐有末精三
氏ヲ御差入会補給金半額増加ノ件ニ付照会アリ
三井ニ意向ヲ糺シ確答スヘシト返事ス
夕刻四月末ノ分ヲ氏ニ渡ス
公四時頃ヨリ帰宅
寿美ハ葛山ヘ昨夜ヨリ泊リ今朝帰宅
正六夜九時四十分神戸ヨリ上京ス

午前十時四十分社ニ為替改ヲナサントシテ
ヨリ命令ヲ受ス
午後一時半ヨリ重役会ニ出席ス
夜分三井家ニ行キ
三井有久氏来社
三百円四本附ノ件ニ付キ意向ヲ糺ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 曇晴

朝より四時頃迄は無風にて秋晴の好天気なり十一時半頃より俄に神の律かツル吉祥寺にて葬儀ありて午後一時半より孫相手にて暮し六時帰宅す

一天無雲又風もなく温和なりしかば小鳥の囀り花カヨの様も耳慣れり特に数百羽鳥電線に列りたる様

小林茂へ本月分給料として金四百圓(内金百円は前借)を渡す

本日朝日夕刊に杜晴が為メに賀詞と辞職の広告を出す

湖上より飛行機と舞下りて相附近に降立ち暫時休みし鳥群何処よりか飛来りて其儘去らず

正午前十時五社を終りて祓ひ給ふ

午後より社友室にて松子栗北剣舞に対する謝金の額を評決す

三井家御次席迄年始に出頭す

三百万圓ずつにて我社は先づ差当り壱百万圓を以て此度は百万圓を以て本田永原両氏を招き会議社務株券会社の件に付て協議す

午後三時半より共楽倶楽部にて晩餐を饗す

帰途某処を訪ひ十一時帰宅す

天氣 晴曇

午前十時五社を終りて祓ひ給ふ

午後より社友室にて松子栗北剣舞に対する謝金の額を評決す

三井家御次席迄年始に出頭す

三百万圓ずつにて我社は先づ差当り壱百万圓を以て此度は百万圓を以て本田永原両氏を招き会議社務株券会社の件に付て協議す

午後三時半より共楽倶楽部にて晩餐を饗す

帰途某処を訪ひ十一時帰宅す

正六ツ半帰宅す

三助及隼太を伴ひ夜十時半発ノ浅船にて大島へ渡り三原山見物明後朝下田へ入港来宅す

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 陰雨 記事

十月三十日

岑行

秋季中学校長会
斯同創立十周年
記念ヲ
挙人会館ニ於テ時
刻

本日家族ト共ニ仏時五十五分熱海行ノ汽車ニテ岑
ニ赴カントセシモ生憎ニ降ニ例ノ持病ニテ一汽車ヲ遅ハシ
ノ時五分発ニテ出立、雨、傘ヲ雨ヤヲ伴フ
午時廿五分熱海着仮藤ノ自動車ニテ五時過岑ノ
別邸ニ入ル風内ヲ一周スレバ日ハ全リ昏ク欧養ノ花夫婦
差向ニテ雨ヤヲ、料理ヲ仔栗ニテ購フタル鮒ト鰍ノ
子ヲ加ヘ来宗ヨリ贈レタル松茸ノ味噌汁ニテ箇ニ食ス
快ニ食ヲ終ヘタリ
正六時半ヲ過ギ宅ヨリ動車ヲ以テ対岸島ヨリ葵
丸ニテ大島ニ渡航レタリ今夕別荘ニハ三原山ヲ見テ
宿ニ入リタリト思フ

天候 晴 寒暖 陰雨 記事

社会の今日

来宗逓信後援会
ヨリ仔栗ヲ以テ
工業倶楽部ニ
十一時半
ニ
逓信後援会ニ行
キ帰リ
工業クラブニ十一時半
ニ

正六時一行今朝下田着ニ座ニ後会セル仮藤ノ車ニテ
一旦今井荘ニ入リテ前十一時頃来荘ニテ昼食ヲ共ニシ
夕刻帰館
夜ニ入リテ雨

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



霜月・神鈴月
雪待月

石に題し紅葉焚くなり酒を煮る　北山

立冬　八日（前七時二十七分）
小雪　廿三日（前八時四十五分）

曜
七

日	月	火	水	木	金	土
...	...	...	...	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	...
...	...	...	...	...	...	...

●新　月　七日　）上　弦　十四日
○満　月　廿一日　（下　弦　廿九日

十一月

紅葉　信濃の高原は、落葉松が落ちつくして、蕭條たる冬景色だ。が、紳のこちらは、今が紅葉の眞さかり、龍ノ平のあたりは、滿山の紅葉、夕日の中に燃えさかって、觀る人の顏も紅い。谷間、礫氷の調音は、かすかに、紅葉を分けて流れる調が、白く岩に砕ける。日原には多摩川には荒川の水があつて、大東京の紅葉の雙璧と稱へられる。那須、鬼怒川の水があつて、温泉あつて、色の濃かなので知られる。筑波の雙峰を彩る紅葉は、太平洋の潮風を受けて、巖壁の奇、眺望の雄、山の觀瀾の好目標だ。

一日　新嘗祭前日・奏良正倉院物曝涼（十五日迄有効）
二日　去來忌
三日　明治節（明治天皇御誕辰の祝日）・靖國大祭開かる
　　（靖國神社例祭は四月廿三日・秋季大祭は十月廿三日）
六日　いとこ煮始（十月廿六日）
八日　西の市の祭、新宿・品川（馬喰町の大鷲神社祭礼）
　　各種の吉兆熊手を以て賑ふ。廿二日の酉・鷲
　　祭日本橋・神田明神祭礼・浅草三社祭・廿二日の酉・鷲
　　祭日本橋・神田明神祭礼・浅草三社祭・廿二日の酉・鷲
十日　大祭五穀豊穣祈願祭（明治神宮）・秋季皇靈祭
十一日　國民精神總動員實踐記念日・出雲大社神在祭
十三日　歌舞伎顔見世興行（～廿四日迄）
十五日　七五三祝（明治神宮・靖國神社・各神社）
十九日　一茶忌
中　旬　大師講（～廿四日迄）・酉の市
廿一日　國魂神社例祭・近衛篤麿公忌
廿二日　新嘗祭
廿三日　勤労感謝の日・新嘗祭
廿六日　宮崎神社神幸祭
廿七日　湯島天神祭
三十日　歳の市（～十二月一日迄）
下　旬　事業者商店等賞與開かる
○此月霜注の候。又此月より冬賞與を開くもの多し。賞與に始まり賞與に終る例へ一年間の一大呼吸。
此月に始まり此月に終る例へ一年間の一大呼吸。
「傘生」　胸病・喘息等冬季に起り易き疾病の注意、冷水摩擦の勧行。

季寄　[時候]　初霜、初時雨、火鉢、暖業、初冬、冬の月、霰
野、冬の鶯、種菊、木枯、薄氷、神樂、冬の雨、歳暮、[花卉]
時、山茶花、紅葉、黄蝶、鐘木、菊、冬籠酒、ゼラニューム。
（[動物]には狐、ブリーザー、木兎（[魚]）、かながしら、鮪、鯨、伊
豆大島、鯛、さわら、鰯鯨、鮭、鱈、きす、目張、いぼ鯛、いしも
ち、鮫、大根、漬菜、白菊、馬鈴薯、うど、蜜柑、金柑。

遊樂　遊樂四分、箱根七分、江ノ島だよりが聞かれる。
る頃ともなれば、暖かい小春日和がつづく、併ゆるはかりの山道もドライブして、温るる温泉に浸る快きは又格別である。陣営設営は愛々自然して設営場は日毎晩荒の巣を呼ぶ。七五三の祝日、若鶴つた女が神前に加護く祝らしい。西の市には大小の熊手に紙吾を脱ふ人で一杯。又この夜東京遊園には遊女接待具の行事あり。寺院には十夜講行はる。

紅葉の旅　東京附近では、日光中禅寺湖をめぐり、箱根芦ノ湖をめぐり、伊豆山伊豆半島をめぐり、長瀞、秩父、昇仙峡、身延山参詣で、関西には、高野山、嵐山、嵯峨の紅葉、宮島、新和歌の浦、高野山参詣で、京都、通天橋、どの八方、四國の紅葉探勝。

趣味　園藝の茶事の時收、雑集、雑年植物に肥料を施し、果樹の剪定を行ふ。茶木、桐苗、柑橘、薔薇に霜除の設備をなしちき、人参の手入を怠慢す。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昨夜ノ強雨ニ渓流水増シ遠雷ノ響キアリ天候恢復シタルヲ以テ今度ハ園内ノ蔬菜ヲ採ル正六時半ニ来ル

料理人貴志文治郎三時半頃小林様四時半頃東京ヨリ来ル皆明日ノ来客接待ノ為メナリ

今朝秩父ノ下請負ヲシタル 来リ山ノ番ヲ持来ス 落成祝賀トシテ森美平許リ北園ヲ以テ猛獲別荘番 鈴木磯五郎ヨリ十月分 計菜壱百ヲ送リ来ル収入採越ト共ニ 石四拾六円松茸弐 支出金百七円弐拾銭 松茸弐残金三拾五円也 三松老父也

夕刻正六八十代十葉ト食膳ヲ 共ニ六人連ル時頃今井荘ニ帰ル

谷晴 陸郎

深田清次郎二男信雄ト 次女礼子ト 結婚披露ノ為メ来会致ス 右五時半 新

弘敦壱 創業五十周年記念園遊会 深川清次郎右衛門 時半 新

本日ハ明治節ニ日雇ヲ休職スル筈ニテ 奥伊豆地方ヘ団体旅行ニ行ク為メ留守ニ付 道路掃除ヲ 待ツ為メ職人ハ園内ノ 掃除ニ忙シ午代ヲ 午後ヨリ来ル者ヲ待チ 門口ヲ廿ニテ 巻柿ヲ縄ニテ 鳥首ヲ 肩ヲ 血晴蛙 落葉掃キ 山茶花咲キ 日光ヲ 百日紅 散リ 黄櫨紅葉 山茶ニテ 秋深シ

明治節 業合バスニ 乗合バス 梅

午後四時過ニ三名川百太郎 春木栗造 原田甘方 太郎ノ三氏激遠 勉強ヨリ来宿 先ツ園内ヲ案内シ 茶ヲ進メ入浴後 六時過キヨリ 食堂ニテ歓餐ヲ 共ニ正六相伴ス 余ハ 貯ニ 一八五年製 ウヰスキー一瓶ヲ 提供スニ 名十六ベリニテ 之ヲ賞翫ス 会後 余ハ客間ニテ 三名川春木ハ 母屋ニ 横臥ス

十時半一行就寝

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨夜

一行七時半起床八時半入浴朝食九時半小林成ヲ付テ仮宿ノ母宛書ヲ認メテ下田着ヲ見初セヨ十二時神奈午ニ食ヲ共ニスヘキ旨時半一行歓待ヲ謝シ大満足ヲ表シテ辞去又自動車ヲ提供シテ天城越ニテ沼津驛ニ送ラル

正彦モ明日ヨリ工場ヘ勤ノ為午后四時発東海岸ヨリ熱海ヲ廻テ国府津ニ出テ九時頃ノ急行汽車ニテ下神ノ筈ナルヲ以テ之レヲ変更シ東海道ヲ通ル事トシ今井荘滞在費ヲ支払ヒ正彦ニ金百圓ヲ手交ス

夜八時半代々木ヲ出発栗ヤ今井荘ヲ引拂ヒテ来ル

天候 晴 寒暖 昨夜

天気好ケレド風強シ

三七川氏一行ヨリ飲残リノソチスキーヲ遺志ノ名遺族ヘ手紙（熊毫）来ル

午前六時半起床朝食ヲ了リ眺望ヨキ処ヨリ暫ク眺メ居ル内ニ一行ノ荷物ヲ積ミタル馬車来リ合セタルヲ以テ正彦ヲ始メ一行ハ徒歩ニテ馬車ニ従ヒ山路ヲ下リ約一時間ニテ大木ノ見分ケ難キ大樹ノ下ニ到リ馬車ヲ乗リ捨テ更ニ徒歩ニテ信太郎ト共ニ三井ヲ上沢田ニ出テ鎌ノ木峠ニ於テ馬車ヲ待チ受ケ之ニ乗リ込ミ一路ヲ急ギ午前十時半頃ニ信太郎ト殿取リヲ打合セ置キタル山椿ノ

天氣 晴天 曇 雨 雪

國性文藝会社本大会
半人会報 前

[illegal] 半岡生

欠席 遅参 早退

社會の今日

殘ト信太郎外三名ハ上沢向ノ椿ノ姫起ニ赴キ牧太郎及正木米次ノ両人ハ殘リテ横井戸附近ノ修葉下草ノ植替ニ從事ス

夜分壽美久振リニテ暖ニ悩メリ

〔小雪〕字朝ニ殘雪ヲ見ル小雪風 かなめ

天氣 晴 曇 雨 雪

半晨

欠席 遅参 早退

社會の今日

朝、夜半ヨリ雨今晩止ム正午ヨリ雨降リタルモ夕方ヨリ風強リ晴天トナレリ

牧太郎及米次ノ両人ヲ午后ヨリ大椿姫起ニ遣リ今朝午六時ヨリ神ノ古川久七氏死去ノ電話アリ午後ヨリ発セシム

正午頃郵ヨリ古神還暦ノ祝品并ニ案内書轉送アリ

濱松城内ニテ京席錢樹松乃十三方余ニテ敗北ニ歸リテ錢ヲ脱シテ此松ニ縣ケ汁ヲ入レタリト林スルモ二百六十年ノ今日松死ニ代目ヲ植付ケタリト東日辭阿吹ト見エ

山ふかみ人目を忍ぶ小太賀草
高ひくたの一凪もうたゝ平　岩波木信圓

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

天氣	晴	寒暖	晴	記事
發信		受信		要信

一天雲ナキモ西風強ク吹ク 茂信、故 其他七人ハ本日モ上沢田ノ椿班起シニ従事ス

午前二時五拳 銀ノ為雨迄板枝ノ女ニル 壽美座ニテ来リ小栗ノ家来カヲ 農ハンタリ 此時過自動車ニテ 上沢田ニ到シ椿班起シノ工事ヲ視ル

本日新年ノ題発表アリ

池辺 鶴

大庭ノ池ノ水ヤヽ乏シク立ツ雀カ

雪か十歳を祝ふ一こゑあり

鶴 遊ぶ池のおきさ乃薄氷 子洗ふ形異に

初日本足健

昨朝午前七時女形ノ名優尾上梅幸死ス享年六十五歳、茨木、三十歳、お岩ノ至芸復視ル可カラス可惜

始めて京都の宗旨に属さぬ者もむしか（神龍院）　ルーズベルト氏第三十二代米國大統領に當選す（昭和七）

社會の今日

天氣	晴	寒暖		記事
發信		受信		要信

晴ノ上ニ西風吹ク 朝工業倶楽部ノ中村元督氏ヨリ来ル十日物故会員追悼式挙行ノ件ニ付意見問合セアリ承知ノ旨返答ス

午後三時半寿美会座旧県庁ヨリ下沢田石切場ヲ座ス山路ニ分ケ入リ渓流ニ沿フテ山上成金宮畑ノ僕松ノ茶店ニ到ル山腹ヨリ眺ムレバ寿美ノ山岸ヲ称ル引返シテ旧県庁ニ出テ上沢田大椿、鳴神ニ至リ工事ノ進捗ヲ観峯椅ニ向リテ藁ヲ着帰庄 道程一里ト称スル 久振リノ長歩行

瓜金キ気候温和ナリ今朝子代子宅ヲ訪ヒ
依旧ノ事ニテ来京ニ帰ル小林茂ヲシテ之ヲ護送セシ
メ金次ノ買物并ニ荷車使ヒニ小林ニ三松園ヲ午ヲ
依旧ニ本日迄ノ自動車賃四拾五圓ヲ支払ヲ
ル夜崖下ニ転落シタル大椿ハ夕六時頃漸リ元ノ所前廻
路ノ位置ニ戻サレタリ

國民精神作興の大詔渙發（大正二一）川崎町隊旗五十七勇士等家屬西南ニ金城を攻落さるる（昭和七）

ヤリ瓜ヲリ山ノ田辺後ヨリ送リ来リタル山駕躑躅五十
株ヲ供ヒ手驛ヨリ柩屋ノ自動車ニテ運ビ来ル根本
ヘ手紙ヲ為サル為金部始メト栃木トヨリ仮植ヲシ
タルモ枯死スルモノ多カラン
午前九時頃ヨリ人力旅館ヨリ出火台所ヨリ全部ヲ焼キ払
ヒテ大事ニ至ラズシテ鎮火ス幸ヒ風向ク失火ト下火手伝
ヲシキ田舎ハ騒動一方ナラズ大椿ノ移植ニ従事セシ
職人達ハ近火ノ事ト下峯消防ノ一部ノポンプヲ引
セシ消火ニ勉メ鎮火後ニ内両人ハ遂ニ帰リ来ラズ
為メニ植付ヲ了スル事ヲ得ズ
黒田重兵衛氏ヨリ見舞ノ為金ヲ前ニテ
金弐圓ヲ御恵投ヲ受ケル川東茂博ヨリ
日午許ニ送リ来ル筈

大和平野に第三十四特別大演習を行はるる（昭和七）　参合對策對林歌謡歌詞（大正七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気清朗風すく今回轉地中、最善ナル日和ナリ
午前九時過宮田重兵衛ヶ使ヲ以テ昨日招来ノ針匠
ヲ伴ヒ来ル
三好重遠夫人より菜千壱折寿美花ニ贈リ来ル依秒ナリ
尚半ノ方来平氏より盤城セメント社長岩崎氏ノ依頼ヲ
受ケ同社ニ開カルヽ
セメント統制委員会ニ欠席ノ通知ヲ
会長ニ電報ノ為メ有内統制会社電報ヲ電報ニテ
申越ニヨリ賛否ノ長ク様ナキ為岩崎
氏ニ得ヘラレタレト返電ス
小城庫二ヨリ自用自動車供覧ノ往通寿美迄
今時ヲ告ケニヨリ来リタル木村林次郎氏ノ午餐ハ
辰祝トシテ御馳走ニ
花瓶壱対ヲ贈ル
今夕刻ヨリ大椿ニ植ヘアル時ヲ期スル一同町人従平七人分ヲ集
メ慰労ノ為メ会分二日ヲ費シ
著ヨリ小板ヲ頂ク名ハ残
ンコトヲ祈ル

会ヨリ金刀比羅宮門前岸観ヲ添ヲ枯レヤ

平氏三井寺を焼く（治承二）　大禅服を制定（明治五）　警視庁職分課規則を改正（昭和七）

天気曇夜晴
夕雨

今朝峯橋附近ノ民会ヨリ
楼ヲ本ヲ贈ニ来ル高サ丈余
午頃ヨリ
中島ニ杉植ヲ了セルハ午前十一時ヨリ結
束ヲ百弐拾有余ハ個ヲ残シテ
余ハ保護ノ為メ知リ取
リタリ代金
地元ヨリ円五拾銭ヲ毎戸ニ
十台ヨリ職人三人牧太郎ト共ニ
防寒防暑ノ為大椿ニ菓
巻ト跡片付ニ従事ス五時終テ
七時頃ヨリ雨降リ
来ル天祐ノ恵リ
川前ヨリ植ヘシ歳経シ大椿
見上ル空七月蛍ノ如リ
夜雨降ル
軒ノ玉水音冴ヘテ淋シキ秋ノ末となり
ぬる

和田義盛の叛軍滅亡す（建保元）　蘇峰文和平交ヲ提ヲ提ヲ（昭和七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

夜来絶ハ今朝ニ到リテ出ル気候温和ナリ

牧太郎、米次、庄助正夫、四人ニテ大椿ノ牛死ト下草ノ植付ヲナシ池辺ノ大松葉ノ衰枯スル余因ヲ確ム為池ノ周囲ノ芝ヲ石ニ沿フテ掘割リヲナシ其部分ニコンクリトヲ施シ池水ノ浸入ヲ防ノ手トス

午前壽吉、家才貴トシテ百圓ヲ預シ夜分牧太郎ニ前月分不足三拾九圓三拾六銭トヲ十二月中旬迄支払用トシテ現金三百五拾圓ヲ午交ス

夜分峯前防吏（部次ノ見習新栄貴四百圓ノ内金弐百圓ヲ請附スルヲ午交スル為来店人ヲ引見ス

峯別室庭園供築為使用ニシテ職人ノ工ヲ有ス、牧

（箱根ノ外ノ如シ）

小林信太郎、仝人妻（平男）正木米次、植松庄助

鈴木慶、井上正夫、土屋幹三、仝人妻ヨリ（年賀）

貝原益軒生る（寛永七）　幼稚園を設く（明治九）　フランス軍艦築造着手する（昭和七）

皆晴

朝ヨリ一天雲ナク気候モ温和ニテ小春日和ニ立戻リタルノ感アリ 四方山モ次第ニ黄ニ染ミ月モ上弦ヲ超ヘ今暫リ雫在致度思フ折柄、九ツ半ノ時午ヨリ未並ニ本日午後一時ヨリ冷一同帰京ノ余ニ就キタリ七ツ前本日就業ヨリ職人（牧太郎）五人ニ五圓、右（牧太郎）、信太郎ニ各五圓ノ祝儀ヲ与ヘタリ尚ホ庄造リニ従事シ目下病床ニ臥有ニ見舞金五圓ヲ遣ハス事トシタリ

自動車ハ例ノ仮設モヤリガ見苦シク候ニ付新リ猫車ニ改造シ来リ候ニ付仮ニ為メ一枚車ニテ五時ノ普通車ニテ仝ク発七時八分東京着自邸ニ入ル

泡代神ニテ海中ニ紅ノ海立ツ

幕府萬年青の賞翫を禁ず（寛永五）　琉球国使節来聘（享保四）　幕府萬年青の賞翫を禁ず（寛永五）　琉球国使節来聘（享保四）　博覧会を開催する（明治一）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

甲 十 明治 大正 昭和 年 一 月 十六 日

天氣 晴 寒暖 昨日 記事

発信 電報 書信

朝永井前松相ヨリ会見ノ申込アリ明夕八時私宅ニ会フ約束ス 五勝ノ金次据変十一時半分ニ社ヲ去ル 依テ此ノ金次ニ対スル弁償金額ニ付打合セアリ 自分ハ宗教神仏水害等ノ義援金ニ付テハ 図ヲ他ノ振合ニ準ジ五拾円ニシテ呉レト答ヘ 事ニ氏ハ弁百円ニ弁償ノ事トナル

午前十時ニ衆議院ニ出ル

午後二時ニ社ヲ出テ東京商工会議所ニ行ク

午後三時ニ副社長ヨリ商事務所ニ副長中島資之介ノ件ニ付内談アリ其必要ヲ認ム 帰宅ヲ交換ス

此時退出芝区内ニテ弁当ヲ認メ 帰宅ヲ内祝ニテ招待ス

テレタル礼ヲ述ベ 此ノ端ノ事ニ 臨席九時帰宅

天氣 晴 寒暖 昨日 記事

発信 電報 書信

午前十時高工大正会ニ出ル セメント統制第二回ノ委員会ニ列席統制権ノ発動ヲ可決シ十一時半ニ社ニ帰ル

午後社長ヨリ面会申込ニ付テ 報告ヲ聞キ 引続キ銭事ニ付テ 報告ヲ聞ク

針業山下常務ヲ招キ 川津漁業組合ニ 斎氏ヨリ頼リ川津漁場ノ 針ニ関ヲ渡シ調査ヲ依頼ス

四時退社九ビルニ立寄リ現代仏画ノ小展覧ヲ観ル

時半帰宅

寿美ハ十代ト共ニ三助ヲ伴ニ新川久栄ニ招待ニ応ジ帰宅後七時半夫ト共ニ妻ノ君ノ処ヘ 寄リ帰宅ス

十代ハ妹美代ト共ニ能ヲ観ニ出キ十時半帰宅

右ハ時永井前大相氏来訪ノ件依頼ノ 時半辞去

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴夜雨 寒暖計

朝十時神祠ニ参拝、秀旺(三男)来訪、逓信病院薬剤主任トシテ就職周施依頼ノ為メナリ、公人ニ五年前来大医科卒業ノ際ニ十七円借用ノ事有ニ付、本日ニ至テ現在ノ残金ヲ見込ニテ十七円ヲ以テ辞職セントスルモ一ヶ月ノ後ニアラザレバ下ゲ難キ旨ヲ以テ辞職書ヲ送リ置キタリト申ス、ヨッテ一時廿分寿美ト共ニ之ヲ取ニ遣リ、何レ机上ニ東京ニ来リ次第ニ返済スベキ

備考	摘要	欠勤	遅刻
晴			

午前十一時半出社 出前心ならず高ブル
伯松村亀太郎氏来訪オフセット今一台支村工場ニ
買入レ呉ヨウ ノ事諾ス
カ石六斗四升六日一死亡明日ノ葬式ニ花輪
ヲ贈ル事トス
四時退出帰宅
夕六時廿分ヨリ岩武ヨリ電話アリ五一五事件
ニ関シ 春盛亭アリト 憲兵伴ヒ 即刻
リタリトテ中村ヨリ三郎迎ヒニ来ル 全人八時
頃退去
奈良弥吉郎氏市内阪本武氏ヘ 公民先有仙次氏
ヘ消ス 感想等ヲ送ル 仙次氏ヨリ 依頼ノ
件ニ付キ

備考	摘要	欠勤	遅刻
晴			

午前十一時半出社
昨夕ノ表彰ニ付特務部ヨリ感状ヲ授与セラル
安藤中尉等同席ニテ 士官学校生徒十名
モ出席ス 件ニ関シ 昨日軍上軍艦ニ於テ
カ六ヘ礼ニ退出
歌舞伎ニ入テ牧野内ハ西田ハ名ヲ称ス 其他新聞記者
トノコトナルモ 堅ク断リ入ル
陸軍新内ヨリ 依頼ニ
午後四時ヨリ工業倶楽部ニ於テ大正十四年ノ一回追悼
会ヲ後援スルノ 物故会員ノ(百六拾四名) 内遺族六拾
会名出席 追悼映写会ヲ開キ 会長牧野ハ一片ノ追悼辞
ヲ述ベテ後ヨリ(午後六時ヨリ)会員八出席ヲ 物ヘル者ハ
九四名其内欠席ヲ通セシモノ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

木曜 二の酉 十一月二十二日 甲十一 戌十一 月 日

天氣 晴 雨 雪 風 強 弱 靜

發信 受信 配達

午前十一時出社 持別ノ儀モナキヲ以テ社長室 会議ヲ見合ハス

午后二時日本郵船重役会ニ出席 保険室ニ於テ

午后四時退社 帰宅

奈良県知事ヨリ柳瀬参事官ノ新職ノ件ニ付電話アリ

此日後ヨリ母堂庚午ノ古稀ニ付ヨリ日分ニ付祝ヒ到来

（朝野）新聞の賀ニ…ましく記事掲載される 原 村

木曜 二の酉 十一月二十二日 甲十一 戌十一 月 日

天氣 晴 雨 雪 風 強 弱 靜

発信 受信 配達

午前十一時出社 持別ノ儀モナキヲ以テ社長室 会議ヲ見合ハス

午后四時日本郵船重役会ニ出席 保険室ニ於テ

午后二時退社 帰宅

奈良県知事ヨリ柳瀬参事官ノ新職ノ件ニ付電話アリ

此日後ヨリ母堂庚午ノ古稀ニ付ヨリ日分ニ付祝ヒ到来

（朝野）新聞の賀ニ…ましく記事掲載される 原 村

本曜 小雪 戌 亥 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉

社會の全日

病名 病症 寒暖 病状 記事

和田市長氏告別式

發信 受信 發信 受信

朝九時 木橋新太郎氏葬儀 故基金 松本西園寺集作れ 近衛公 依頼す 妻ケ未だ 書類す 船田氏 に渡し 置く 途次 セしム

午前十一時七社 後楽 ささ以て 社長室 会議す 八件ガス 錦倉 何れ未だ 南次郎大将 私邸 書面す以て 八日 会報待 業務す 永ム

松村 謙太郎氏 来訪

午后四時 医師 帰り

夜分八時半 電話 有 会セ 依来永井 柳太郎氏 来訪

公十時 辞去

河津濱惠田 宅 来 倫敦 ヨリ 校閲 校校 来ル

夕刻 自分 寿像 台製作 為 彼 剣像す 松浦家具店 主 交ス

(欠缺) 往来 左 眼 に 集 光 の 殺 火 鉢 施 華

貴族院令人陸軍に大給を建造せしむ（建艦問題）　衆議院事務会 自支 討論 入る（七和昭）

社會の全日

病名 病症 寒暖 病状 記事

半量

岡井次郎氏 来会

来京会 依 午後九時 断

会日本来 途 撰 て 振 参

日比谷 新 音楽堂 前

寿美 容病

發信 受信 發信 受信

昨夜半 寿美 容 度 喘息 悩 終夜 苦 ム

余 も 為メ 一睡 も 寿 ず 早暁 車 雇 ヒ 来 ル

藤岡 牛 招 ク 医師 診断 ヲ 仰 ギ 又 ハ 引起 ス ヤ モ 幸 ニ シ テ 今 平熱 ナ リ

ヤ 服剤 ヲ 呑 ム 仍 テ 発 ス ル ニ 至 ラ ズ 大 ニ 慰 メ ヲ 得 ス ト 雖 モ

余 ハ 老 体 ヲ 以 テ 看護 ヲ 婦 ニ 委 ス ル 能 ハ ズ 千 后 近 夜 来 ル

来 ル 夕 刻 帰 ル ベ キ ヲ 洗足 ノ 邸 ニ 泊 ル ベ キ 夜 分 久 ク 寝 ル

淑子 ハ 数 ヶ 月 来 リ 見 舞 ヒ 折 柄 薬 三 ヤ 及 ブ 分 上

ル ヲ 停 ア リ テ 昨 夜 上 野 度 盃 藤 氏 ヲ 迎 フ 来 夕 帰 京 ト

決 セ リ 仍 テ 此 際 大 切 ヲ ト テ 近 所 氏 宅 ニ 電 話 会 氏

宅 ニ 供 ア リ 看護婦 来 ル 数 時 後 ヲ ル ト レ 仝 人

十一時 来 邸 着 病 ア リ 為 酸 素 吸 入

ヲ 午 前 ヲ 経 テ 稍 ヲ 得 ル 為 メ 帰 ス ト ア リ 会 ヤ

一仝十一時半 辞 去 余 モ 看護婦 ヲ 得 テ 安心 シ テ 眠 リ ヲ

得 タ リ ト ガ リ ン 氏 ヨ 松五 丹 ヲ 下 ス 度 ヽ

公所官吏の美服を廃す（勅令三四）　カーネギー生る（一八三七）　高吉山の密書盗難に関し監獄に関係者を召喚（七和昭）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

雨

日本産業組合中央会ニ出席ノ為メ午前十時半上京ス

午後一時半ヨリ日本産業組合中央会ニ出席ス

午後六時半ヨリ日本産業組合中央会ニ於テ開催セラレタル晩餐会ニ出席ス

午後八時半帰宅

昨夜ハ壽美子分娩ノ為メ熟睡ヲ得ス眠リ只今朝方ヨリ暗クナリタルヲ以テ俥ヲ命シ

午前十時過ギ丸友ニ立寄リ久保清子ヲ見舞ヒ来リ真ニ元気ヅキ帰リ来ル

午後一時半ヨリ日本産業組合中央会ニ出席ノ為メ上京ス

午後六時半ヨリ日本産業組合中央会ニ於テ開催セラレタル晩餐会ニ出席ス

午後八時半帰宅

天候 晴 寒暖 昨日ニ比シ

武蔵野音楽学校ニ於ケル恰祝ノ会奏演ニ関スル会議ニ出席ス 午前七時

針業会社状況ニ付 右一時半ヨリ

壽美今朝三十八度七分ニ昇リ明ケ方ヨリ咳キ止マス 夕ニ至リ八分(一粍許ノ事ナラン)完全ニ下ル 然レドモ十時半迄ニ食ヲ終ル 夜ニ入リ稍安眠ス

南大井鎌倉ヨリ来訪ニテ八日会出席ノ事ヲ依頼ス 正式ノ案内状ヲ発シ会員ニ通知セラルル筈ナリ

此ノ両度ニ亘リ計算ストシテ百五拾円ヲ井上ヨリ送附セラル

針業会社状況 原案ノ儘可決 配当ヲ割引歩合ニテ来年二月一日ヲ株ノ引用ノ事

(恰祝ノ件)

天候 晴 寒暖

日本橋区会議所会頭 午前九時

日本商工会議所会頭 午前十時

全国及在外商工会議所代表懇親晩餐会 来ル会館ニ於テ六時

日銀会計検査終了 午前十時ニ来ル

壽美ノ体温三十七度ヨリ三十七度五六分ニ降ル 医師ノ此処数日ヲ一区分トシテ最危険ノ期ト見ル 詳ニ

先夜ヨリ寒気大ニ加ハリ全治ノ期ヲ予定シ難シ

祥平ヨリ来レリ 無事小林氏ノ吉報ヲ齎ラシ 金庫ヲ開ケ 金弐百五拾円ヲ 金弐百五拾円ヲ

月末支払トシテ井上ヨリ送ル

蒲原春田両氏一仕ヨリ来ル 明日華士会館ニテ福沢ノ序ヲ以テ自己ノ件相談ノ 見上全人ノ壽美及余ノ病気ヲ極メテ平生ノ如クスルヲ以テ 祝トシテ午餐ヲ共ニスルヲ以テ 余ノ自由ヲ奪ヒ之ヲ送ル 良一ヨリ余ノ自由ヲ奪ヒ之ヲ送ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候	晴
温度	
湿度	

発信	受信	証言

寿美次郎、転伏、今朝二十七度一分より千伯三時二十六度九分下り順当すり亜次玉善ブ

千伯三時頃半合敏良了許、会人家内、箱俑漆模
隊版地、及作、社無と良、千りタイ 成而千一箱、
漆下ヲ添ニ賜

俺報ヲ以テ塾海流全直文、表列ヲ別ル
ク刻郵便 会社無 教寿牧ヨリ 様会、テ系ス来無
異找可次品風

ロンドン海軍軍縮全権一行渡英（昭和四）　在露帝国大使館開設（昭和七）



師走・梯月
春待月

雪折

帰り路のあなどりがたき深雪なる 美穂

大雪 八日（前三時五十七分）
冬至 廿二日（後九時五十分）

月相

●新月 七日　◑上弦 十三日
○満月 廿一日　◐下弦 廿九日

曜	土	日	月	火	水	木	金	土
七	1	2	3	4	5	6	7	8
	8	9	10	11	12	13	14	15
	15	16	17	18	19	20	21	22
	22	23	24	25	26	27	28	29
	29	30	31					

年暮る

秩父おろしの寒く吹きつのる朝、工場の汽笛の響も何やら角の立つ鋭さに響く、忙しい町の人足、師走だ、歳晩だ。大賣出しの商店街にひらめく旗の色の鮮がしきりを織りゆく人の群れ、景気づけの楽隊の喇叭も人の心を慌しくする。夜の明るい盛り場にはカフエのネオンに交つて飾窓のサンタクロースの笑顔が見える。小雪も時をり訪れるクリスマス時分、教会の塔からひゞく鐘の音の静かなうちにこの「年」の亡き骸を葬るのかと思ふと感激も深い。餅つきの杵の音も結ひ綿の若い娘が羽根つきに餘念ない。

一日 乙子の正月（元日節を含まれは本暦を偲ると言ふ傳ふ）初子 板締列車出（前内各駅・特終神統大神祭
五日 納の太公望忌・日蓮宗開命講
七日 八幡宮神輿渡御（大分）
八日 大雪 冬至 納め大師 大師講
十日 納め地蔵 水田神社 大神祭
十四日 坂神地方正月（十四・十五・十六・十八・廿一・廿二・廿四・廿五・廿六・廿七・廿八・廿九・三十日）
十五日 庚申・庚申待（前内各所）・義士祭（泉岳寺）
十七日 庚申・庚申待（前内各所）・義士祭（泉岳寺）
十九日 官庁御用始（東京）
廿日 平賀源内（没）
廿一日 冬至 納め大師
廿二日 納め地蔵
廿四日 納めの大師
廿五日 已 已
大正天皇祭・クリスマス・梅村祭・議場仮休業式・此頃より門松の造問屋売れ・新年般賀状特別外國郵取扱開始
下旬 納の不動尊詣・官庁御用納
廿八日 歳末國税調査上
廿九日 大祓だけら祭・筑紫宮崎宮神幸祭・年越の行事・除夜の鐘
廿一日

○此月下旬より製糸工場女工多く帰郷す○家庭總動定○春衣の調製○屋内設飾の時機○送年新酒出づ

〔衛生〕 流感・電機・感冒の豫防。

季寄

〔時候〕 初雪、歳晩、冬晴、冬木立、冬野、千鳥、寒鳥、寒雀、枯野、冬の川、冬の田、寒月、木枯、師走、師走、年の暮、除夜、〔花〕 早梅、南天、藪柑子、万両、水仙、寒菊、寒牡丹、雪割草、福寿草、〔食品〕では、フリージヤ、カーネーション、プリムラ、デルフ、ポインセチア等、〔動〕 鶴、むつ、鷹、雪、雪兎、ふゆ、赤狐、鳥目、鳥の巣、〔食品〕 鶴、むつ、鷹、雪、雪兎、ふゆ、牛蒡、長崎。

遊楽

風木大賣出しのビラ、ポスター、ネオンの光、街の景気の賑ひしさ、勿論に、新年の支度に、デパートは品定めの客で朝のうち、クリスマスの夜は帝国ホテル始め各所に仮装舞踏会催され、ピエロやサタンが歓場の一夜を踊り狂ふ。大師、不動尊、水天宮其の他諸神仏へ詣めの参詣で大賑、大阪神社には古来名代のおけら祭の参詣でスケートはラグビー、ボクシング、野球の冬に向ひ相撲つ試合多く下旬を北、信越の各地より積信しきりに、スキー列車の運転をする。

歳末の旅

熱海、湯河原、伊豆温泉めぐり、箱根、那須、草津、有馬温泉。

スキー

〔上越線〕水上、宮川、湯檜曽、湯原各温泉。赤城山、妙高、赤倉、杉ノ原（信濃路）黒姫、妙高、赤倉、飯山、上林各温泉。富士、北岳、間ノ岳、東北各温泉、磐梯、五色温泉、伊豆山、九州、北海。

趣味

新年開歌会の詠進、歌留多の練習、謡曲の謡ひ、人参蕪漬の調製、果物其他諸菓の移植、秋蒔草花に落葉の設備、霜囲、雪除、笹巻、笹の中耕施肥、凍庇内に胡瓜、茄子を蒔き始む。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信	着信	受信
晴		

熟海ホテル発電話
三島驛前七時十分
熟海建設事務所
沖 清

丹那盆堀開通式
熟海ホテル接待
公所技手以上参会

寿美昨夕刻一時三十七度五分ニ上リタルモ夜半ハ全
斗分ニ下リ今朝三十六度九分正午八分ト十九度
後氏来診ノ上ハ脈搏モ稍整ヒ体温モ漸次ニ降下シ
午ヨリトハ下リ余モ席ヲ設ケテ皆ト共ニ食事ヲ
ヲ支障ナキニ何事異状ナキトノ事ナリ安堵
ヲ未ダ予断ハ禁ズルモ先ヅ峠ハ越シタルモノト
時目醒ム

市川 教一郎 出京原 氏ヨリ帯在中 廿七日発病
喘息ヨリ来ル脈 痲痺ニテ昨三十日死去 未ダ葬地ハ
領手ニ付別ニ行ニ不決 伺書ニテ京ニ在ト判ノ
ヨシ知ル 公所ニ井上所長母堂死去明日 営葬ニ付
大阪福地某ニ会同 死亡ノ答ヲ見 久世秘書ニ依頼シ
ニ市内会葬ノ件ヲ依頼シ 市ヨリ係ノ
氏ト同伴上京 輪ヲ賜フベシ

熱海 沖 清 松本健次郎

レ各自 鮮魚ヲ贈ラレ 皆大ヨリハ 余ノ明日ノ 迎ヒ

発信	着信	受信
晴		

井上所長母堂葬儀

北日本使ヒノ衣服
御度御計ヒヲ頂
テ布施定金ト入
ノ香

本日ハ快晴ナリ加フルニ余リ暖カニ昨夜ハ
寿美病気ノ為メ終夜看護ニ於ケル親戚関係
ヲ以テ 根子阿ハ祥殿二階ノ客間ニ
内祝ヒト度ク厚子ハ旅館ヘ賜物 帝ヤトセラレタリ 開キ
時起床病気大体ニ於テ安心ノ模様ニ 祖高ノ神棚ヲ拝シ
会後ノ 両人共無事ニ成ス 祈ルノ外ナシ
ヲ以テ 久保清子ヲシテ 帰ルヲ以テ 余ハ之ヲ祥
殿ニ参内シテ 祝物ヲ授ケラル 帰ルヲ以テ 余ハ之ヲ祥
ヲ以テ 会後大使ヨリ 午前中ニ 午前中ニ
師ノ来診アリ 疾患ハ 其後病ヲ三度ト 治マラザルヲ以テ
一時間 速ヤカニ 其後ハ 其後ハ
金五時迄ニ再度来診セラル 其時ニモ 治マリタリ
其後寿美病態ヲ 拝シテ 根子ノ棚更ヲ 生花ヲ
両人共到底 無事ニ成ス 祈ルノ外ナシ
ルヲ以テ感念ニ 気分回復ヲ 両人会食ヲ 祈ノ義ヲ

モ相当ニ来リ会シ 会食ヲ 脈ヲ 寿美ヲ 赤飯外 解毒下リテ
三十六度七分 表ノ 帰宅時 祝ヒ 祖ヒ 祥ヒ 記ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

今朝壽美八昨日ヨリ為メヤ咳嗽アリ仕舎セニ停温
ハ三十八度九分ヨリ三十七度二分ニ三時三十七度ニ下ル尚夜ニ
ハ殊ニ余ヲ気遣ヒ来訪セラレ且ツ日ヨリ森ニ
講メス（今晩ハ下痢ス）ト丁寧ニ昨日ノ模様ヲ不審カ
テレ他ノ名医ト共ニ外科ハ後日ニ延バシトリ
止ム被ヲ二時頃ニ帰リ夕食ヲ共ニシ七時過自動車ニテ
送リ返ス
正六夫婦宅ニ而栗ヤヲ伴ニ本日（一時半発）櫻ニテ帰
神京都水野敏之氏令室死去ニ付香奠ヲ始メトシ依頼
ヲ受ケ
日本画 橋本雅邦 一、（麻雪）菊地容斎（契月）谷田新三郎（虫太）
洋画 藤島武二、岡田三郎助、和田英作、硲伊之助、山崎朝雲
彫刻 板谷波山（波山）鋳金 香取秀真、沼間（秀真）
現代大観三巻（極彩外連袋入）仮ニ木
函金清水竜城（南山）

副社長 戴迎会
金田中
八時

壽美ノ注意ハ良好ナリ仕事時被迎ニ来ル先生来ル下リ
公時帰ル一旦帰宅見舞ヒ今夕副社長戴迎ノ件ヲ托シ帰
宅会社ニ帰リ帰宅ニ并ニ賞与金支給書ヲ携帯上
村松香ニ渡ス
依頼ス
近藤真（女）仕立時頃見舞ヒ被呉ト頼ム分ヲ辞去

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寝室 雪景

発信 受信

日本友邦聯盟
G.E.社長 マイナ氏招待
茶会 於

社会の今日

昨夜半より降雪今晩積ること三寸 初雪なり昨年よりハ
廿日も早しとのこと 朝坂田後より訪ひ来り 夕刻まで
半束談せり 寒気強し
夕刻三号一二氏見舞ふ 遠藤先生武時

始めて通位十二階を制定す（雑古階——） 驚速艦「早鞆」艦長以下乗組員百餘名溺死す（昭和七）

寝室 雪

発信 受信

社会の今日

寒気益強し 遠藤先生未だ来らず

ワシントン海軍軍縮会議の際軍縮問題に関し日本が脱退する（昭和七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

宿直 晴大 寒暖 晴曇

会合 晴曇 会合 晴曇

社会の合図

椿事ドック、社長松尾栄吉、同榮洋船金剛丸進水

寿美症遂ニ正午此両親子見舞ニ来ル 直ニ茶室ニ時子来ル 寿美ニ最早ヤ神ヤリトテ了ヨイ十時半迄居ル 附添婦ヲ頼ム 夕刻ヨリ 松尾氏ハ裏鍋ニ行キ健康祝ヲ表ル 手ヲ切ル会ニ進言ス(実際ニ依リ承ルヲ以テ)

谷五時 秘書役場ニ会計上村金造氏ヲ招キ旧支村上場家屋敷料地処分割賃上代金 収入有無ヲ乞ヒ又地処代金七千余圓ト家屋売却代金三千五百円ハ前後ニ於テ収受セラルヤ家屋敷料ハ多クリトテ村小松氏ニ督促セラル

宿直 晴曇 寒暖 晴曇

会合 晴曇 会合 晴曇

社会の合図

八日会 山口 鈴木内閣及ヒ余未ダ参加ヲ大臣ニ招請ス

寿美症遂ニ順当ニ、午前十時前朝啜ノ後授乳ヲ試ミ、祝ケル八日会ヲ席ヲ辞リ内海半田両氏ト打寄ヲ依頼ス

朝原田芥太郎氏見舞ニ見エ面会ス

午后中御出ニテ病状ヲ悉シテ見舞ハル 三宅川百太郎氏来訪両氏共リ見ス

昨朝ヨリ新聞ヲ両家ヨリ寄贈トシテ寿美ニ及ボス脳ニ鳥居政郎ニ周司老介ヨリ祝酒ヲ長濱鎌ノ赤肉ヲ分贈スリ届ケリ

秘書役場ニ村氏ヨリ支村ニ場家屋敷料ニ百弐十五円ヲ受取ル 小松傳一郎ヨリ納入ノ通知リ

午后九時頃ヨリ喜春ヨリ四日以後ノ日誌ヲ認メ書ヒノ通ヲ整理寝室ヲ掃ニトシ菊菊花一杯ヲ供ヘル如ク

後動静ヲ家人ヲ盛ニ八皆時ニテ手許ニ彼ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 温度 記事

藤田西湖氏一周年
採七ヶ条ノ
来宗会終ル 九ツ半
散ズ

朝未ダ雨雨便行ト定ル
昨日川根ヨリ来作ニ僧リ
其為メヤヤ日心急ニ進ヲ得タリ
右ニ時半迄藤先生来ル

天候 晴 温度 記事

取立テ候スリキ様ノ事ナシ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝松時半ニ仆室庭文見舞ヒ見ユ 面会ス 昨ニ治ス
今朝見ハ五朋コリヲ帰レリトダク
右ニ時半遊藤滋先生来ル 面人共異状ナシ
金田中、新兵衛ヨリ仲介達シ見舞ニ来ル 何トニ果物持参
金田中持参ス 庭産板青木林檎ハ持、美リ
目下薬料ニ入歯料壽美ノ分ト百圓ヲ支拂フ（谷口松円）
庭ニ松葉ヲ敷ク

竹藪の筍あらはなる冬土の
処きまひっ掘く冬晴れ 若山牧水

異状ナシ
午後四時頃 近藤淑子来ル夕食ヲ共ニシ八時半帰宅
此朝山地左俊太郎氏来訪 南大将ヲ招リニ付病情
許ス事ハ列席ヲ得タレトモ不在リシヲ 病状ヲ見シテ辱ク断リ
余ノ代リニ半田氏ヲ推薦シ置キタル 事猶一応林斗六氏ヲ
夕刻来リ之ヲ依頼シ置キタル 事猶一応林斗六氏ヲ
ノ為 百目三十枚ノ割ニテ午ニ入ル旨申越ヲリ買入ル筈ニ
ス迄ヤセルヤテトス
井上貞子三リ夫婦ニ 総印ヲル見舞来ル
久米清子夫人ヲ今朝見ハラレタリトダク

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝九時十田勘兵衛氏見舞ヒ又ハ伺ヒ帰ル
右ノ時半 秀本秘書役副社長ヨリ使ヲ以テ見舞ル引見
秘書役帰ル 上村金治氏ヨリ来訪ヲ依頼ス 公氏ヨリ時半来訪
洋館應接間ニテ会見 見光村工場ヨリ支払金壱万弐千百
九拾八圓支入ノ件 相硝子商会金村壱振込ノ事 公新株
拂込ノ事ヲ依頼シ其他必要ノ儀ハ添印ヲ為ス
右二時半 五藤磁石来訪別条ナシ
公四時半 三宅川前事会長来訪 高橋保氏 日蘭樟業組
合役社長 庄司社長ノ斡旋望ミヤウ伺ヒ 本年ヨリ二十五百
圓ノ営業ノ外金壱万円ヲ据置金トシテ支出スル事トシテ 断リ合
ノル旨報告アリ
南大将赴任ニ際来ル十日帝国ホテルノ茶会ヘ案内アリ
病気ヲ以テ断ル
夜中五拾弐ヨリ会社ノ依頼ニテ分病状問合ノ通知アリ

村上正輔 皮留正夫ト来
星陸若三郎 ホヘドン
孔校治
未決会 欽支拂ヒ 新
知業 欽田支会ニ参会
午后六時 新
日本文化懇談会
工業リプ 后四時半
新

十時半頃迄就眠ヲリ 朝武田秀雄及谷田友次両氏見
舞ヒ見ユ 面会セズシテ退ル 来田氏ヨリ見舞ノ電話アリ
引上村氏ヨリ 会社出勤ヘ残リノ分五名十七日歌舞伎座
案内ノ事ニシテル 電話アリ
自分及妻共昨当自分
本日始メテ久振リニテ座外ニ
テ植木鉢ヲ見タリ
国際観光協会評議員ヲ嘱託ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 雨 気温 華氏 摂氏

加爾干噶賀新株七十五株金額何ほ期日（弗千二百五拾圓）

久栄保会、
倭商会社ヨリ左ノ書状ト共ニ来ル、
未定ノ報告ニ付、
来ル廿日迄ニ御決答相成度旨申来ル、

今朝未皇陛治氏見舞ニ来ル、
右二時頃久奈清子及悠紀子ノ母子見舞ニ来ル、寿美
面会引続キ林奈恒（未亡人）茅町奥方ヨリ依頼ニ付、
見舞トシテ両人ノ博記ヨリ各一個持参ス、
藤滋吉未ダ御在宅ニ付一眠夜施々自分病症
ヲ乞ヒ為藤氏ヲ見（テレグラフト事也）
奈田芳太郎夫人未ダ寿美ノ見
舞ニ来ラズ、
亡夫ノ命日ニ付典ノ為五時ヨリ救会ニ列ス
事偕ヲ頭峯ヨリ未着ニ付十二時ニ見、三百ト云フ処迄
ヨリ運賃馬車ニ会ス、
仏四時頃入浴就床一睡ス

天候 晴 気温 華氏 摂氏

委任状ニ
奥印ス、

智カトリック、セマール
メント寄成会ニ而ル件
ニ付、

昨夜ハ両人共平穏ニ過ヨリ若松寿美ハ朝ヨリ
眠ラザリシト云ヘリ、
正午稲井家ニ而氏夫婦見舞、見ル自分庶祥堂
ニテ面会ス、
午后ハ松倉一郎氏見舞、来ル病室ニ見ル脳ノ
引続キ奥村政雄氏見舞ル病ニ付ク、
若林半氏ヨリ直人ヲ以テ南洋新キニテ島
ニ羽箱入剥製ノ鳥ヲ贈ル、依テ礼状ヲ出ス、
夕木代豊之助氏見舞ニ来ル、
本日右三時寿美病後初メテ入浴

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴曇 雪 雨

午前七時半会社ノ中村巡査ヨリ夜来ノ模様ヲ聞ク
午前十時半会社ノ中村巡査ヨリ夜来ノ模様ヲ聞ク

午前七時半会社ノ中村巡査ヨリ夜来ノ模様ヲ聞ク

天候 晴 温度 午前 午後

左伝会 幹事生田之助

奈木浜六英男重傷ノ為久美浜女比呂子ト結婚披露 新町 司会 年会会計五時半、

日本海法会木梳所 青水 右六時 岡田大作弘陽戒新

天候 晴 温度 午前 午後

富田工房新築祝会 右一時

朝十時半高橋陳述式見舞ニ天神ヨリ帰ル 右三時半頃衆和政社ニ見工場ノ為メ銘花ヲ視ニ下帰ル明日ヨリ神戸ニ詰ル 自分及寿美子入谷 右四時半ヨリ 右五時半社長ヨリ 直人ヲ以テ年末賞与金ヲ送附セラル

夜分典夫来ル大利富三郎家計援助方依頼ヨリ 八千也ニテ厚ク注意スベシヤリ 若塚勝之助ヨリ井上貞子ヨリ 見舞ニシテ寿美ヨリ谷百枚ノ人形ヲ贈ル

支配人会後今ヨリ午前五時迄 侯爵井上三郎氏ヨリ 瑞豊院殿（五十六人） 遺物代ヲ寿美ヨリ贈リ来ル

和公ヨリも心世話ニ（二行分ヌケ）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

午前十時起床（改善）

今午食本松喜代より会社ノ年末慰労金ヲ持参、四便袋ヨリ別日支払ヒアリ、金氏ニ依頼シテ当座預金ヨリ振込ヲ

十六（二〇、〇〇〇）

午后一時半書斎ニ入リ胸痛ヲ感ズ暫時ニシテ治マル、村氏来訪ノ時間ヲ三時ニ改メ、此ハス金時氏来訪ヲ待シテ浦戸松ニ於テ富士宿所当ヲ持参ニ振込ヲ依頼シ其他富士鐵鋼工業ニ百株（利益配当ノ件）ヲ依頼シ金子ヲ以テ富士宿所当ヲ持参ニ振込ヲ依頼シ

証券金ヲ以テ小松行（御礼）

村氏来ル

右ニ時半松村電気部氏来訪、年末ノ礼ノ件、謝意給料改正（月給百八拾円ノ件ヲ話シ置ク。

寿美井、川井御夫人、来川北川両未亡人。

天氣 日和

一、日曜会

閑総盛業会社懇会

一、業ノ為満興会

右六時ヨリ

日本生命保険相互株式会社高知出張所ニ於テ催行ニ付出席ノ事ニ致ス

昨夜半寿美ヨリ咳多シ今朝解熱三十七度五分

正午七度一分ニ下リ夕宿ス又二十八度八分ニ上ル仍テ今夜モ引ツヅキ注意ス

朝十一時上村金治氏来訪富士鐵鋼工業株ノ件ニ付来ル

公氏ヨリ預リ置ク外ニ富士宿所当ヲ持参振込ノ件ニ付明日定会ノ件ヲ話ス

神戸西林健雄氏ヨリ土佐弘報社ニ小島淳ヲヘ

自今宛正ヲ以テ寿美ヨリ寿面到来

発送方ヲ上村ニ依頼ス

滝野川氏中里一三二栗原方大庭唯吉氏ニ本人ヨリノ表彰ニ付金三拾円ヲ賜ハル

久松秘書ヲ以テ金三拾円ヲ賜ハル

感謝ノ手紙ヲ送リ来ル

本人ハ七十歳台ノ老人ニテ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昨夜半より雪に寒気安眠今晩静穏三十七度半分
より正午三十七度七八分と上りタ刻三十七度半分と
下りタ方より盛次医外来ノ倍景八脚部へ別段浸潤
ノ模様なしトテ十二時頃
右ニ時三分前葉会長来訪
国司浩介氏養母コマ昨夕七時死去明二十四日午
後三時より葬式ノ筈別紙ノ如キ広告ヲ出ス
海岸寺より寺供壱升賜物一切ヲ断リ
ス
家計費トシテ弁当料百円ヲ送ス
常根氏ヨリ左ノ通電報アリ
雄二郎ハ心ヲ下シ安心セラレ
度旨ヲ答ス
其後ノ容体如何ヤ
引続キ雄二郎ヨリ左ノ通電報アリ
父ニハ今朝ヨリ熱ヤヤ高ク
ナリ苦痛ヲ訴ヘラルル故
ナルベク早ク帰ラレ
タシ

寿美今朝二十六度二分と下ル正午七六度ニ
ツキ心ス
午后三時半茅町岩井男爵ヲ来リ見舞ル面会謝
絶ニ付退ヲ告ル
午后時郵便一束ヲ依頼シテ真鍋氏ヲ来ス
午后時半頃真鍋氏来ス明日三時ノ時間ニ来ラル
ル旨ノ報アリ
午后時半永井柳太郎氏来訪面会不在ニ付
夜黒瀬橋高蔵ヨリ北陸ノ清公ヨリ草地ノ秋春双園柳
園秋華氏前田特
中村吉右衛門西京ヨリ帰宅挨拶ニ来ル
神戸ヨリ正月二日ニ帰宅ノ旨ヲ答ス
午后時山内侯爵家
ヨリ礼ヲ来ス
午后時半頃真鍋氏来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴曇 寒暖 計

社會の合日

受信 発信

朝立宮家文公貝塚と来れる用にて帰し

昨日船田一雄氏より打合せにより真鍋嘉一郎国手午后三時半より来訪之より先着待合に居りし島村秀雄氏を連れ医師会に行き来客者の見込を聞き置き余が病気を診察し次に余が病気の見込如何を聞きたるに氏曰く此病は軽症にあらず重症にあらず大体六十歳前後の人は此病にかかれば大抵は助かるものなり余が信ずる所にては五十歳前後の人は此病にかかれば大抵は助からざるものなり余が信ずる所にては五十歳前後の人は此病にかかれば大抵は助からざるものなり

弘田氏は病気の為め来訪せず

侍従長の職務は殆んど閑職にして侍従武官長の職務は繁劇なり

午后七時半名古屋島村秀雄来訪昔根武士部下の政士

午后三時半より来訪之より先着待合に居りし島村秀雄氏を連れ医師会に行き来客者の見込を聞き置き余が病気を診察し次に余が病気の見込如何を聞きたるに氏曰く此病は軽症にあらず重症にあらず大体六十歳前後の人は此病にかかれば大抵は助からざるものなり余が信ずる所にては五十歳前後の人は此病にかかれば大抵は助からざるものなり

侍従長の職務は殆んど閑職にして侍従武官長の職務は繁劇なり

午后七時半名古屋島村秀雄来訪昔根武士部下の政士

天候 晴 寒暖 計

社會の合日

受信 発信

来亜セメント談会、

午后一時半より来訪

午后四時福井大人大阪より帰り来訪

今朝九時半沢式より電話島村昨夜帰名の由ヲ返事ス

午后七時半名古屋島村秀雄来訪

午后四時福井大人大阪より帰り来訪

今朝九時半沢式より電話島村昨夜帰名の由ヲ返事ス

午后七時半名古屋島村秀雄来訪

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候	晴
氣壓	
溫度	
發信	
收信	

昨夜半ヨリ今朝六時半迄自分壽美共ニ腹痛ニ付テ未ダ看護婦モ今ニ
日産法会 様ナリ 鮎川春子始メ来ル自分 食後直ニ
十一時四十分頃ヨリ 應接間ニ 胸痛(胃カ)ヲ覚エ
ル五分ヤシテ迄ニ
三時半迄藤丈夫ガ 公時 理髪師ヲ招キテ 散髪
ス 別条ナク 壽ハ夫モ探ニヲ 刺リヨリ
夜八時迄滞在ス未ダ
中神壽代来訪 郷田式ト十 田式ニ 病
中故郷ヨリ面会ニ 壽生ヲスデ 断ヲスルモ強
テ面接ヲ望ムトノ 断ハ拒絶セリ 非常識ノ男ナリ
済ヲ朝六氏ヨリ見舞トシテ 金壹ヲ贈ラル
赤坂ニ

天候	晴
氣壓	
溫度	
發信	
收信	

午前別室ニ入 勝俣校太郎 今朝六時
十ノ壽ヲ 立ニヨリ四時迄 来著ス
贈ル外 今月ノ来月家計費トシテ 参百五拾圓ヲ
午後ヨリ百円ヲ未午ニ探取ス 一泊明早朝帰
岸ス 社般ノ外玄関ニ見ヲ払ス
合四時半入湯 壽ニ夜半十二時就寝ノ際入浴ス
夫ニ看護婦夕刻ヨリ 天谷ノ午飯ヲ支取リ迄藤郎ニ与ス
夜半一時ヲ
鮎川義介明日一家ヲ挙テ 鮎川ノ為ヲ別荘ヲ探ス
スル由ニテ探ス 顔面数枚ヲ撮影ス
赤坂ニ作工事ニ探ス 渋ノ序ヲ以テ来リ見舞
ヲ 宿泊ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 雪 寒暖 記事

雪盛ニ積ル 寒氣強シ

伯父時半小姫ヲ會社ニ被遣ニ付 壽美(五〇圓)

世夫(金六五円)來ル 東亜セメント會社ニ勤ル一取立ノ件(新村ニ依賴)

ヲ上村金治氏ニ依賴シ 公時ト日産ニ二ノ円ヲ壽

美持參ニ振込ヲ依ス

右ノ給金服部時計店ニ立テ替リ書生用腕時計一個(一三円)

ヲ購ハシメ歲暮ニテ宅島蜂谷兩人ニ遣ハシタリ

莉根崎猪喜人鈴木政吉郎來訪 月末計算合ヲ持參

ス溫泉料引ヲ五月ヨリ十月迄百九拾四円十二月分拾八円

又払ハ未月分ノ旅費ニ充テ 斗百五拾円ヲ払ス此外月末

殘金三拾六円余ハ 幕次ヨリ 南溫泉料ノ件ニ付 登山鉄道

會社ヨリ(十二月廿日)ト本月末迄ノ溫泉料請求書(殘金ハ

御ヨリ送ルベシ)ノ二通ヲ合ス人ヲ以テ送ル 利渕ハ父ヨリ

送ル(五拾三時頃來訪セラル

吉祥寺ノ小林政吉郎六時)給料ノ外 家計費百五拾円 公

人手末支拂五拾円 差取敢ズ 拾下ル 家内

(九時半)

376

ラヴロフスト生ル(一八〇九) ガラタツベンガ死ス(一八八二) 比島憲法下院議員(昭和七)

天氣 晴 寒暖 記事

風ノ無ク天気宜シ 伯青木宗雄氏及千田恒太郎氏

見舞ハル 青木氏ニハ面接ス

芽町男爵夫人ヨリ 壽美死見舞狀ト共ニ 西瓜ノ

滿載ヨリ大二個ト果物ヲ贈ラル

貞鍛冶(帝医ニ診察料 百円ニ添ヘ菓子箱ヲ贈ル

伯西將自宅ニテ年内歲暮ノ 清況ヲ祝ス

健康回復ノ慶ヲ述ル 李伯ヨリ池ノ端ニ里門町田

島ニテノ年内例年ノ 菓地春資兩中ノ出(五〇円)

葛飾北斎茶室委員(來ル七ノ円)ノ斗陌ヲ 贈來ル

小林政吉郎ヨリ 來リ夜中迄新年ノ 仕度ヲ傳フ

宮川一貫氏ヨリ 昨夜祥連(今夕五時半カ)許ヲ送リ來ル

鮮散ノ為トヤラン

永奈伸雄氏來訪ス 用ヨリ辞去

377

英歷史家コマコーレー死ス(一八五九) 新聞紙條例ノ改正(一八八三) 比島憲法下院議員(昭和七)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信　受信

雨　寒　暖

昨夜半ヨリ小雨時々降リ日中モ降リトナルニテ寒シ遂ニ午内ヨリ祇子見合ハス午后ヨリ特上村金治氏来訪神楽改革ノ事ニ付キ協力ヲ為ス武友秀三氏ヲハジメ金壱百円ヲ公署ニ寄附例年ノ通リ武術奨励ノ費ニ充テラルルコトニ上村氏ヨリ金十ノ武ノ政気ニ交付方ヲ依頼ス

神ノ港安芸川恒太上京来年春月六日頃迄滞在ニテ六代大夫ノ事ヲモ助ケ教ヘ別荘ヘ泊リ居ルトノ事

夜三時ヨリ吉田友治見舞ニ来ル引見スル筈ナリ

落田政輔ヨリ見舞トシテ白梅ノ盆栽ヲ送ル

支ノ字ヲ迎ヘテ病褥ニ伏シ居ル也

せわ焚ヲ老ノ二人ニテ取リ居ル也

年歳の萬葉の著ありて除夜の鐘

（大意）幾年を宮殿代々大原　伯酒

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。